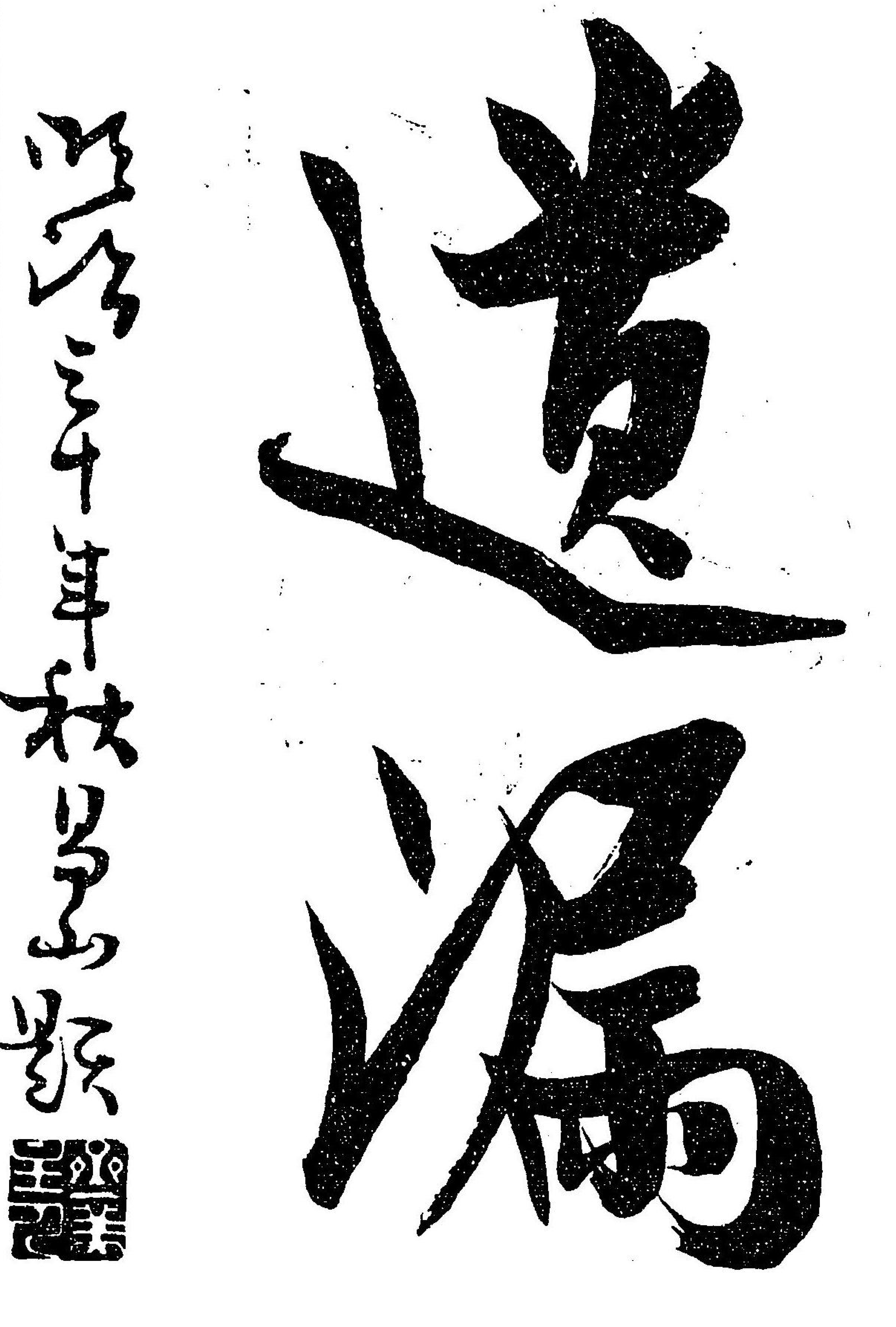
大阪 大成舘編纂

大日本名所圖録

周防 長門 之部

大坂大成館主



緒言

本邦古來ヨリ名所地誌若クハ之レニ類スルノ著書ニ乏シカラズト雖トモ概ネ文意ニ因テ詳記スルモノ多クシテ字句高尚雅逸ナルガ爲メ通俗ヲ缺クノ感ナキ能ハズ偶々之レアルモ僅ニ一條ノ驛路、勝地等ヲ擧グルニ過ギズ又ハ古キニ失シテ現今ノ狀景ヲ知ルニヨシナシ今ヤ此ニ達觀スル所アツテ本書ヲ著スルヤ專ラ圖畫ヲ應用シテ境內地景等皆實地ニ就テ其眞景ヲ摸寫シ銅版ニ印刻シ傍ラ由緒緣起ヲ明記シ附スルニ官廳、沿革、土地、海灣、天候、戸口等ノ種目ヲ詳細シテ郡市ノ概況ヲ示セルモノナレバ其至便鴻益ナルヿハ言ヲ俟タズシテ明カナリ、其圖繪ニ於ルモ一目瞭然トシテ親シク實地ヲ踐ムノ壯觀ヲ呈シ永ク古世ニ表証シテ其興亡ヲ鑒察スルノ助タランコトヲ期ス

明治酉秋月於幽泉樓上

怪石散士謹誌

凡例

一本書は題號の如く專ら圖繪によつて其現況を知悉するの便に供するを以て主要とす

一載するところの圖繪は總て館員を派出せしめて其實景を摸寫せしものなれは毫も實地と違ふことなし

一本書記するところの社寺由緒、緣起等は往々奇談怪說の語之れなきにあらさると雖とも妄りに取捨せす直ちに採用記載せしものあり幸に咎むると勿れ

一本書記載の沿革、土地、海面、人事等の事故は概ね其大略を掲けて細微に涉らす

一書中戸數、人口、里程其他の統計文字は總て該縣廳最近の調査に係るものを掲出す

明治三十年八月　編者誌

圖繪目錄

周防國

吉敷郡

○常榮寺　宮野村
○瑠璃光寺　上宇野令村
○萬年寺　仝村
○湯田溫泉野原濤之助浴場　湯田町
○中領八幡宮　小郡村
○黑山八幡宮及名所古跡圖　鑄錢司村
○清水寺　宮野村
○戒定院　秋穗二島村
○禪昌寺　小鯖村
○赤田神社　吉敷村
○龍藏寺　仝村
○玄濟寺　吉敷村
○癸元寺　矢原村

佐波郡

○玉祖神社　右田村
○寶成庵　佐波村
○靈臺寺　仝村
○阿彌陀寺　牟禮村
○花尾八幡宮　島地村
○正福寺　三田尻村

○太平寺　右田村
○天滿宮　宮市
○天德寺　右田村
○光宗寺　華城村
○國分寺　佐波村
○極樂寺　牟禮村
○明覺寺　仝村
○八幡宮　八阪村
○出雲神社　出雲村
○狗留經山觀音　仝
○宗圓寺　八阪村
○石谷直登　仝村

都濃郡

○遠石八幡宮　德山村
○降松神社　久保村
○建咲院　富田村
○神上神社　仝村
○山崎八幡宮　仝村
○鷹飛原八幡宮　夜市村
○岩屋密寺　富岡村
○櫻田八幡宮　戶田村
○龍文寺　長德村
○八幡宮　中須村
○周方神社　長穗村
○二俣神社　向道村
○飛龍八幡宮　須々萬村
○二所神社　鹿野村
○歲寒松　仝村
○三島神社　鹿野中村

○樫部孫一　德山村
○周慶寺　豐井村
○鷲頭寺　仝村
○花岡八幡宮　末武北村
○慈福寺　久米村
○河內神社　長穗村
○漢陽寺　鹿野村
○龜山八幡宮　須金村
○龍雲院　鹿野村
○金峯神社　須金村
○氷見神社　仝村

熊毛郡

○普賢寺　室積村
○如寶寺　仝村
○西方寺　室津村
○阿彌陀寺　上ノ關村
○神護寺　大野村
○石城神社　鹽田村
○玉泉寺　光井寺
○專願寺　伊保庄村
○冠念寺　岩田村
○大恩寺　田布施村
○般若寺　平生村
○正覺寺　高水村
○沼八幡宮　平生村
○大陽寺　八代村
○龍泉寺　上田布施村
○溪月院　周防村の縣下へ

玖珂郡

○錦帶橋及松金又三郎　岩國町
○彌山　藤河村
○吉香神社　横山村
○淸源寺　由宇村
○長寶寺　祖生村
○岩隅八幡宮　玖珂村
○岩尾瀧　神代村
○鉾八幡宮　通津村
○松岩院　灘村
○新港　小瀬川村
○高山寺　伊陸村
○大帶姬八幡宮　日積村
○善住寺　玖珂村
○氷室神社　伊陸村
○金剛寺　柳井村
○普慶寺　仝村
○淨光寺　玖珂村
○福樂坊　余田村
○榊八幡宮　由宇村
○瑞相寺　岩國町
○福光寺　横山村
○八幡宮　神代村
○湯原八幡宮　小瀬川村
○極樂寺　高森村
○慈雲院　由宇村
○欣慶寺　新庄村
○松戸八幡宮　鳴門村
○龜山八幡宮　伊陸村

○白崎八幡宮　麻里布村

大島郡

○志駄岸八幡宮　小松志佐村
○松尾寺　蒲野村
○文珠堂　仝村
○覺法寺　久賀村
○普門寺　安下庄村
○八田八幡宮　久賀村
○菅原社　安下庄村
○長尾八幡宮　仝村
○筏八幡宮　和田村
○大多滿根神社　蒲野村
○村上兼助　屋代村
○西正寺　日見居村
○源空寺　沖浦村
○西蓮寺　屋代村
○龍心寺　仝村
○志度石神社　仝村
○西長寺　沖浦村
○天淨寺　蒲野村
○大島瀬戸　小松志佐村
○眷龍寺　西方村
○泊淸寺　沖家室村
○幻性寺　蒲野村
○沖家室島　沖家室村

長門國

厚狹郡

○瑞松庵　船木村
○岩崎寺　高千帆村
○五智輪坊　藤山村

豐浦郡

○住吉神社　豐東上村
○國分寺　赤間關市
○專念寺　仝市
○本行寺　仝市
○永福寺　仝市
○引接寺　仝市
○三道寺　仝市
○末永別莊　仝市

○子持御前　須恵村
○正法寺　出合村
○清安寺　厚西村
○乳母屋神社　豐西上村
○快友寺　岡枝村
○三恵寺　川棚村
○川棚温泉場　仝村
○妙青寺　仝村
○善念寺　宇賀村
○修禪寺　豐田上村
○神上寺　豐田下村

○普應寺　豐東下村
○功山寺　長府村
○本覺寺　仝村
○大乘寺　仝村
○安養寺　豐西上村
○觀音院　豐西村

大津郡

○西圓寺　仙崎通村
○向岸寺　仝村
○日吉神社　向津具村
○貴布禰神社　日置村

阿武郡

○滿願寺　萩町
○弘法寺　仝町

○安樂寺　田耕村
○八幡宮　粟野村
○妙榮寺　豐田奥村
○法華寺　長府村
○阿彌陀院　豐西村
○八幡宮　向津具村
○明峯寺　三隅中村
○八幡宮　日置村
○人丸神社　菱海村
○西林寺　佐々並村
○東光寺　椿郷東分村

山口縣名所圖錄

清水吉康著

地勢

本縣は山陽道の西端に位して周防、長門の兩國を管轄せり、東北は石見及安藝に隣りて連山之れが界域を區劃し、東は安藝の多島海を隔てゝ伊豫に相對し、南は周防灘に瀕して遠く九州の豐前、豐後を望み、西方は響灘に面して、西北又日本海に向へり地勢は東西に伸延して南北に縮少せり山陰、山陽の兩道を通して二群の連脈斜に東西に馳走して防長天然の界を作れり其東南を周防とし西北を長門とす兩國何れも山嶺起伏して平坦の地に乏しく道路頗る險惡なりしが近時各路の改修大に行はれて至る處其舊觀を更めたり、本縣は三面皆海に沿ひたるが故に港灣多く隨て交通運輸の利便實に昔日の比にあらざるなり、氣候は地勢の如何に從ひ自から差異ありと雖も寒暑共に甚だしからず概ね暖和にして播種栽培に適せりといふ

沿革

本縣管下周防國は往古國府を佐波郡に置けり鎌倉の時代に至りて州の望族大内滿盛周防權介となり子孫相繼で永く山口に治せり後數年の星霜を經て遊孫大内義隆の世に至り其臣陶隆房に弑せらる毛利元就隆房を誅して其地悉く毛利氏に歸するに至れり元就の孫輝元更に本州及ひ長門の二國を領し大子就隆を德山に分封す文久二年毛利敬親を山口に治し吉川經健を藩に列し岩國藩とす尋で敬親封土を奉還し山口岩國の二縣とす長門は國府を豐浦郡に置く源賴朝佐々木高綱を以て守護とす大内弘世厚東氏を滅し本州を取り毛利氏又其地を併す輝元に及んで萩城に治す義子秀元を長府に封す秀元六世の孫師就其弟政苗を淸末に分封す明治四年七月悉く廢して豐浦、淸末の二縣を置く十一月又豐浦、淸末、岩國の三縣を廢して山口縣を置き周防、長門の兩國を合轄す同五年正月萩、豐浦、岩國の三支廳を置きしが同七年一月三支廳悉く廢して山口縣の統轄となれり

地理

山口縣廳

位置　周防國吉敷郡上宇野令村

敷地　九千七百十余坪

天度　北緯三十四度十一分、西經八度十九分

所管

周防國六郡　大島、玖珂、熊毛、都濃、佐波、吉敷、

長門國六郡　厚狹、美禰、豐浦、大津、阿武、見島、

疆域

東　玖珂郡小瀨川を以て廣島縣界とす

西　赤間關市海上を以て福岡縣界とす

南　吉敷郡西岐波村の海面

北　阿武郡田万崎村大字下田万を以て島根縣界とす

幅員

東西　三十九里二十四丁

南北　三十里〇九丁

周圍　百八十八里二十町

面積　三百八十四方里七分七厘

市郡役所所在地及縣廳への里程

大島郡　久賀村に在り、二十五里余

玖珂郡　岩國町に在り、二十三里二丁

熊毛郡　室積村に在り、十七里二十丁

都濃郡　德山村に在り、十一里二十丁

佐波郡　三田尻村に在り、五里五丁

吉敷郡　上宇野令村に在り、十一丁

厚狭郡　船木村に在り、八里二十九丁

豊浦郡　長府村に在り、十六里三十丁

美禰郡　大田村に在り、五里

大津郡　深川村に在り、十二里十六丁

阿武郡・見島郡　萩町に在り、七里

赤間關市　東南部町に在り、十八里二十一丁

合計　一市、十二郡役所在りて四ヶ町二百二十四ヶ村に分てり

戸口

戸數　十九萬一千一百八十二戸

人口　九十五萬五千二百四十二人

神社

官幣中社　一社

別格官幣社　一社

國幣中社　一社

國幣小社　一社

縣社　十二社

鄕社　百〇七社

村社　三百二十三社

式內社　十一社

寺院

天台宗　三ヶ寺

眞言宗　九十一ヶ寺
淨土宗　一百五十六ヶ寺
臨濟宗　七十六ヶ寺
曹洞宗　二百四十七ヶ寺
黄檗宗　二十七ヶ寺
眞　宗　六百四十二ヶ寺
日蓮宗　二十四ヶ寺
時　宗　二ヶ寺
合計　一千二百九十七ヶ寺、住職一千百四十五人
縣内の巨刹として著名なるものは各宗通して三十八ヶ寺あり

管内名邑

岩國町、柳井津町、室積村、上の關、德山村、三田尻村、宮市、小郡村、山口町、萩町、須佐村、長府村、淸末村、

道　路

山陽國道　豐浦郡赤間關市より玖珂郡和木に至る、四十一里九丁余
石州街道　吉敷郡小郡村より山口町を經て阿武郡篠目通り德佐村島根縣界野阪峠に至る、十四里十四丁余
仝　道　厚狹郡吉田村より美禰郡を經て阿武郡地福村に至りて石州街道に接す、行程十九里
仝　道　阿武郡萩町より須佐村通り仝郡下田万に至る八十三里廿四丁
仝　道　阿武郡福井村より紫福村を經て仝郡小川村に至る、九里十八丁
萩街道　佐波郡三田尻村より山口を經て阿武郡明木にて石州街道に接す、里程十里十一町
仝　道　赤間關市より西海岸通り大津郡及阿武郡三見村を經て萩町に至る二十八里
仝　道　吉敷郡小郡村より美禰郡繪堂にて石州街道に接す、五里二十八丁
岩國街道　都濃郡德山村遠石より玖珂郡柳井津通り東海岸岩國に至る十七里
德地街道　佐波郡右田村より同郡八阪村通り柚木村にて石州街道に接す、十三里十八丁
藝州街道　玖珂郡字佐鄕より仝郡大原に至る、一里二十八丁

周防國

本國は六郡に分ちて三ヶ町百三十九ヶ村を有せり、東は安藝に隣り北は石見に接し、西北は長門に連り、南は海に面せり之を周防灘といふ而して遠く伊豫、豐後と相對せり、三境連山を以て圍繞し國中にも亦峯嶺相連なりて地勢險阨なれども其南部海に瀕する地方に稍平坦の見るべきものあり土壤耕作に適せり、其他記すべきもの多きも各郡に於て漸く之を詳記せんとするか故に悉く省略せり

幅員

東西　二十八里二丁
南北　二十一里十二丁
周圍　一百十六里余
面積　一百九十二方里九分一厘

戸口

戸數　十一萬三千九百六十七戸
人口　五十七萬四千百九十四人

吉敷郡

國の西端に位し西は長門國厚狹、美禰の兩郡に隣り北は仝國阿武郡に接し東佐波郡に連り南一面は周防灘に瀕せり、郡の廣袤東西七里三十一町、南北九里二十三町、周圍三十三里二十町、面積二十九方里一分五厘あり、戸數一萬九千百八十七、人口九萬六千九百二十八人を有し一町二十九ヶ村に分てり、神社の總數五十三ありて別格官幣社一ヶ所、縣社二ヶ所、郷社十六ヶ所、村社三十四ヶ所なり、寺院の總數百十八ヶ寺あり

山岳

東方便山　郡の高峯にして高さ二千四百十八尺、上宇野令村に屬せり支脈東に奔りて山口町の西に迫れり

龍門嶽　宮野上村に屬する高山にして阿武郡の界を現れり高サ二千二百九十尺、登り二十三丁余あり、連脈南に亘りて山口町の東に延ぶ

高峯　上宇野令村に在り高サ一千三百尺、登り十三町

河川

椹野川　仁保村の山中より起りて西南に向ひて流下し山口町の南を過ぎ小郡村に至りて南流し雲山の東麓にて海に注げり流程八里許、下流舟揖の便あり

道路

山陽國道　佐波郡の宮市驛より來り郡の南部臺道、小郡、嘉川の諸驛を過きて長門國厚狹郡の山中驛に通す

山陰國道　小郡驛より分岐して山口町を過ぎ阿武郡の篠目、德佐に通す

三田尻街道　阿武郡の佐々並驛より來り山口町を經て佐波郡の宮市に通す

港灣

大海港　秋穗東本鄕にあり、秋穗港　仝上、岐波港、東岐波村にあり、以上何れも小港にして大船を容るゝに便ならず只地方貨物の出入に供するのみ

瀑布

金雞瀧　上宇野令村の幽谷に在り縣内第一の巨瀑にして高サ十六丈八尺、幅三間許、

池

長澤池　臺道村に屬し山陽國道の北側にあり東西十町二十九間、南北五町四十七間、周圍一里二町二十間とす

温泉

湯田鑛泉　下宇野令村の内湯田町にあり、下湯、生金湯、揭清湯、本鑑湯、中湯等の諸泉ありて何れも鹽類性、硫黄泉、加爾基性泉等の泉質を帶ふるものなり

城跡

大内義長の築きし高峯の城址、毛利秀元の築きし長山の城跡は上宇野令村にあり

招魂社

江良招魂社　慶長二年山口藩四境の役及明治元年の役に戰死せし人士九名の靈を祀る、慶應三年五月山口藩の建る所にして例祭は每年三月廿三日を以てせり社は宮野村にあり

天神招魂社　吉敷村にあり明治元年及山口藩四境の役に戰沒せし人士十名の靈を祀る、慶應二年十一月山口藩毛利元一の建設なり

山手招魂社　小郡村にあり元治元年及山口藩四境の役に戰死せし勇士九人の靈を祀る、慶應元年七月山口藩集義隊の建設なり

二島招魂社 秋穂二島村にあり元治元年、慶應元年、仝二年の役に戰死せし二十九人の靈を祀る、慶應元年四月山口藩銃武隊の建設なり

勝區

吉敷村の皷の瀧、深溝近邊梅ヶ崎、かさゝぎの橋臺道村、口なしの泊岐波、床波の邊、竹島秋穂本鄕村にあり

名邑

小郡、嘉川、臺道、大海、秋穂、湯田町、仁保中鄕等なり

名產

穀類、木綿、鹽、海產、綿、御影石、薬藍等なり

山口町

郡の中部に在り東は天神山、北皷ヶ岳、東方便の山嶺及西西方便山、大嶺等の諸山相圍めり、南一面平坦にして要害頗る堅固なり、椹野川は其東南を通じ、一阪川は市の西方を南流せり、北端石州街道に通ずる所を篠目口と云ひ、西萩街道に佐々並口、東方三田尻街道に宮市口、南小郡に通ずるを小郡口と稱し山河襟帶自然に城廓の形を爲すは頗る京都に相似たり、市坊三十町、戸數二千五百九十一、人口一萬千七百余を有す、肆店軒を連ねて甚殷賑なり、山口城址は上宇野令村に屬し内に山口縣廳あり、吉敷郡役所、地方裁判所、警察署、郵便電信局、山口高等學校、尋常師範學校、尋常中學校、聯隊營所、憲兵分隊等所々に散在し、防長新聞、長周日報、其他文學雜誌の發刊せらるゝもの殊に多く、私立學校の設けは近縣に其比を見ざるの多きあり、爲に青年の市内に來學するもの數千の多きに及ぶといふ、山口製糸株式會社、博愛合資會社、協同印刷株式會社等ありて近時商盛進步の域にあり

豐榮神社 別格官幣社にして贈従三位大江元就公を祀る祭日例年十月一日を以て執行せり

野田神社 縣社にして贈従一位大江敬親公を祀る例年十一月三日を以て祭祀を行ふ

兩社區域を別ちて一の境内に併例し宏壯華麗にして拜殿、回廊、幣殿、社務所、神庫等皆備らざるなく其結搆輪奐の美を盡し神靈の威嚴を仰ぐ可く、社域頗る廣濶にして四時の雅致に富み殊に櫻樹花蕾を綻くの項に及べは遊人賽者群をなせり

仁壁神社 縣社にして表筒男命、中筒男命、底筒男命、下照姬命、味耜高彦根命

の五神を奉祀せり例祭は毎年十月二十八日を以て之を行ふ、社は山口町の北端にありて宮野村に屬せり、境内に古杉老松鬱然として茂生し社前に有名なる櫻の巨木あり花時殊に賓客多し社の北邊に馬場ありて祭日には競馬の神事あり甚だ雜沓せり

瑠璃光寺　曹洞宗の巨刹にして上宇野令村にあり文明三年の建設なり

萬年寺　臨濟宗の巨刹にして上宇野令村にあり元龜三年の建設なり

禪昌寺　曹洞宗の巨刹にして小鯖村にあり應永三年の建設なり

小郡村

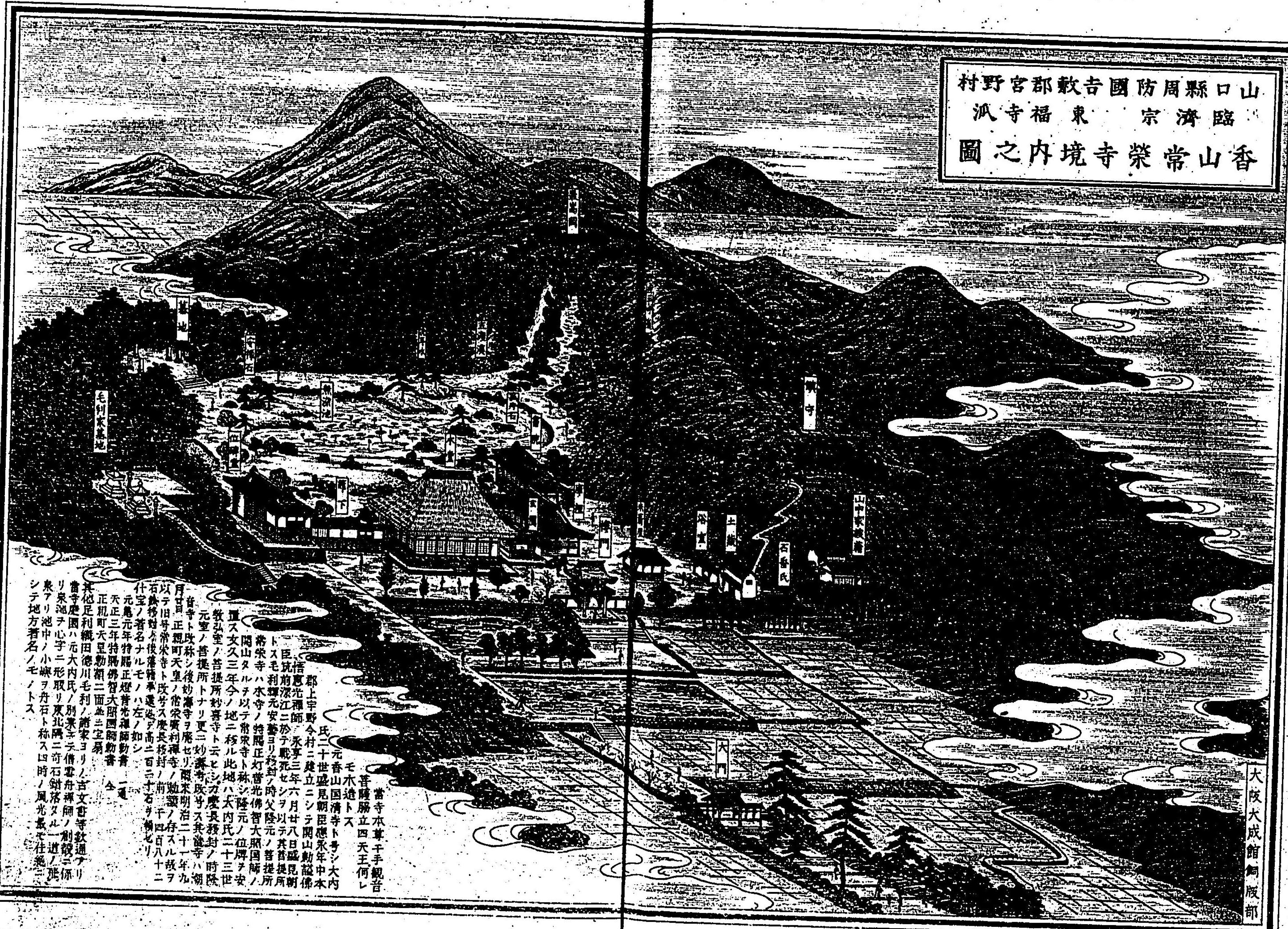
郡の西南に位する一驛にして戸數一千二百九十一、人口六千五百余を有す、山陽國道の要路に衙り萩街道及石見街道の分岐する處なり、山口町を距ること三里一丁、地に警察分署、郵便電信局等あり、驛内商賈逨榕して來往甚盛なり、椹野川に舟楫の便あるが爲貨物常に輻湊して水陸の交通に富めり、本村字柳井田に鑄物師武波家は古來仝業を以て地方に名あり永錄年間國主毛利隆元公より判物を受領し家業と共に今に傳へて斯業の榮譽となせり

中領八幡宮　鄕社にして本村字柳井田にあり往古豐前國宇佐より勸請せしものなりと云傳へり永正、大平、弘治の頃時の領主大内家の當社を祀る殊に重くして大に崇敬せしと云ふ、寶物として藏するところの勅額及小早川隆景の寄進せし短刀等は世に著名なるものとなせり、社前に万年松と稱する巨木ありて往昔山麓の海なりし頃茲に纜を繋きしに因て一名を船繋松とも稱へしが既に枯死せりと雖とも其遺株顯然として今尚存せりといふ、社は中領山と稱する丘陵にあり馬場先は縣道に接して二町余を經て一の華表を設けり左右櫻樹數株を植生し延ひて馬場の両側に及べり石燈を登ること三階にして神前を拜し境内廣潤にして平坦なり、社の後方なる丘上に登れば奥の院又は泉の峰と唱ふ勝地ありて四方の眺望に富めり近時更に地を開きて一の公園を築造せり、北方は遙に山口の市街を雲煙の間に望み東南は潤く周防灘を瞰下して秋穗の浦々近く招くか似たり、前面一帶椹野川の滿流滔々として東津橋下を過きて海面に注入するの狀を表はし富士尾灣の白帆頻々として東津の港に來往する等山水の風色悉く一眸の中に聚まり殆んと筆紙の能く及ぶところにあらざるなり

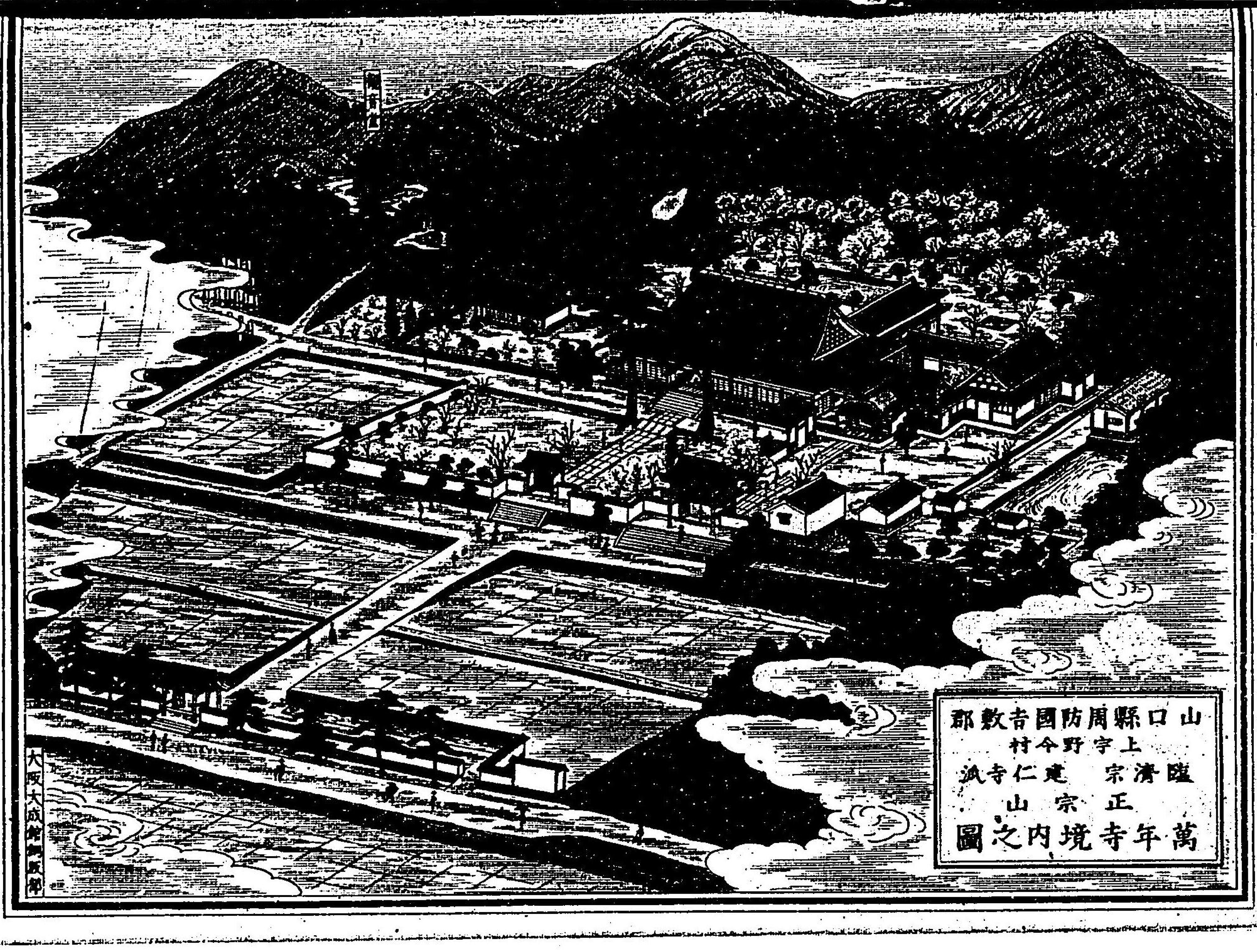
嘉川村

小郡に次ぐの一驛にして戸數一千二百二十、人口六千三百九人あり、小郡を去る

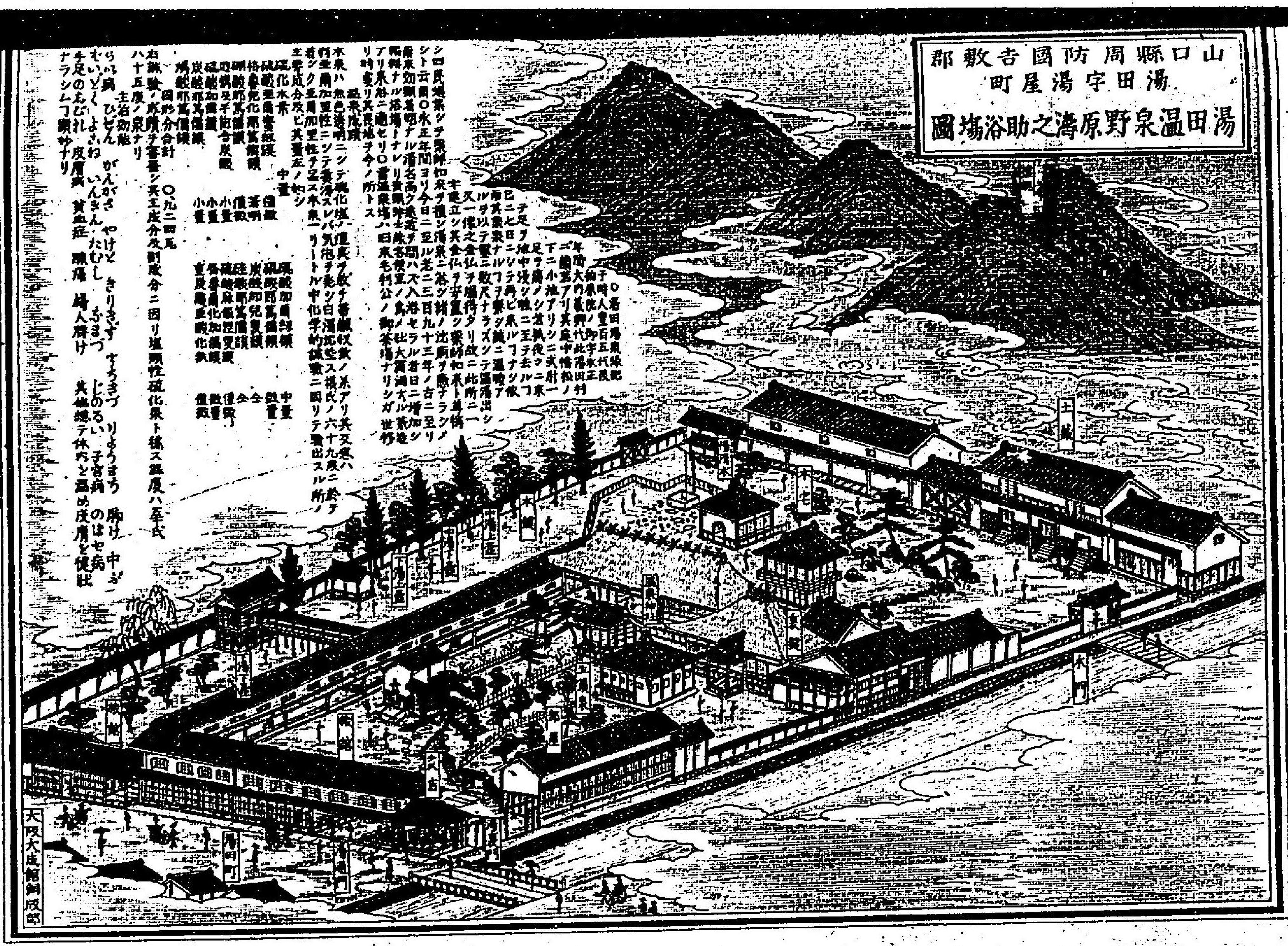
こと南一里許、長門國厚狹郡の山中驛に至る三里二十余町、南阿知須、床波に通する支道あり驛の東南海岸に達する一里にして日々近海を航する汽船の寄港するありて交通の便殊に宜しきを得たり


山口縣周防國吉敷郡宮野村
臨濟宗東福寺派
香山常榮寺境内之圖
毛利家墓地
石香氏
大門
當寺本尊千手観音菩薩脇立四天王何レモ木造トス
元香山国清寺ト号シ大内氏二十世盛見朝臣應永年中本郡上宇野今村ニ建立ニシテ開山勅諡佛恵光禪師ニ永享三年六月廿八日盛見朝臣筑前深江ニ於テ戦死セシヲ以テ其菩提所トス毛利輝元安藝ヨリ移封ノ時父隆元ノ菩提所常栄寺ハ本寺ノ特賜正灯普光佛智大照国師ノ開山タルヲ以テ常栄寺ト称シ隆元ノ位牌ヲ安置ス文久三年今ノ地ニ移ル此地ハ大内氏二十三世教弘室ノ菩提所妙喜寺ト云ヒシカ慶長移封ノ時隆元室ノ菩提所トナリ更ニ妙壽寺ト改号ス其旧寺ハ湖晋寺ト改称シ後妙壽寺ヲ廃セリ爾来明治二十一年九月廿日 正親町天皇ノ常栄廣利禪寺ノ勅額ノ存スル故ヲ以テ旧号常栄寺ト改号ス慶長移封ノ前千四百八十二石移封後落穂半還迄ニ高二百二十石ヲ領セリ
什宝ノ著名ナルモノハ左ノ如シ
元亀元年特賜正燈普光禪師勅書 一通
天正三年特賜佛智大照国師勅書 全
正親町天皇勅額ニ面並ニ宝扇
其他足利織田徳川毛利ノ諸家ヨリノ古文書等数通アリ
當寺庭園ハ元大内氏ノ別業ニテ僧雪舟禪師ノ創設ニ係リ泉池ヲ心字ニ形取リ東北隅ニ奇石錯落タル一造ノ飛泉アリ池中ノ小嶼ヲ舟石ト称ス四時ノ風光最モ佳絶ニシテ地方著名ノモノトス
大阪大成館銅版部

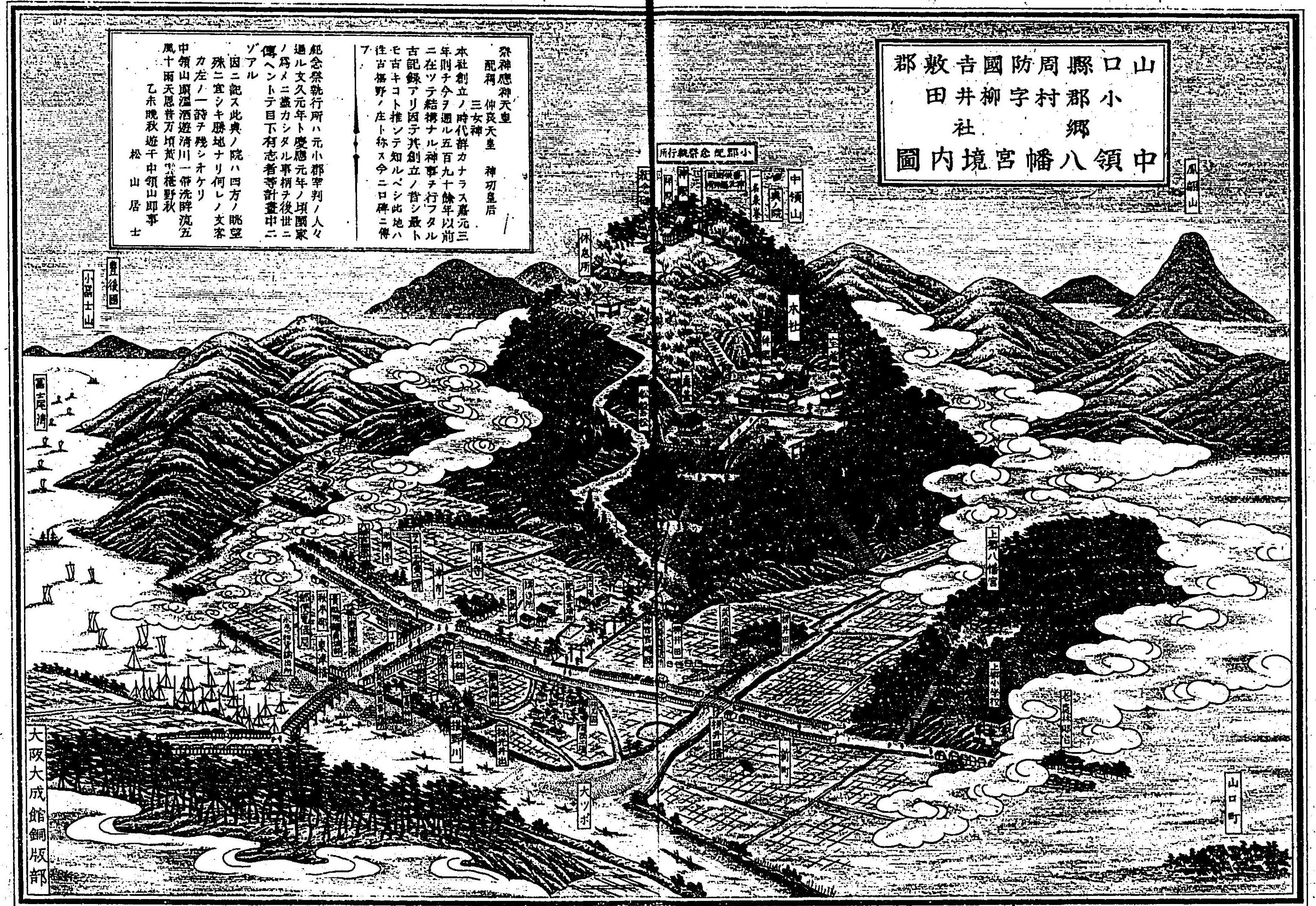
山口縣周防國吉敷郡上宇野令村
曹洞宗 保寧山
瑠璃光寺境内之圖

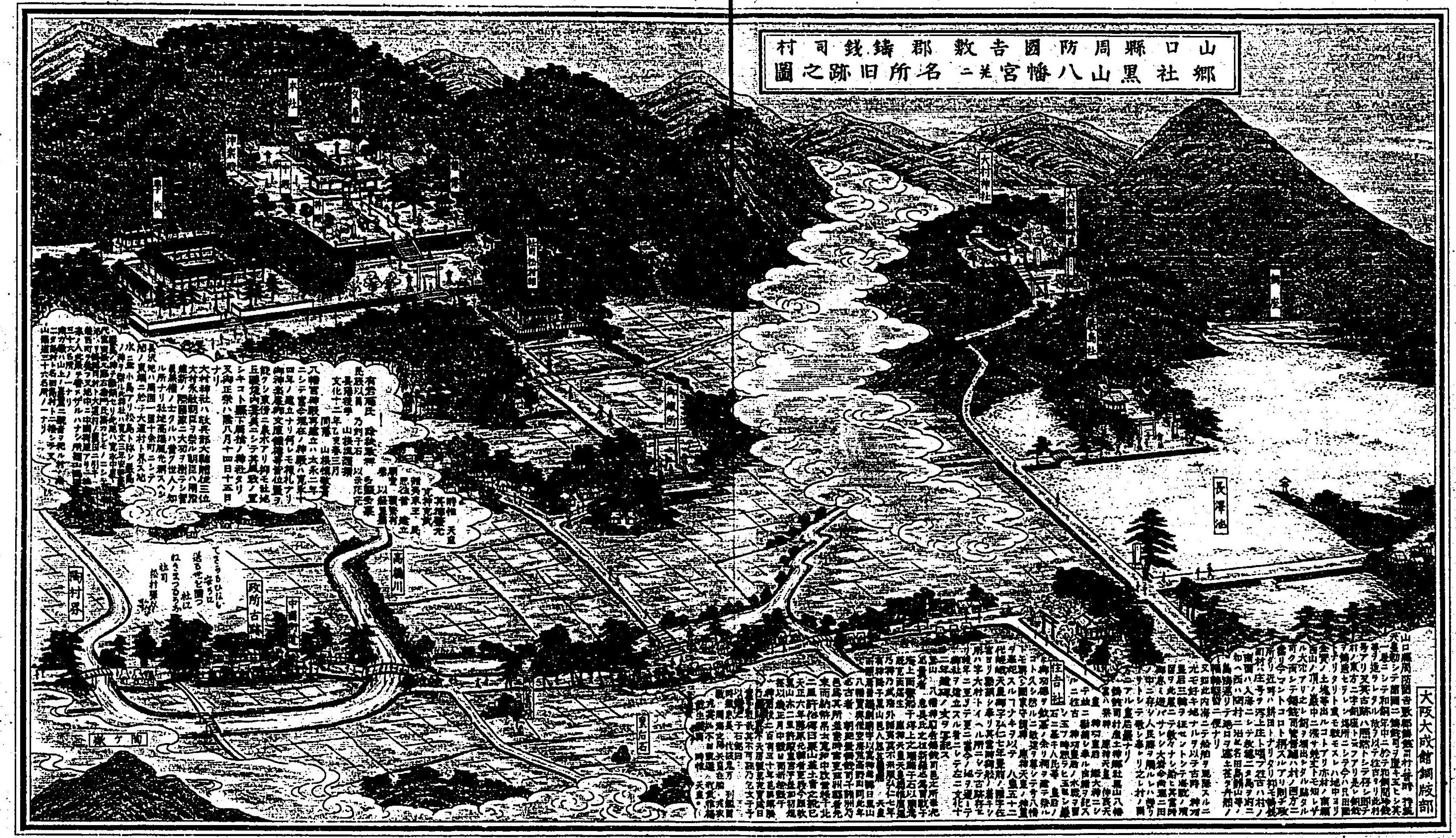


山口縣周防國吉敷郡
上宇野令村
臨濟宗建仁寺派
正宗山
萬年寺境内之圖



山口縣周防國吉敷郡
湯田字湯屋町
湯田温泉野原濤之助浴場圖

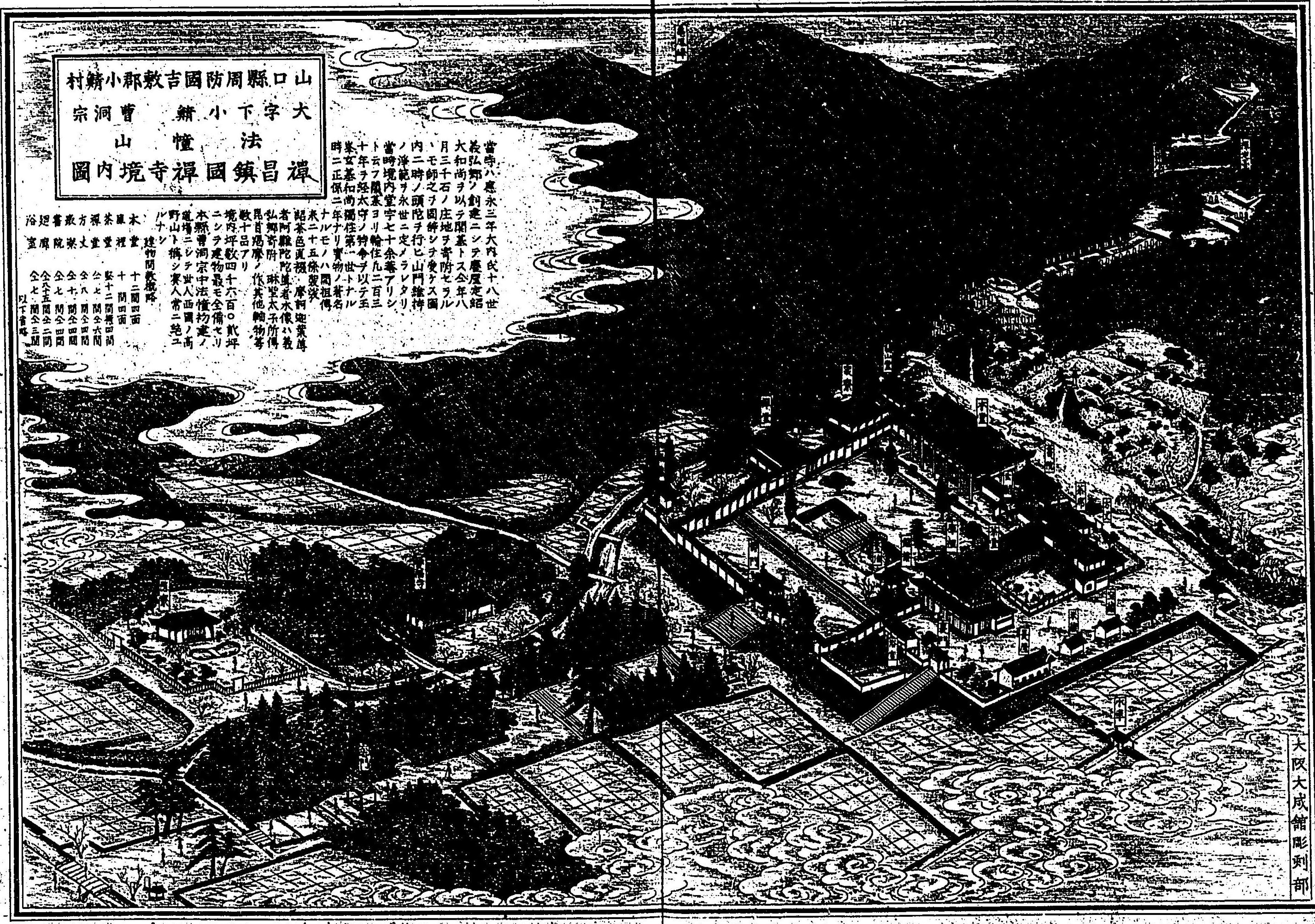

山口縣周防國吉敷郡
小郡村字柳井田
郷社
中領八幡宮境内圖
祭神應神天皇
配祠 仲哀天皇 神功皇后
三女神
本社創立ノ時代詳カナラス嘉元三
年則チ今ヲ遡ル五百九十餘年以前
ニ在ツテ結構ナル神事ヲ行フタル
古記録アリ因テ其創立ノ昔シ最ト
モ古キコト推ンテ知ルベシ此地ハ
往古椿野ノ庄ト称ス今ニ口碑ニ傳
フ
紀念祭執行所ハ元小郡宰判ノ人々
過ル文久元年ト慶應元年ノ頃國家
ノ爲メニ盡カシタル事柄ヲ後世ニ
傳ヘントテ目下有志者等計畫中ニ
ゾアル
因ニ記ス此奥ノ院ハ四方ノ眺望
殊ニ宜シキ勝地ナリ何レノ文客
カ左ノ一詩ヲ残シオケリ
中領山頭温酒遊清川一帯洗酔流五
風十雨天恩普万頃黄雲椿野秋
乙未晩秋遊于中領山即事
松山居士
小郡紀念祭執行所
中領山
奥ノ院
休息所
本社
豊後國
山口町
大阪大成館銅版部



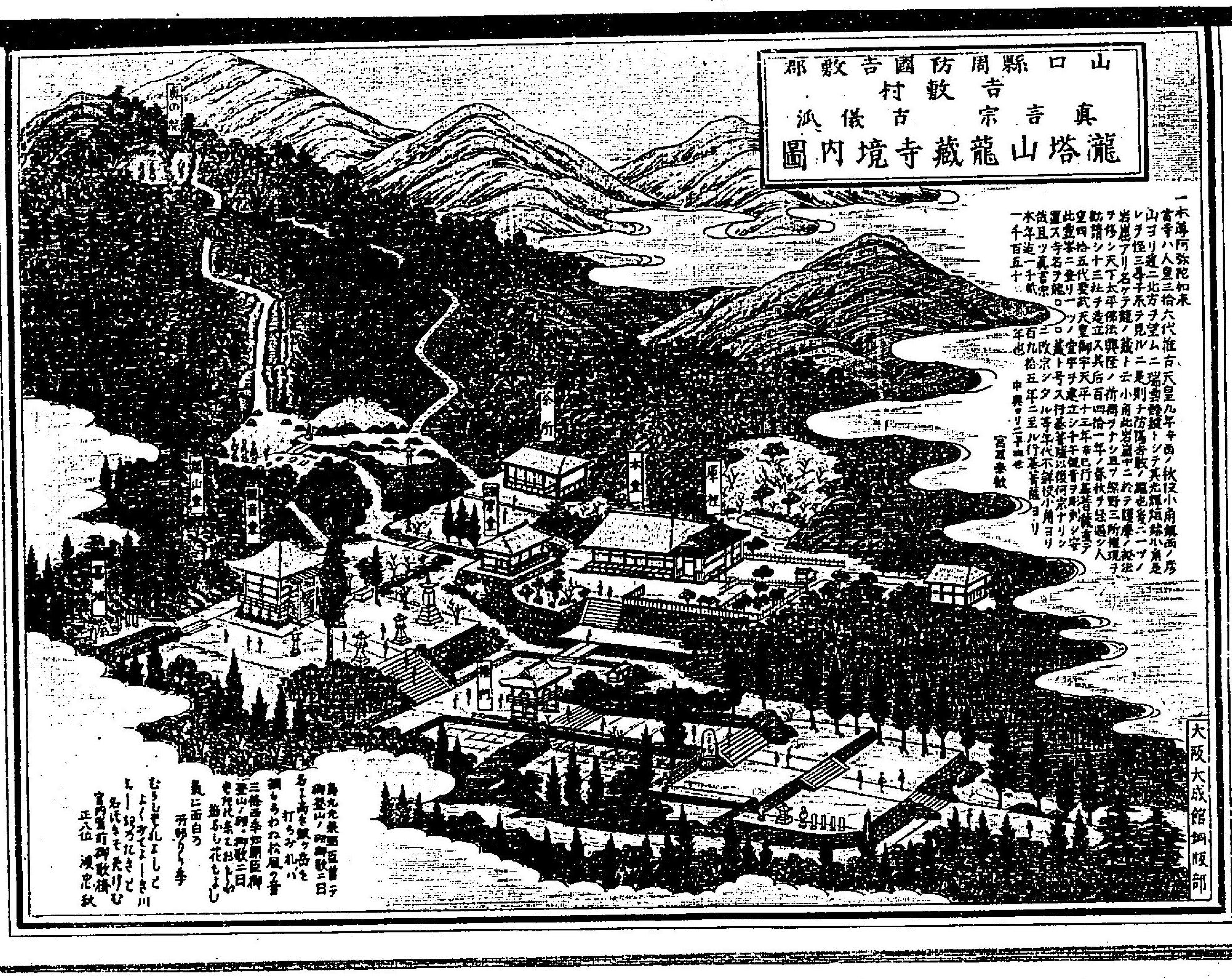
山口縣周防國吉敷郡鑄錢司村
郷社黒山八幡宮并ニ名所旧跡之圖
大阪大成館銅版部

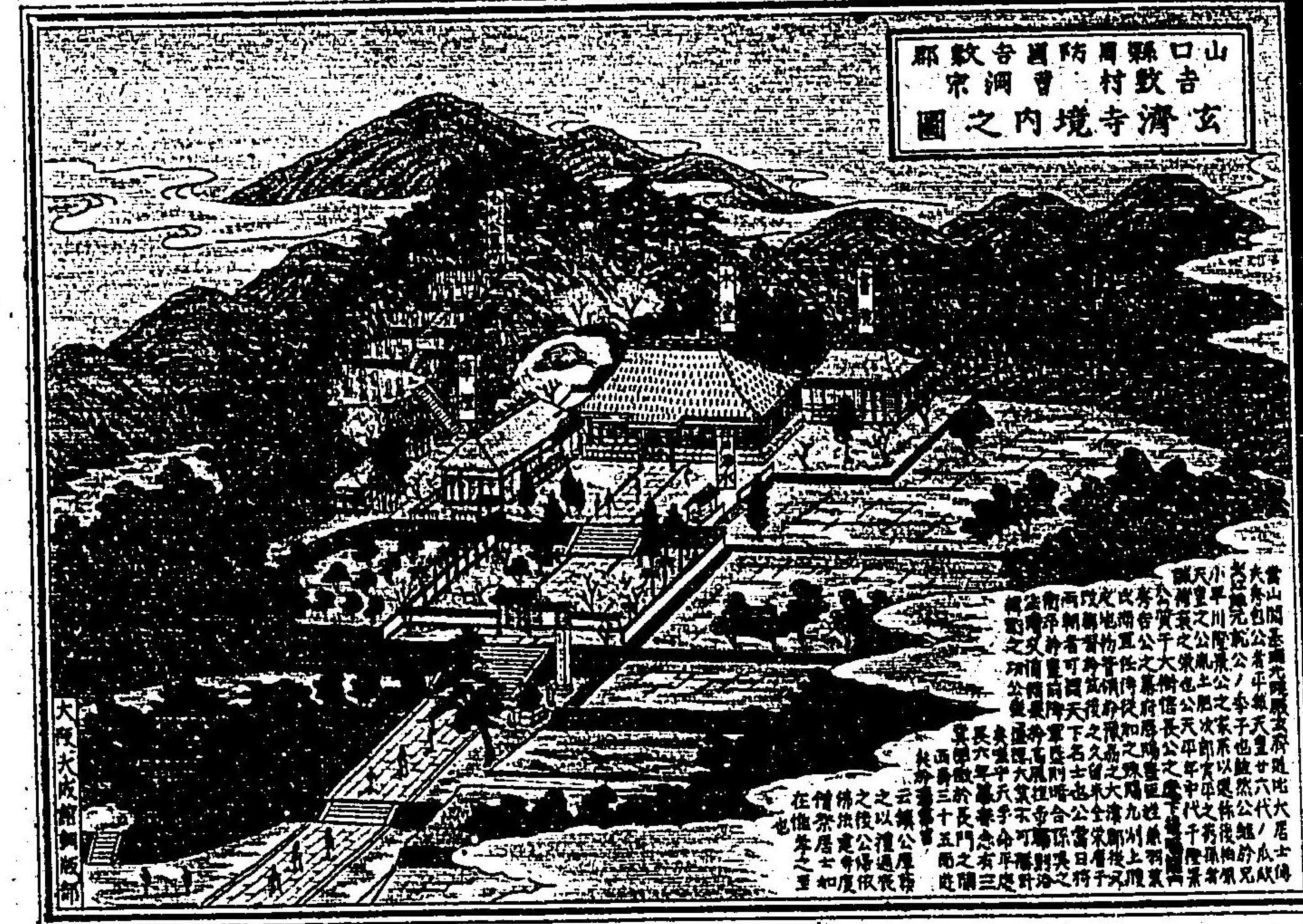
山口縣周防國吉敷郡
宮野村 眞言宗 古義派
花瀧山清水寺境内圖

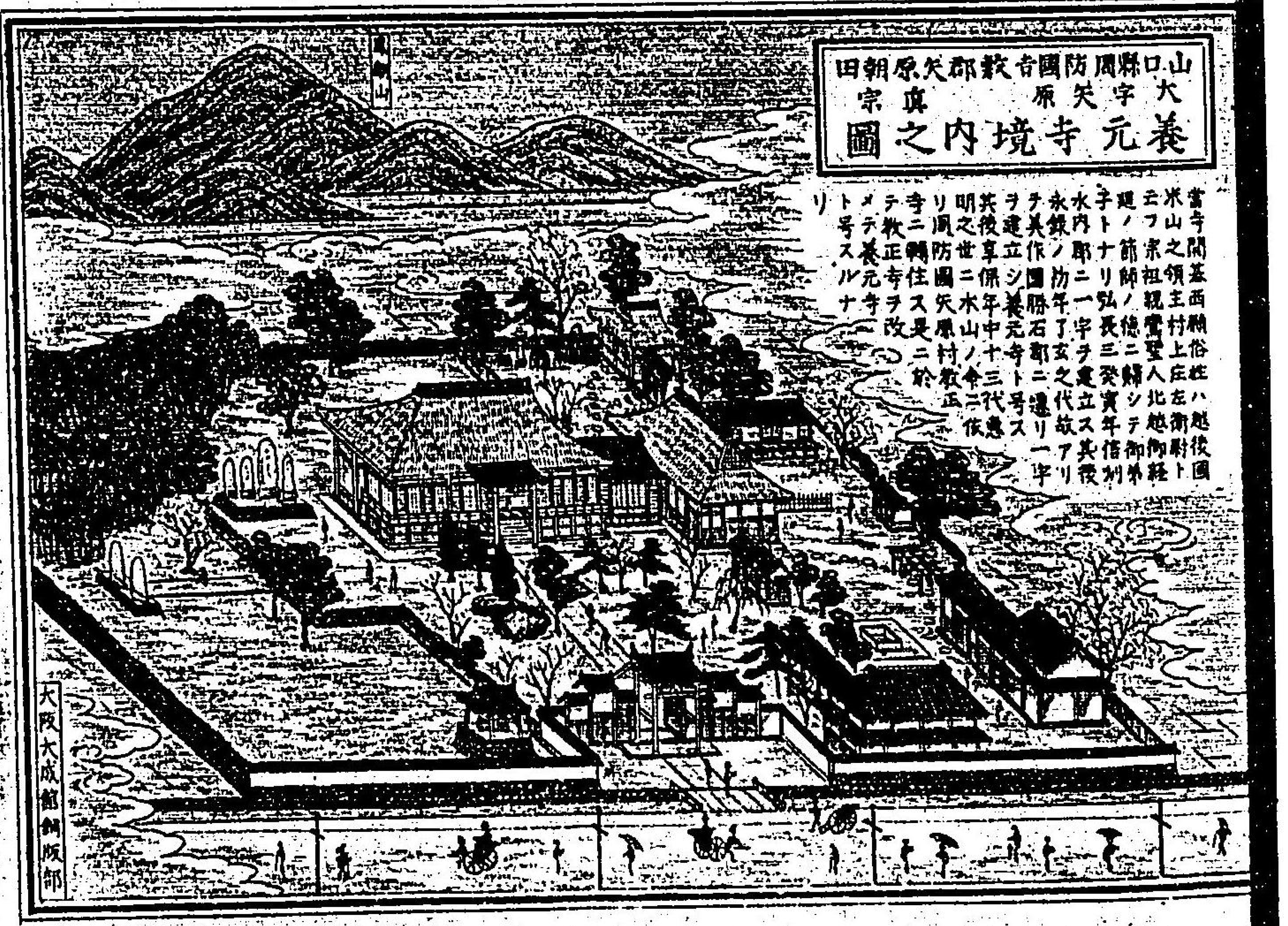
山口縣周防國吉敷郡秋穗二島村
眞言宗古義派平原山
戒定院境内之圖
大阪大成館銅版部


山口縣周防國吉敷郡小鯖村
大字下小鯖
曹洞宗
法幢山
禪昌寺境内圖
当寺ハ應永三年大内氏十八世
義弘郷ノ創建ニシテ慶屋定紹
大和尚ヲ以テ開基トス今年八
月三千石ノ庄地ヲ寄附セラル
丶モ師之ヲ固解シテ受ケス圖
内ニ時ノ頭陀ヲ行ヒ山門維持
ノ淨範ヲ永世ニ定メラレタリ
当時境内堂宇七十余棟アリシ
ト云フ開基ヨリ輪住凡ニ百三
十年ヲ経太守ノ特令ヲ以テ五
峯玄基和尚獨住第一世トナル
時ニ正保二年ナリ實物ノ著名
ナルモノハ開祖傳
来ニ十五條袈裟
紹茶色直綴・摩訶迦葉尊
者阿難陀陀尊者木像ハ教
弘郷寄附 琳聖太子所傳
毘首渇摩ノ作其他軸物等
數十品アリ
境内坪數四千六百○貳坪
ニシテ建物最モ全備セリ
本縣曹洞宗中法幢杓建ノ
道場ニシテ世人西圖ノ高
野山ト擕シ寮人常ニ絶ユ
ルナシ
建物間數概略
本堂 十二間四面
庫裡 十二間四面
茶堂 竪十二間横四間
禪堂 仝七間仝六間
方丈 仝八間仝四間
衆寮 仝十間仝四間
書院 仝七間仝四間
廻廊 仝八十五間仝二間
浴室 仝七間仝三間
以下省略
大阪大成館彫刻部

山口縣周防國吉敷郡吉敷村
郷社 國史現在
赤田神社境内圖
宮内省御歌掛 正八位渡忠秋
大阪大成館銅版部


山口縣周防國吉敷郡
吉敷村
真言宗古儀派
瀧塔山龍藏寺境内圖
大阪大成館銅版部


山口縣周防國吉敷郡
吉敷村曹洞宗
玄濟寺境内之圖
大阪大成館銅版部


山口縣周防國吉敷郡矢原朝田
大字矢原真宗
養元寺境内之圖
當寺開基西觀俗姓ハ越後國
米山之領主村上庄左衛尉ト
云フ宗祖親鸞聖人北越御経
建ノ節師ノ徳ニ歸シテ御弟
子トナリ弘長三癸實年信判
水内郡ニ一字ヲ建立ス其役
永錄ノ初年了玄之代敬アリ
ヲ美作國勝石郡ニ遷リ一字
ヲ建立シ養元寺ト号ス
其後享保年中十三代惠
明之世ニ木山ノ命ニ依
リ周防國矢原村教正
寺ニ轉住ス是ニ於
テ教正寺ヲ改
メテ養元寺
ト号スルナ
リ
大阪大成館銅版部

佐波郡

吉敷郡の東に接する一郡にして東は都濃郡に隣り西北の一部は長門の阿武郡に迫り石見の鹿足郡に其半頭を顯はせり、東西六里三十町、南北十二里八町、周圍四十里二十四町、面積三十一方里二分一厘、十五ヶ村に分てり、戸數一萬六千二百七十八、人口八万〇二十六人を有す、地勢は中央最も廣くして南北の両端長く迫りて斜形をなせり、南方の小部分僅かに海に瀕して屈曲せり

山岳

眞多ヶ岳　堀村に属す高サ二千〇四十九尺、登り十町余あり、吉敷郡界の支脈をうけて東に突起せり

要害ヶ嶽　出雲村大字小古祖に属せり、高サ一千百八十尺、登り十八町とす、脈は東北都濃の郡界より來りて起伏せり

日暮嶽　郡の北隅阿武郡の界に跨る高峯にして柚野村に属せり高サ二千余尺、登り二十八町とす

右田ヶ嶽　郡の西南右田村にあり高サ一千四百九十八尺、登り十八町

文珠ヶ嶽　郡の中央串村にあり高サ一千五百尺、登り十三町

河川

佐波川　源を柚野村日暮嶽の溪谷に發し佐波河内川と稱して出雲村に至り庄内川と相會し南流十四里の程を過きて西の浦に至り大海灣に注入す川幅の廣きところ六十間許、舟揖の便あり

道路

山陽國道　都濃郡の戸田驛より來り富海、宮市の兩驛を過きて吉敷郡臺道驛に通せり

三田尻街道　長門の萩より起り山口町を經て宮市驛に來りて三田尻に達す

宮市街道　玖珂郡岩國町より起り都濃郡鹿野を經て本郡に入り堀、岸見の兩驛を過きて宮市に達す

港灣

三田尻港　國内第一の良港にして深サ三丈三尺周圍二里余あり

其他中の關港、西浦港、富海港等あり

嶋嶼

向島　三田尻港灣の西南より中の關の東南に横たわる一島にして東西一里四町南北一里余、戸數五百戸、人口二千百四十二人あり、陸地に近き所僅かに三町にして問屋口に向へり、翁崎東方に斗出して江泊半島の竜口岬に相對し以て三田尻の灣口となれり錦岳其中央に起伏して全島に亘れり

野島　向島を東に去る四里余の孤島にして沖島、平島等の屬島北に散して遙かに都濃郡の馬島と相對せり、東西十丁、南北十四町、戸數百八十六、人口九百八十三人あり、陸地への隔里五里許なり

勝區

桑の山三田尻、橘阪牟禮村浮野峠、江泊仝村、田島中の關村、高洲三田尻、都の濱仝上、大崎の浦右田村、佐波の浦、

名邑

三田尻村、佐波令村、中の關村、富海村、出雲村、島地村、船路村等なり

産物

食鹽、半紙、米、楮、櫨實、海産、

神社

神社の總數三十社あり、內國幣小社一ヶ所、縣社一ヶ所、鄕社九ヶ所、村社十九ヶ所

寺院

寺院の總數は各宗合して八十二ヶ寺とす

三田尻村

郡の南端三田尻灣に瀕する小都會にして戶數二千百十戶、人口一萬七百十四あり佐波郡役所、警察署、郵便電信局等あり其他勸農合資會社、三田尻港築提株式會社、華浦銀行等ありて商賈櫓を連ね頗る繁盛なり、山口町を距る五里十一町、宮市を經つる廿四町あり、三田尻港は山口町最近の良港にして江泊半島は向島に對して斗出し以て港を擁せり、港內常に船舶の出入多く日夜東西に滊船の便ありて貨物の集散頗る多し、桑山は西端の丘陵にして維新の役國難に殪れたる勇士五十三人の靈を祀れる招魂社ありて例年九月十五日を卜して盛なる祭典を執行せり、丘上の眺望廣濶にして北に大平、右田の嶮岳を仰き東南向島を狹んで遙く四國、九州の諸峯を指点し風光山海共に甚た佳絕なり

宮市

宮市は東佐波令村に屬する小市街にして山陽國道の要路に當り四通八達の地なりとす地は郡內屈指の市場にして東西に長く肆店櫛比して商賈頗る盛なり、山口町を去ること四里二十三丁、富海へ二里六町、北岸見驛へ三里十一町、西吉敷郡の小郡へ五里三十町ありて各所に通する道路平夷にして日々數回馬車の便あり來往殊に殷賑なり

天神山公園　宮市町の北に聳ゆる酒垂山の中服にして佐波令村に屬せり、明治十六年五月の創設にして敷地八萬余坪あり內に松崎神社ありて賽人遊客常に絕へす山上より南方三田尻港、中の關、向島等を瞰下し遠く九州四國の峯嶺は白帆と共に靑松の間に隱見し其風景の開濶にして奇絕なる殆んと地方に其比を見ること能はさるべし

中の關村

三田尻の西南二里を去る海濱にありて向島の西端に對する小港なり戶數一千九百五十七、人口九千六百十三あり、日々小滊船の寄港するありて交通甚た便なりとす往昔は長防三關の一にして船の碇泊殊に盛なりしが近時三田尻港の開けてより大に其樣を一變せりと云ふ

富海村

郡の東南に位する一驛にして南は海に面し八崎岬右方に突出して灣を擁せり、戸數七百十四、人口三千七百五十八人を有す、宮市を去る二里六町、都濃郡戸田驛へ二里二十八町とす

玉祖神社

右田村大字大崎にあり、國幣小社に列し玉祖命を奉祀す、社は背後三面遥に姫山、岱山、佐野山の翠巒を負ひ、社前山陽國道を經てゝ佐波川の清流を控へり、馬場先三町を通じて國道に一の華表を設けり、境内老松巨樹社殿を圍んで陰森肌膚に迫り整粛にして自ら官幣社たるの威厳を存せり、社頭庭園には泉池あり池畔に一碑を建つ又假山あり橋を架せり園内四季の花木に富めり、殊に春秋の候に際せば風光雅致にして誠に掬す可きの勝地なり

社記に曰く

一鎭座ノ年月不詳社殿ニ天孫日向國ニ降臨ノ時供奉シ給ヒテ御創業ヲ輔佐シ給ヒ皇化ヲ中國ニ給ヒテ後本國佐波郡大崎ノ地ニ座シテ遂ニ神避給ヒケレバ今字ヲ御祖ト云フ處ニ隱シ奉レリ玉岩窟ト云フ此岩窟本社ヨリ北三四丁許ノ田間ニ在リテ今本社ノ附属地トナシテ保存セリ、和名鈔ニ本郡郷名ニ(多万乃於也)トアル即チ此大崎ノコトナルベシ

一由緒ニ曰ク本社ニ祭ル處ノ玉祖大神ハ神代ニ天照大神天石窟ニ入ラセ給ヒシ時ニ種々ノ事アリツル中ニ八尺ノ曲玉ヲ作ラセ給ヒテ天照大神ヲ天岩窟ヨリ招キ出シ奉リ給ヘル事アリキ此ノ玉後ニ皇孫日子番邇々藝尊ノ御時ヨリ御代々ノ天皇ノ御寳三種ノ神器ノ一トナリテ天皇御代繼ノ時ハ先帝ヨリ讓ラセ給ヘル例ナリ其中ニ鏡ト劍ハ崇神天皇ノ御時鑄改メサセ給ヒテ神代ノ鏡ハ伊勢大神宮ノ御神体トナリ給ヒ劍ハ熱田神宮ノ御神体トナラセ給ヒテ今朝廷ノ御寳トナレルハ崇神天皇ノ御代ニ鑄サシメ給ヘル物ナレト玉ハ神代ナカラノ物ニテ今ニ至ルマテ禁中ニマシマシテ三種神器中ノ第一ニ置カセ給ヘリコレ玉祖大神ノ御功徳萬世ニ殘レル驗ナル可シ

一沿革ニ曰ク崇神天皇ノ御代天社國社ヲ定メ給ヒシ時本社モ其列ニ入リ給ヒシナラン景行天皇熊襲御征討ノ時御祈願アラヤラレ行在所ノ舊跡モ宮城ノ森ト稱ヘテ今ハ本社ノ附屬地ナリ仲哀天皇及神功皇后モ亦西征ノ日御參詣アリテ親シク祭リ給ヘリ三代實錄ニ貞觀九年三月從三位ヲ奉リ給ヒシコト見

ニ其後康保元年四月從一位ニ進ミ給ヒシコト日本紀ニ見ユ其後モ諸國ノ諸神社ニ位ヲ奉リ給ヘルコト古書ニ見エタレバ本社モ又進階アリテ正一位ニナリ給ヘルコト知ラレタリ社領ハ天平十年ノ正税帳ニ玉祖神税天平九年定頴稲三仟捌伯參拾肆束トアリ米ニシテ百九十一石七斗、此後社領高ノ物ニ見エタルハ本國大内氏ノ領セシ時文明十一年ノ古文書ニ百七石九斗六舛八合ト見ユ舊藩毛利氏八ヶ國領地ノ頃ハ百五十八石四斗二舛ナリ其後又防長両國ノミ同氏ノ領地トナリシヨリ社モ減少シテ僅カ拾三石七斗五舛ノ外ニ毛利氏ヨリ現米六石三斗二舛八合ト本國六郡ノ勘場ヨリ國祭料トシテ藩札參百六拾四文目參分納メ來リシナ王政復古ニ至リテ皆廢セラル、古來ヨリ奉仕セシ社家社僧モ數多アリテ天平十年ノ正税帳ニハ禰奇玉作部五百背ト云フ人見エタリ建武二年ノ古文書ニ權禰宜、禰宜權祝、祝、權神主、權大宮司、神主、大宮司此外神人等數輩在之ト載セタリ、又天正十七年ノ神領打渡坪付ニハ社僧ニ法金剛院以下八坊社家ニ大宮司、神主ノ両家ヨリ御一新前ハ別當德業坊、佐甲土屋ノ両大宮司奉仕セリ、

一古今の和歌　今川貞世ヶ道行ぶりに

大崎のうらふく風の朝なきに田島をわたる鶴のもろこゑ

阿部健臣

みすまるの玉にならひてうるはしき花の色をも神や作りし

尾古重伴

玉祖のこれの御神は天照す日の大神の岩屋戸にこもらしまして世の中の常夜ゆく時眞賢木に掛けて祈しまか玉を作りし神そそれのそのまか玉こそは高御座受継ませる日の御子の天津しるしの御寳と傳はり來ぬれ神はしもさはにませとも御寳をつくりつかへていさをある神は此神玉といふ玉はおほけど御しるしとつたはる玉はやさかにのそれのまか玉その玉をいつきますことこの神の御たまいつきて玉の祖の神のやしろとたゝへけらしき

當社の廣袤境域は二千二百六坪九合内平地千百七十六坪、木立六百九十八坪三合、泉水百十四坪、築山百四十六坪四合、堀七十一坪五合ありて一の深森をなせり明治四年六月を以て國幣小社に列せらる、祭典は例年九月二十五日にして其儀式は古禮にして今尚傳はれり卽ち古手相撲式又は夜神事とも云ふ祭典の前夜之を行へり、往古仲哀天皇熊襲御征罰の時本社に詣てさせ給ひて軍の吉凶を占ひ給ひし

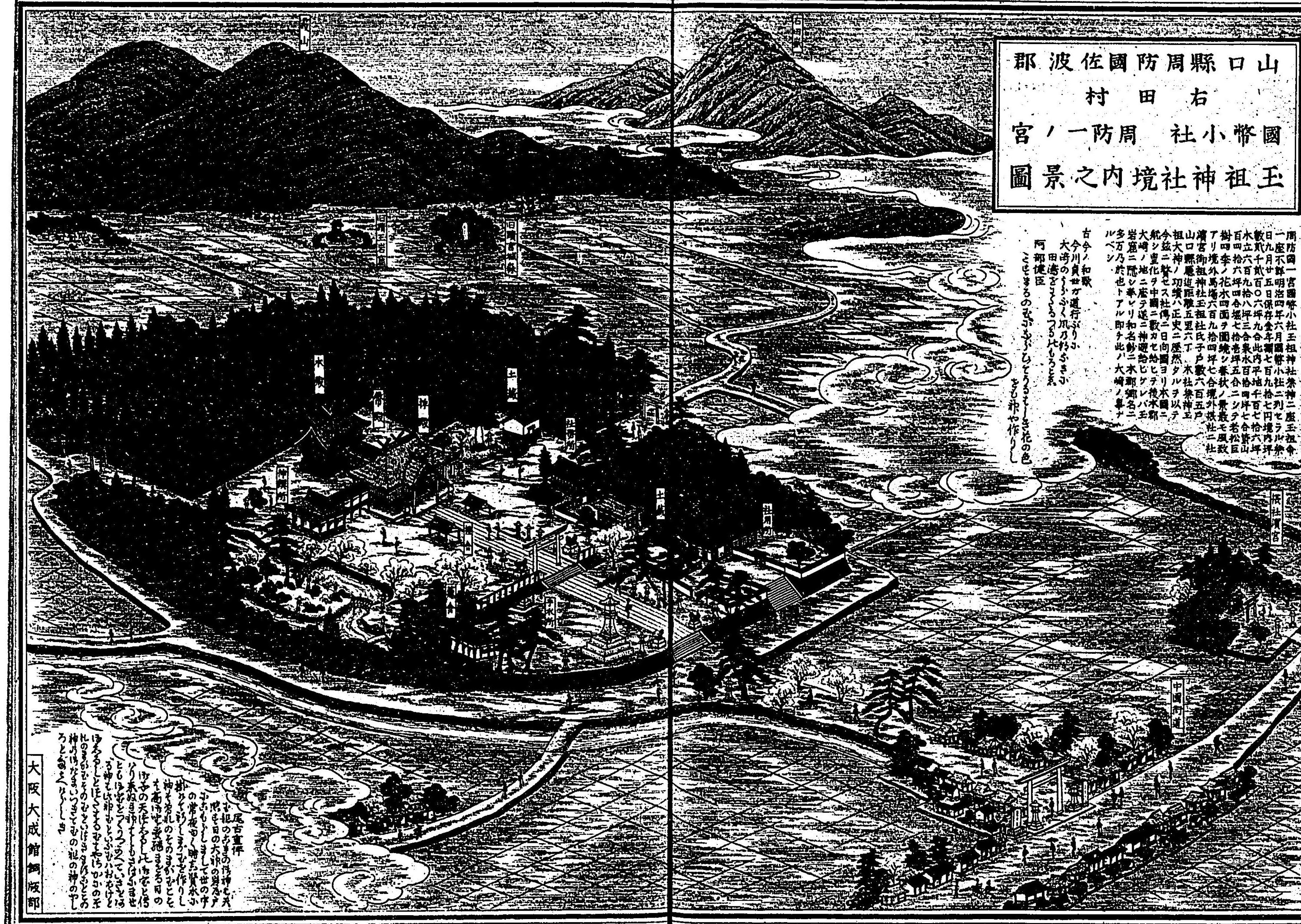
に起因せりとぞ誠に厳粛なるものといふ可きなり、神器寶物の著名なるものは三足の土鼎及大盎は仲哀天皇、神功皇后御參詣の際佐野村陶工の始祖澤田の長に命して造らしめ給ひ以て玉祖大神を祭り給ひしといふ今を去る實に千六百九十八年の久しき今尚此の古式を傳へて百二代の孫、内田某より毎年九月例祭に當りて之と調進しつゝあり、景行天皇御奉納御劍一口、源義經、足利尊氏を初め其他奉納の刀劍數口あり、又玉岩窟より掘出せし古鏡、古鈴、借命俊施入古鏡等ありといふ

松崎神社

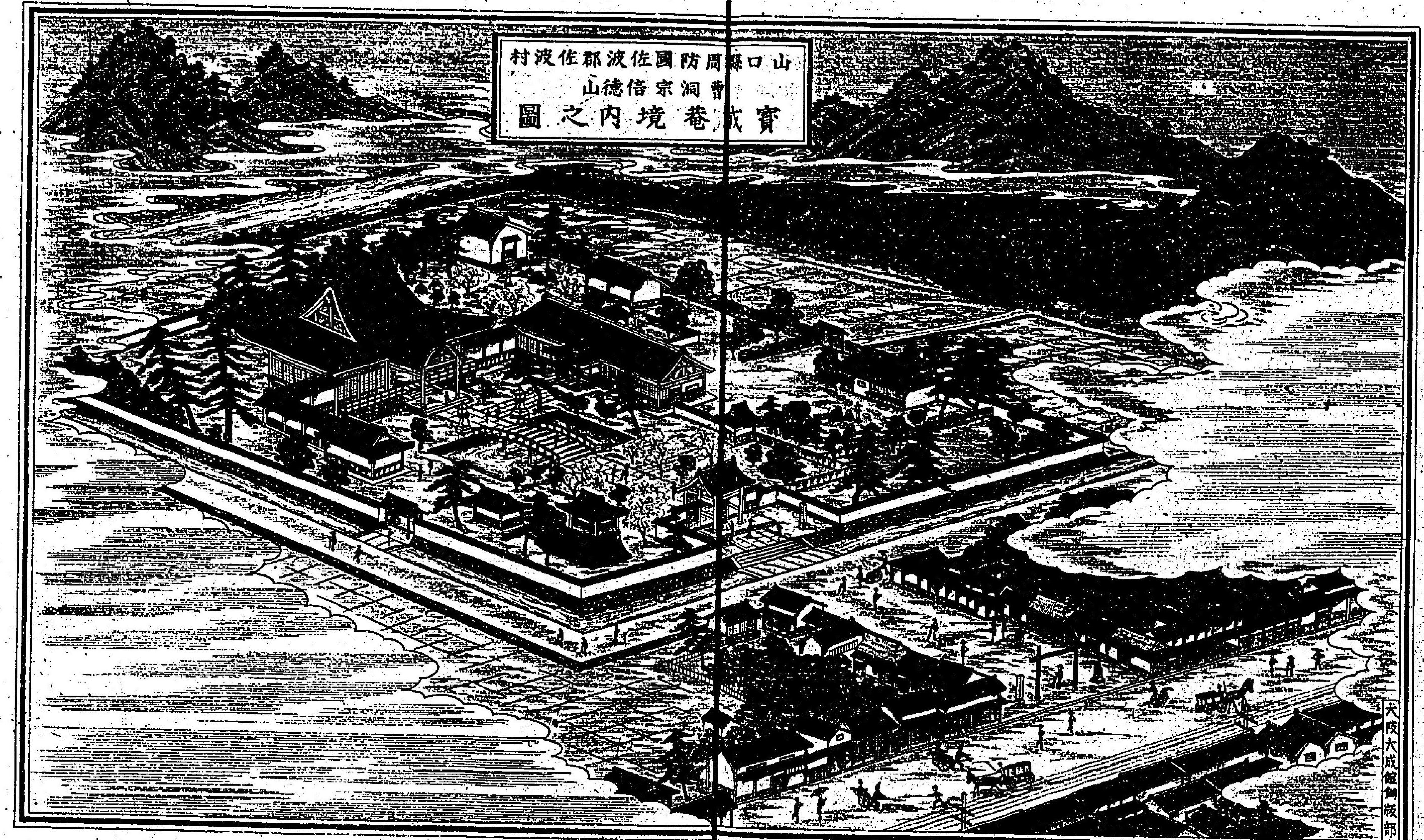
佐波村の酒垂山に鎭座する縣社にして祭神を菅原道眞とし天穗日命、建夷鳥命、野見宿禰の三神を配祀せり、創建は延喜四年なり、縁記を按するに道眞公宰府へ左遷の途次本郡勝間の浦に着船せし時國司土師信貞之を國府の官舍に迎へ一日公と誘ひて此地に逍遙せしに山秀水麗の勝地なれば公深く賞愛して曰く身他郷に放すと雖ども神魂は必す此地に止めんと誓はせ玉へり、延喜三年太宰府に於て薨去の事あるや翌四年國司此地に祠を建て以て公の靈を祭るに至れり、菅社全國に數多なりと雖ども太宰府神社、北野神社及當社を并べて三天神と稱す殊に當社は扶桑菅廟の最初たり故に大内、毛利氏等の崇敬深く社殿の建營社領地寄附等殊に厚しといふ、現今の社は天明九年舊藩主毛利重就の造營にて神殿、拜殿、總拜殿、廻廊、神饌所、渡殿、裏門、皷樓、神庫等皆結搆全備宏壯にして頗る美觀なり、宮域曠潤にして背後に峨々たる天神山聳へ翠松森々として簇生し前面は渺茫たる蒼海を望んで遠く九四の峰巒を瞰下す社の側に梅林ありて其名遠近に高く實に山陽唯一の勝景なり、十一月十二日の例祭に賽者の群をなすこと筆紙の及ぶへきにあらす以て其一斑を察すべし

國分寺

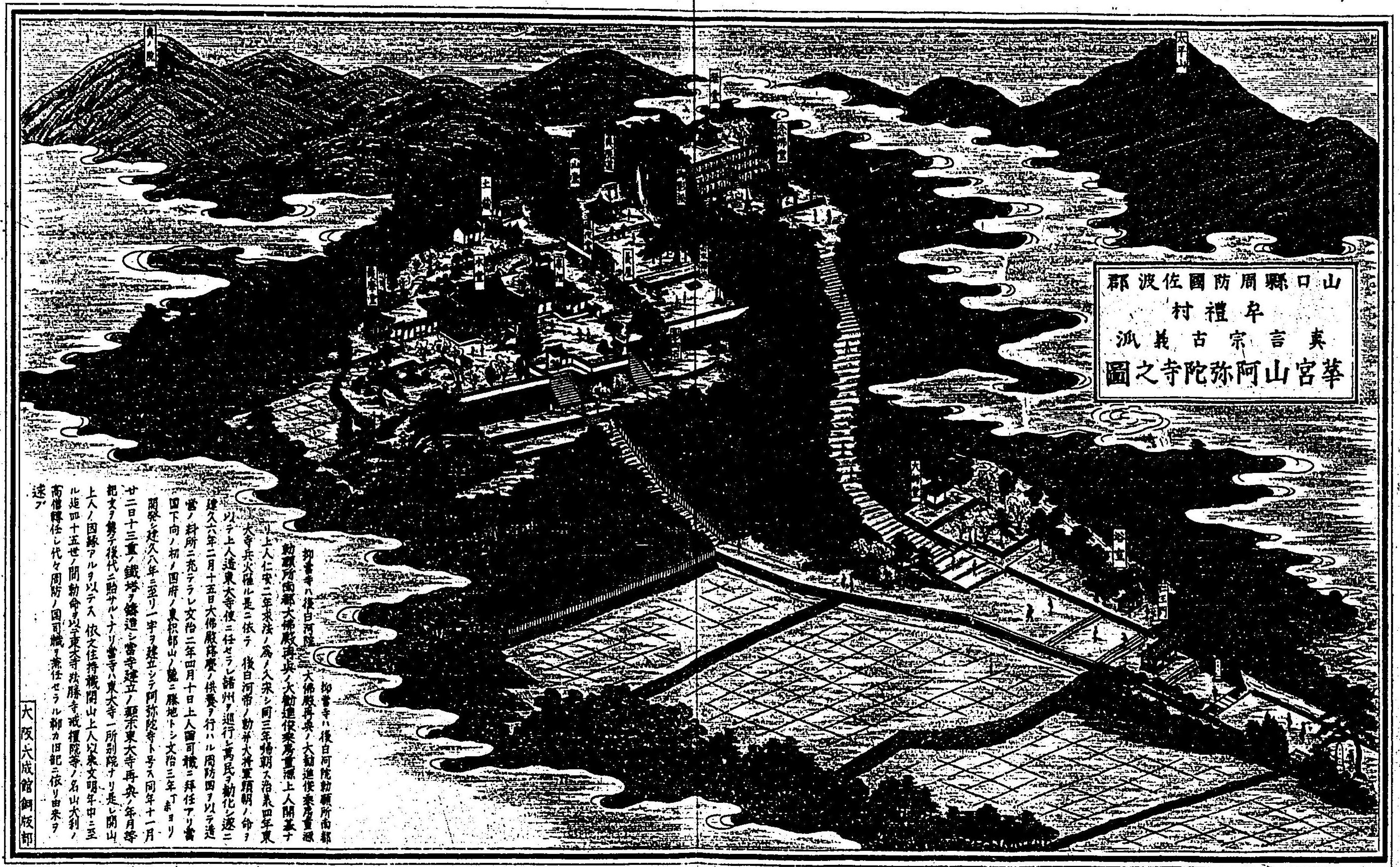
佐波村にあり眞言宗の巨刹にして天平十三年の創建なり境內は國道の北側にありて堂門高く規摸頗る宏大なりと雖ども現今大に舊時の觀を失ふに至れり圖に就て參見すべし



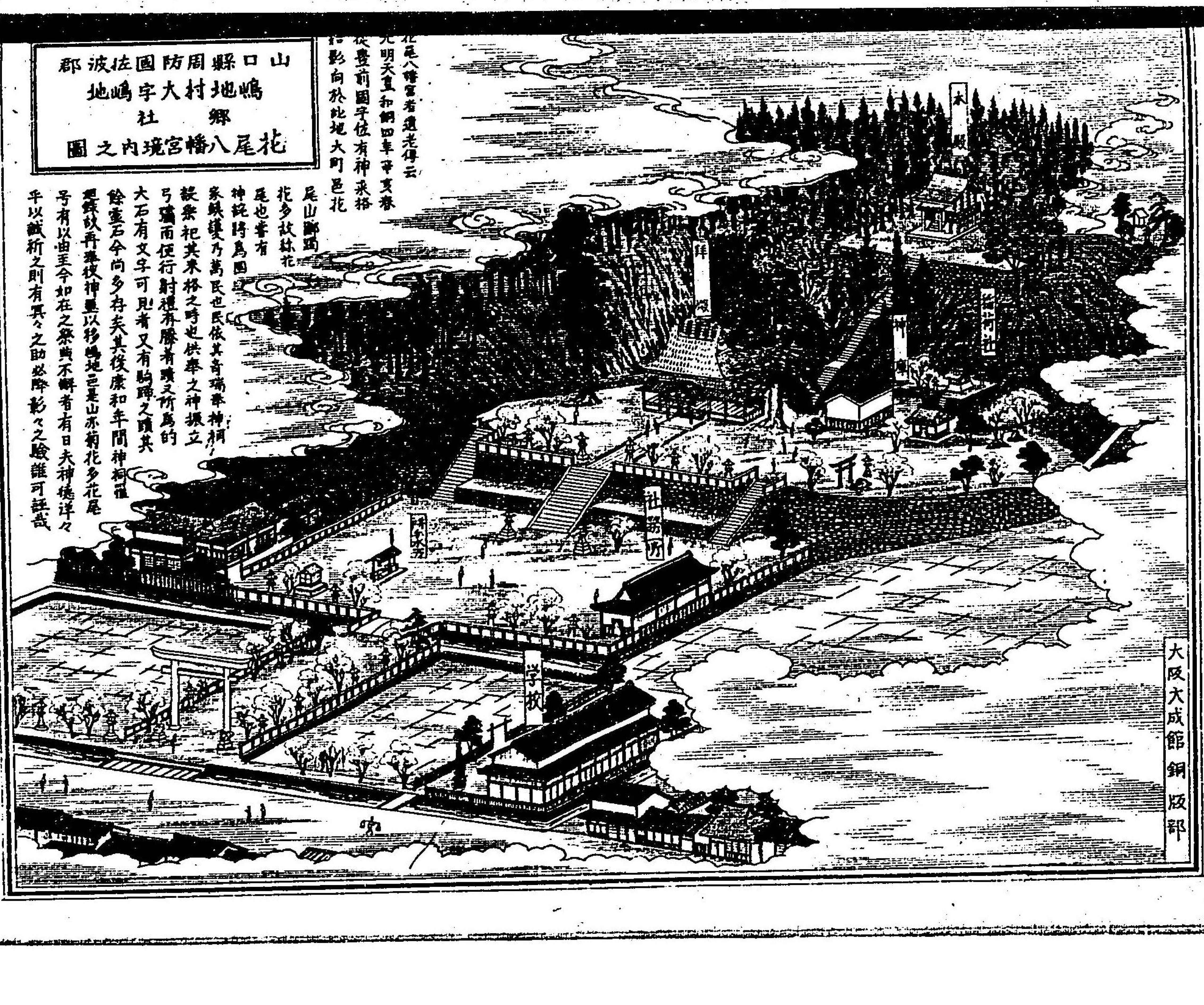
山口縣周防國佐波郡
右田村
國幣小社 周防一ノ宮
玉祖神社境内之景圖
周防國一宮國幣小社玉祖神社祭神二座玉祖命
一座不詳明治四年六月國幣小社ニ列セラル祭
日九月廿五日保存金年額七百九拾七円境内坪
數貳千貳百〇六坪九合此内平地千百七拾六坪
水立六百九拾八坪三合泉水百拾四坪七合紫山
百四拾六坪四合堀七拾壱坪五合ニシテ若松巨
樹四季ノ花水四面ヲ圍繞シ春秋ノ景最モ風致
アリ境外馬塲六百九拾四坪七合境外摂社二社
濱宮御祖神社玉祖社氏子戸數六百五戸
山口縣廳道距離五里六丁本社祭神玉
祖大神ノ功績ハ正史ニ歴然タルヲ以テ
今茲ニ贅セス社傳ニ日向國ヨリ本國ニ
航シ皇化ヲ中國ニ敷カセ給ヒテ後本郡
大崎ノ地ニ座テ遂ニ神遊給ヒケレバ玉
岩窟ニ隠シ奉レリ和名鈔ニ本郡郷名ニ
多万乃於也トアル即チ此ハ大崎ノ事ナ
ルベシ
古今ノ和歌
今川貞世ガ道行ぶりに
阿部健臣
大阪大成館銅版部

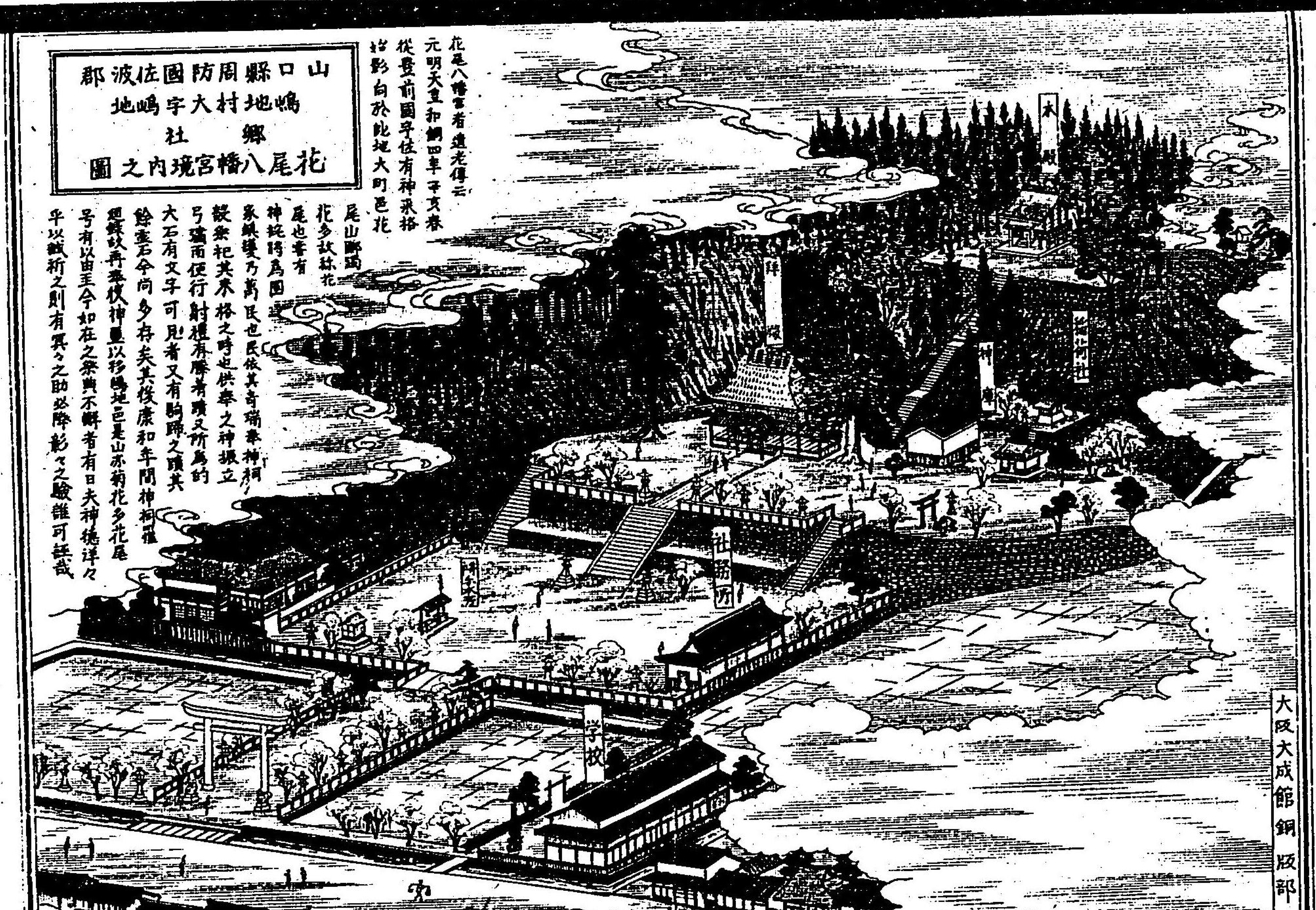

山口縣周防國佐波郡佐波村
曹洞宗信徳山
寶成菴境内之圖
大阪大成館銅版部

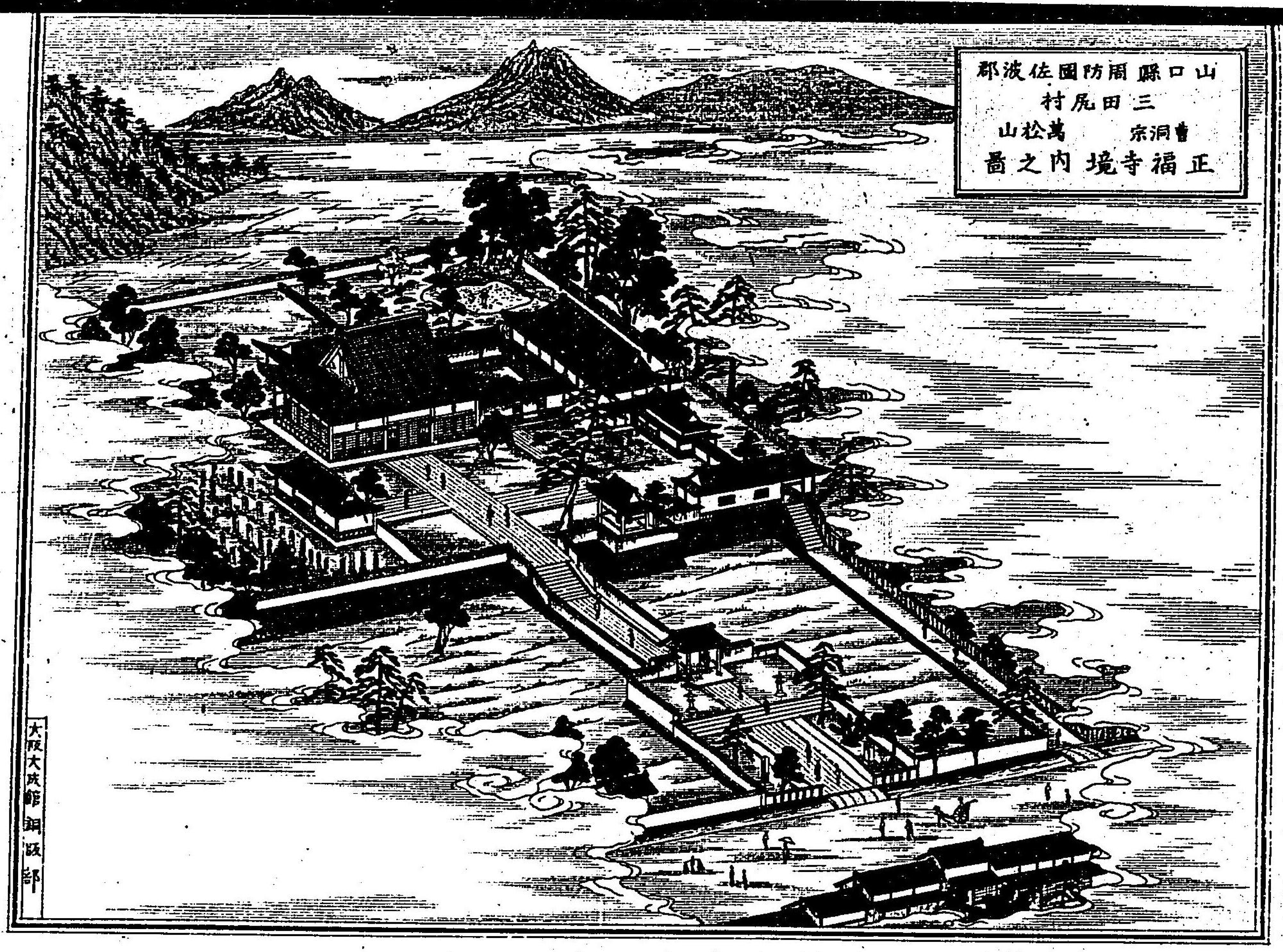
山口縣周防國佐波郡
佐波村
真言宗古義派
法輪山靈臺寺境內之圖
太平山
大阪大成館銅版部



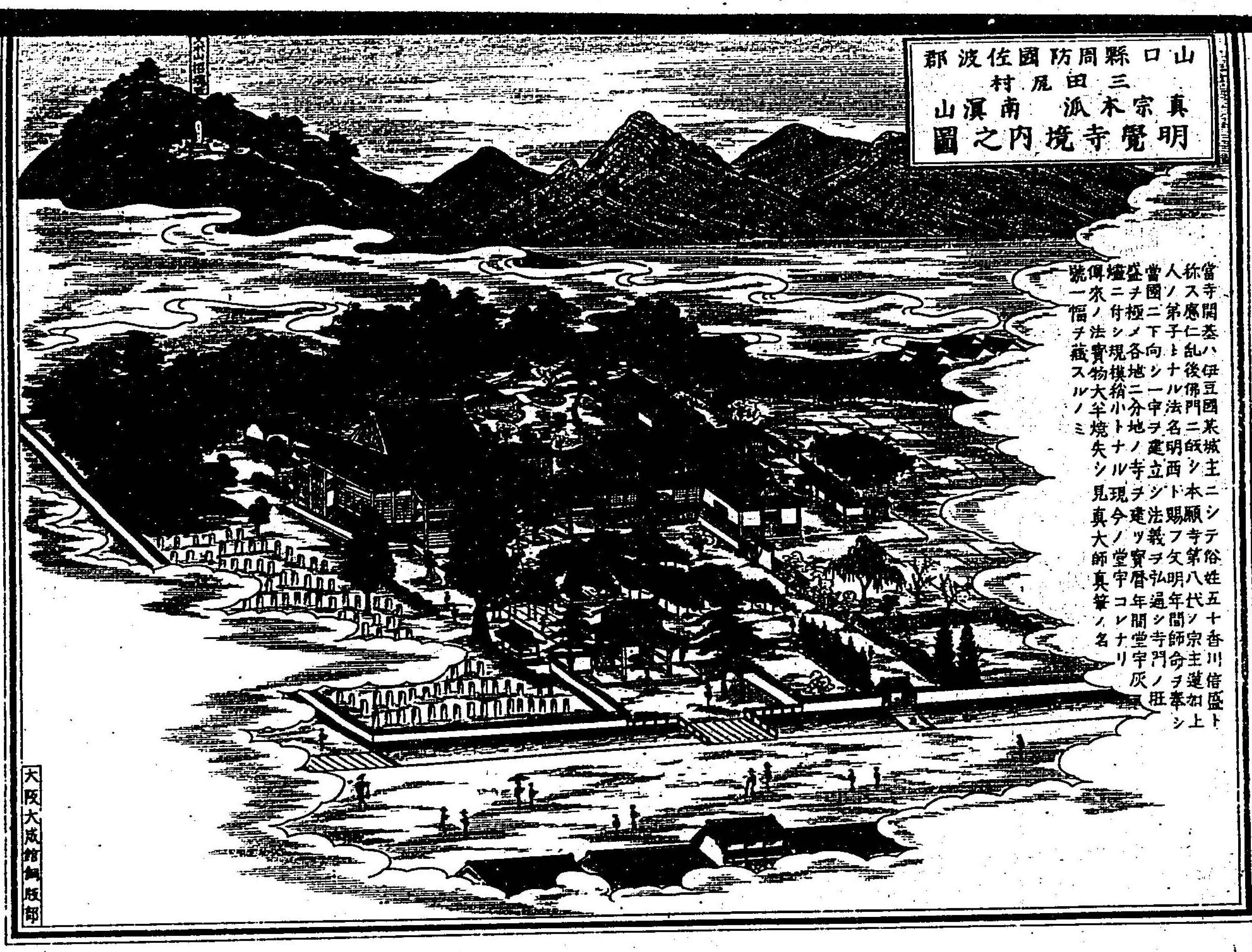
山口縣周防國佐波郡
牟禮村
眞言宗古義派
華宮山阿弥陀寺之圖
抑當寺ハ後白河院勅願所南都
抑當寺ハ後白河陸ニ大佛殿再興ノ大勧進俊乗房重源
勅願所南都大佛殿再興ノ大勧進俊乗房重源上人開基ナ
リ上人仁安二年求法ノ爲ノ入宋シ同三年帰朝ス治承四年東
大寺兵火罹ル是ニ依テ　後白河帝ノ勅并大将軍頼朝ノ命ヲ
以テ上人造東大寺使ニ任セラレ諸州ヲ廻行シ萬民ヲ勧化シ遂ニ
建久六年二月十五日大佛殿落慶ノ供養ヲ行ハル周防國ヲ以テ造
營ノ料所ニ充テラレ文治二年四月十日上人國司職ニ拝任アリ當
國下向ノ初ノ國府ノ東杣部山ノ麓ニ勝地トシ文治三年丁未ヨリ
開発シ建久八年ニ至リ一宇ヲ建立シテ阿弥陀寺ト号ス同年十一月
廿二日十三重ノ鐵塔ヲ鑄造シ當寺建立ノ趣并東大寺再興ノ年月等
記文ヲ鏤テ後代ニ貽サル、ナリ當寺ハ東大寺一所別院ナリ是レ開山
上人ノ因縁アルヲ以テス　依之住持職開山上人以来文明年中ニ至
ル迄四十五世ノ間勅命ヲ以テ東大寺殊勝寺戒壇院等ノ名山大刹ノ
高僧轉任レ代々周防ノ國司職ヲ兼任セラル郷カ旧記ニ依リ由来ヲ
述ブ
大阪大成館銅版部


山口縣周防國佐波郡
嶋地村大字嶋地
郷社
花尾八幡宮境内之圖
花尾八幡宮者遠光傳云
元明天皇和銅四年辛亥春
從豊前國宇佐有神來格
詔影向於此地大町邑花
尾山郷蹈
花多故牀花
尾也嘗有
神託將爲國
家鎮護乃萬民也氏依其奇瑞奉神祠
設祭祀其來格之時也供奉之神據立
弓矯而使行射禮存勝者讀又所爲的
大石有文字可見者又有駒蹄之蹟其
餘靈石今尚多存矣其後康和年間神祠罹
兵燹故再擇伐神墨以移嶋地邑是山亦稱花多花尾
号有以由至今如在之祭典不斷者有日夫神德洋々
乎以誠祈之則有冥々之助必降彰々之驗誰可誣哉
本殿
社務所
学校
大阪大成館銅版部


山口縣周防國佐波郡
嶋地村大字嶋地
郷社
花尾八幡宮境内之圖
花尾八幡宮者遠光傳云
元明天皇和銅四年辛亥春
從豊前國宇佐有神來格
於影向於此地大町邑花
尾山斯端
花多故称花
尾也審有
神託時為國
家鎮護乃萬民也民依其奇瑞奉神祠
設祭祀其來格之時也供奉之神振立
弓矯而便行射禮有勝者噴又所為的
大石有文字可見者又有駒蹄之蹟其
餘壺石今尚多存矣其後康和年間神祠罹
廻祿故再奉伏神璽以移嶋地邑是山亦菊花多花尾
号有以由至今如在之祭典不懈者有日夫神德洋々
乎以誠祈之則有冥々之助必降彰々之驗誰可疑哉
大阪大成館銅版部

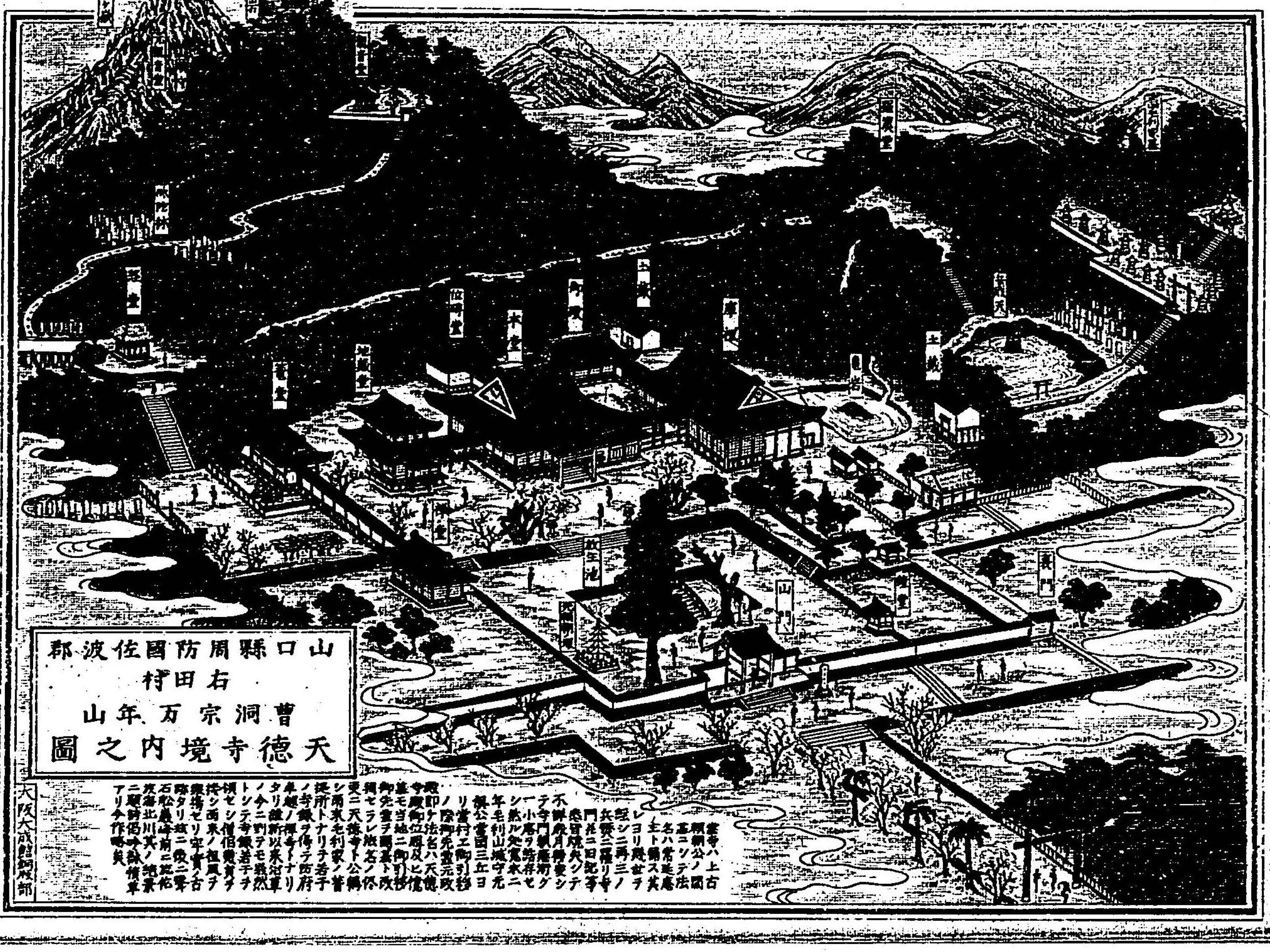


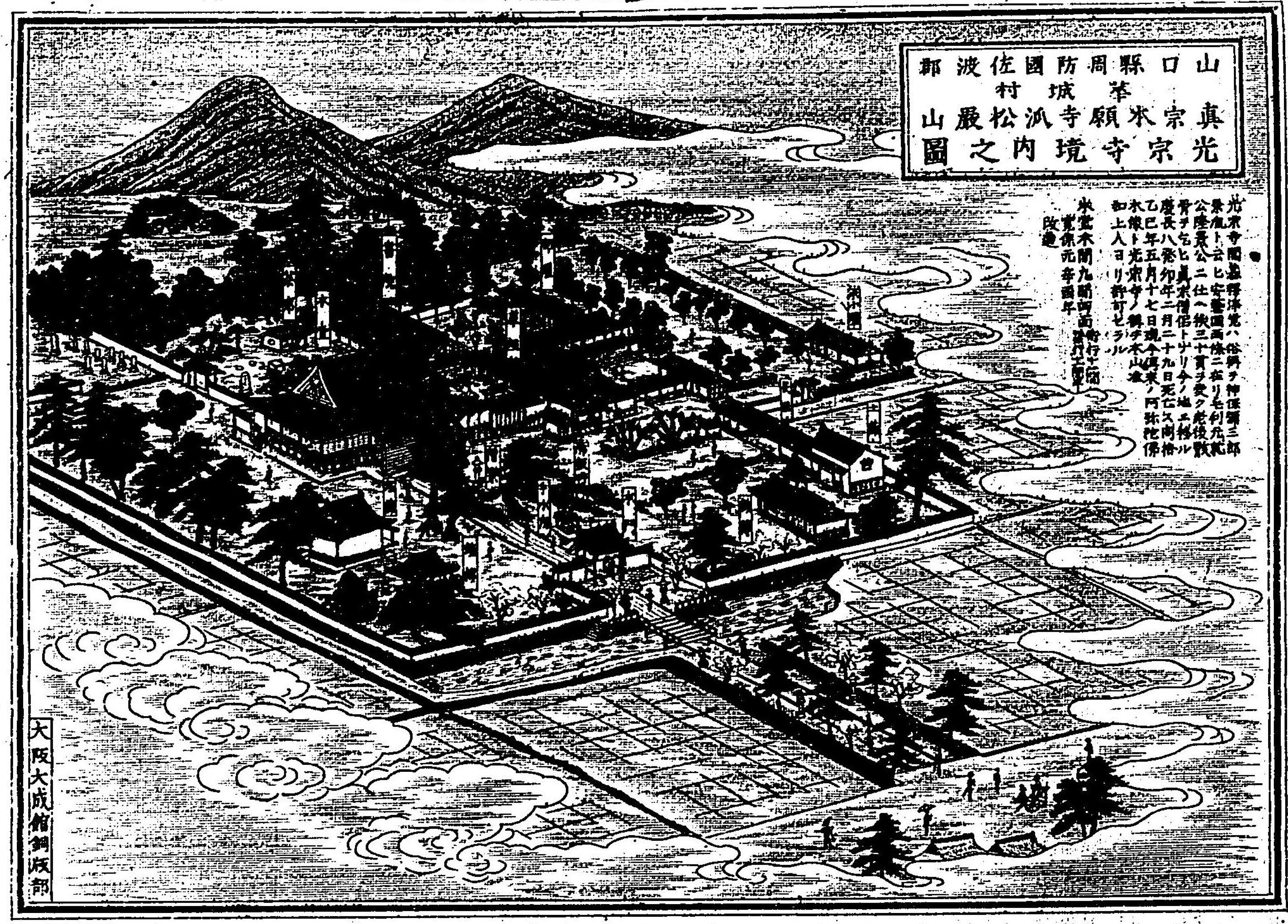
山口縣周防國佐波郡
三田尻村
曹洞宗 萬松山
正福寺境内之圖

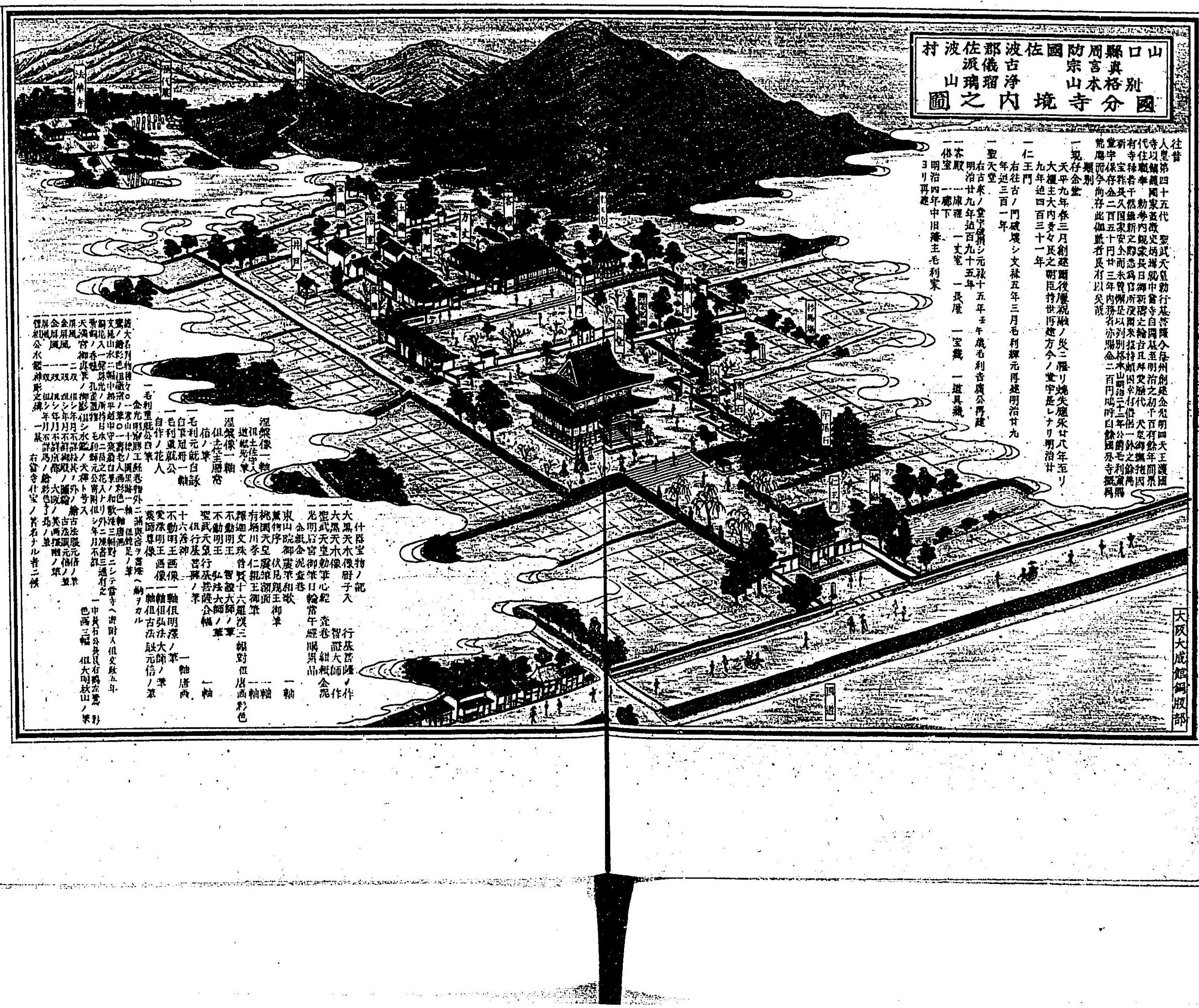

山口縣周防國佐波郡
三田尻村
真宗木派南濱山
明覺寺境内之圖
當寺開基ハ伊豆國ニ某城主ニシテ俗姓五十香川信盛ト
称ス應仁亂後佛門ニ皈シ本願寺第八代ノ宗主蓮如上
人ノ弟子トナル法名明西ト賜フ文明年間師命ヲ奉シ
當國ニ下向シ一宇ヲ建立シ法義ヲ弘通シ寺門ノ旺
盛ニチ極メ各地ニ分地ノ寺ヲ建ツ寶暦年間堂宇灰
燼ニ付シ現模稍小トナル現今ノ堂宇コレナリ
傳來ノ法寶物大半燒失シ見眞大師眞筆ノ名
號一幅ヲ藏スルノミ
大阪大成館銅版部

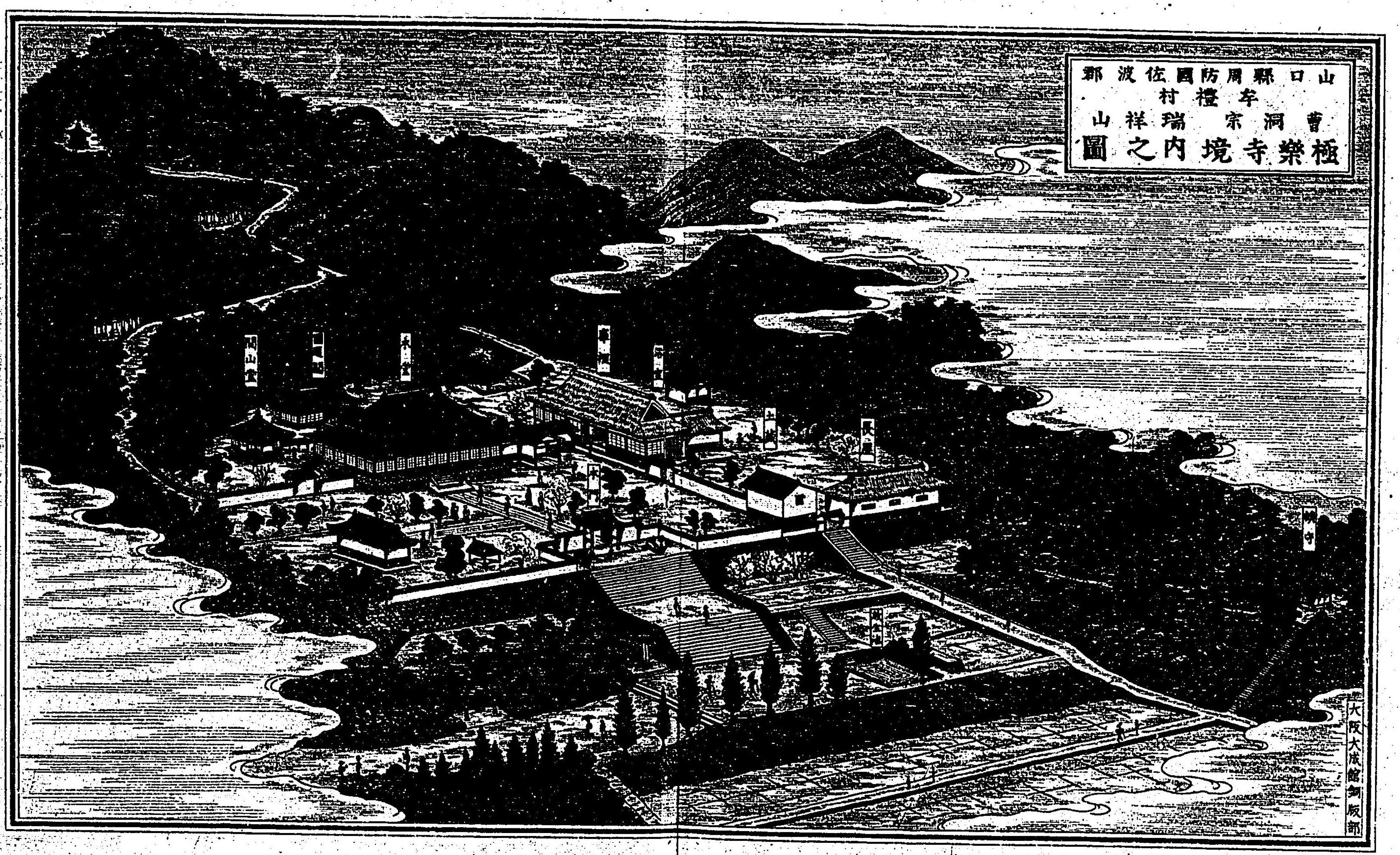
山口縣周防國佐波郡
右田村
曹洞宗護國山
太平寺境内圖
當寺ハ天正五年ノ創建ニシテ開山笑外永觀禪師ハ本寺桂樹寺五世中興ナリ旧領主毛利家ヨリ本尾毛利元就公ノ爲ニ香華院トナシ元就公法名洞春寺殿日頼洞春大居士ト称ス故ニ當寺ヲ日頼寺ト号シ来リシヲ明治維新ノ際太平寺ト改号ス今ニ至リテ世代二十六世連綿タリ
大阪大成館銅版部

松嵜神社之景


山口縣周防國佐波郡
右田村
曹洞宗万年山
天徳寺境内之圖
大阪大成館銅版部


山口縣周防國佐波郡
華城村
眞宗本願寺派松巖山
光宗寺境内之圖
大阪大成館銅版部

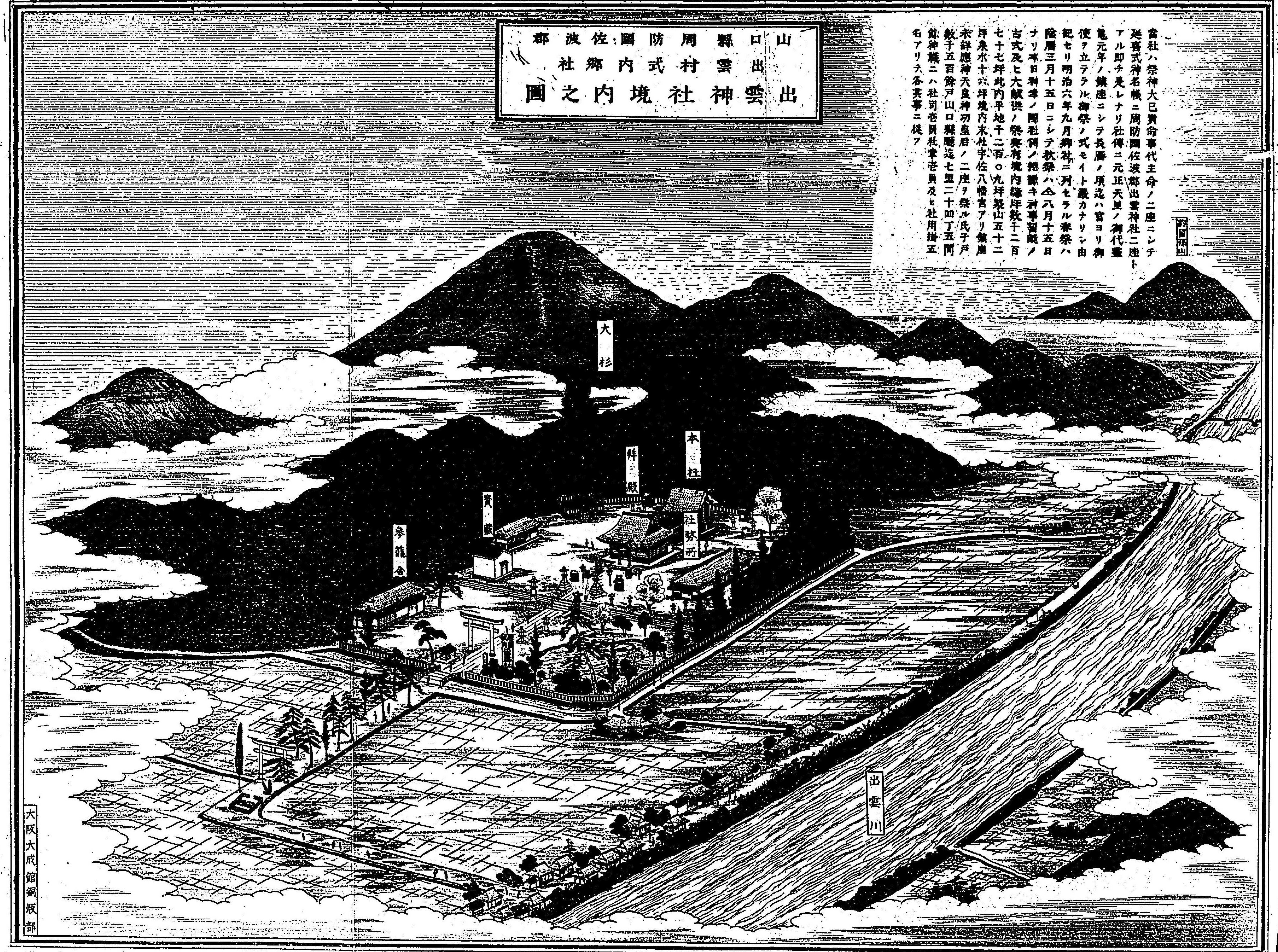

山口縣周防國佐波郡佐波村
真言宗古義派
別格本山浄瑠璃山
國分寺境内之圖
大阪大成館銅版部


山口縣周防國佐波郡
牟禮村
曹洞宗 瑞祥山
極樂寺境内之圖
開山堂
大阪大成館銅版部

山口縣周防國佐波郡
八阪村ノ郷社
八幡宮之圖
郷社八幡宮ハ前キニ御政神社ト号ス延喜式内ノ社ニテ所謂ル周防國十社ノ一ナリ然ルニ週ル明治四年八幡宮ト改号セラル祭神ハ道又大神ナリ景行天皇周防佐婆ニ行幸ノ時神託ニ依リ三綱柏ニ舞饌ヲ盛リ川蜷ヲ供シ始メテ祭祀シ玉フ故ニ毎年例祭ニハ古例ニ従ヒ必ズ川蜷ヲ供シ以テ祭祀ス
佐波川
大阪大成館銅版部

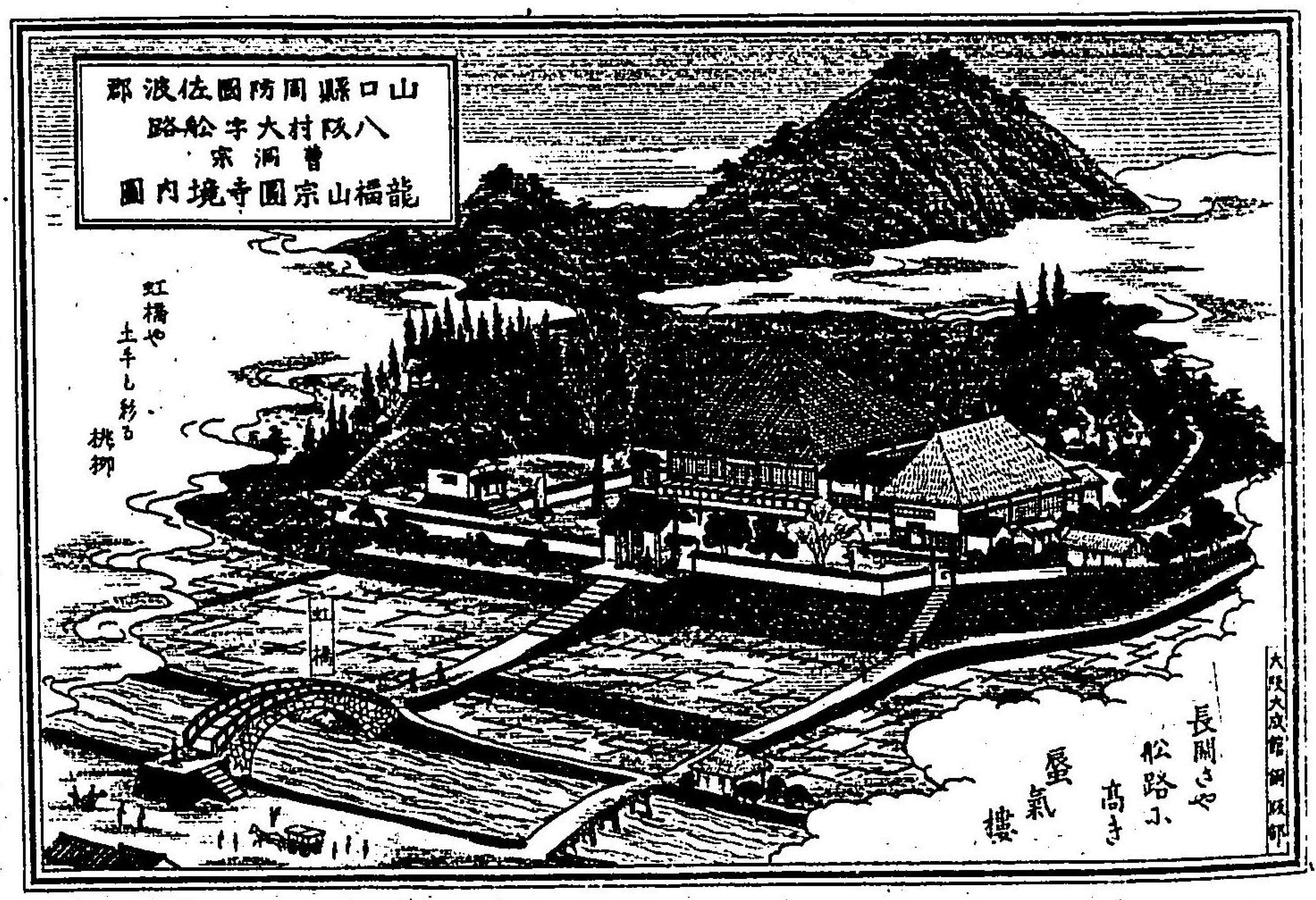
山口縣周防國佐波郡
出雲村式内郷社
出雲神社境内之圖

當社ハ祭神大巳貴命事代主命ノ二座ニシテ延喜式神名帳ニ周防國佐波郡出雲神社二座トアル即チ是レナリ社傳ニ元正天皇ノ御代靈龜元年ノ鎮座ニシテ長暦ノ頃迄ハ官ヨリ御使ヲ立テラル御祭ノ式モイト嚴カナリシ由記セリ明治六年九月郷社ニ列セラル春祭ハ陰暦三月十五日ニシテ秋祭ハ八月十五日ナリ本日神事ノ際社例ノ掟擬キ神事習態ノ古式及ヒ大獻供ノ祭典有境内總坪數千二百七十七坪此内平地千二百〇九坪築山五十二坪泉水十六坪境内末社宇佐八幡宮アリ鎮座未詳應神天皇神功皇后ノ二座ヲ祭ル氏子戸數千五百餘戸山口縣廳迄七里二十四丁五間餘神職ニハ社司壱員社掌壱員及ヒ社用掛五名アリテ各其事ニ從フ



山口縣周防國佐波郡
堀村字北方
狗留孫山全圖
當山十一面觀世
音菩薩ハ天武天皇
白鳳元年ノ創立中興
開基俊乘防重源上人
爾來大内家毛利氏ノ帰
依淺カラス靈驗明著ナ
リ
別當法華寺ハ聖武天皇
天平十一年ノ創立本尊聖
觀音ハ姑妃光明皇后ノ御
念誦佛ニシテ行基ノ御作
ナリ

山口縣周防國佐波郡
八阪村大字船路　醫師
石谷直登



山口縣周防國佐波郡
八阪村大字船路
曹洞宗
龍橋山宗圓寺境内圖
虹橋や土手し彩る桃柳
長閑さや松路小高き蜃氣樓

都濃郡

國の中央に位し西佐波郡に連り、東北熊毛、玖珂の兩郡に接す北端の一部は石見の鹿足郡に迫り南方一面海に瀕せり、面積三十八方里四分三厘、東西七里三十四町、南北十一里二十六町、周面四十七里十三町あり、戸數一万八千五百〇三、人口九万一千七百三十八人を有し二十二ヶ村に區畫せり、地勢は東北に高嶽羅列し峻脈四方に蟠まり西界の秀峯と相會して全郡を埋めり、南端熊毛郡に接する地方に稍平坦の地あるのミ、大島半島は西南に突出して黒髮島と相對し以て德山灣を繞擁せり

山岳

金嶽山　鹿野村に屬する郡中第一の巨峯にして高サ二千九百尺玖珂郡の界に跨り支脈四方に連亘して須万、金峰の諸村に向へり

四熊ヶ嶽　富岡村大字四熊に屬し佐波郡界に聳ゆる高峯にして高サ一千五百五十一尺、登り十五町あり

河川

大潮川　玖珂郡錦川の上流にして大潮村の山間に發し鹿野村の西部を南に走り須々万村に至りて北流し稱を須万川と改め須万を通して玖珂郡に入り以て錦川となれり

道路

山陽國道　熊毛郡今市驛より來り花岡、德山、福川、戸田の諸驛を過ぎて佐波郡の宮市に通するものを云ふ

岩國街道　德山驛の東遠石より南に分岐し下松、島田を經て室積に達す

鹿野街道　德山驛より起りて須々万、大向を經て鹿野に達するをいふ

港灣

下松港豐井村、笠戸港、深浦港笠戸島、四郎谷港戸田村、福川港福川等の諸港は常に大船巨舶の碇繫に乏しく只小帆船の近海を航するに便するのみ

嶋嶼

黒髪島　德山灣の西南に横はりて東遙に大島半島に相對す島の北部長く突出して德山、富田に向へり、竹島、中の島、鍋島等の群嶼西に羅列せり、周圍二里十二町あり

大津島　黒髪島の西より南東に向つて細長し東は大島半島の拾島と相對して德山灣の咽喉となれり南角金崎の南に沖島、平島、野島等の小嶼を控へり東西一里二十二町、南北一里、戸數二百九十五、人口二千百四十四人あり、周圍二里二十四町許

笠戸島　熊毛郡界より南方に延長する大島にして屈曲極りなく内に笠戸浦を擁せり周圍七里、東西一里二十町、南北一里二十四町、戸數百七十五、人口千三百十一人、陸地を離る僅かに三町にして豐井村に通す

招魂社

山添招魂社　末武北村にあり祭典毎年四月十五日

後山招魂社　湯野村にあり祭典毎年四月十五日

兩社は明治元年の役及山口藩四境の役に戰死せし人士の靈を祭祀す慶應三年山口藩の建設に係れり

永源山招魂社　富田村にあり元治元年、明治元年、仝二年及山口藩常備隊編成の際に於て戰沒せし十七名の靈を祀れり明治二年德山藩の獻功隊、山崎隊の建設とす

城址

須々万本郷、須々万沼、及福川の若山にあり若山城は陶弘政の築く處なれども其他は何人の築營なるや詳ならす

神社

神社の總數は三十七社あり內縣社一ヶ所、鄉社十一ヶ所、村社二十五ヶ所とす

寺院

寺院の總數は各宗合して百十七ヶ所なり

勝區

降松の浦（下松）、富田の里（富田村）

名邑

德山村、豐井村、富田村、福川村、花岡村、戶田村、須々万村、鹿野村、須金村

名產

紙、木綿、生蠟、海產、楮、石灰、綿、御影石

德山村

郡の南端にありて海に濱せり南に德山灣を控へ背後は連峯峙立して水光山色相點

映せり郡中屈指の都邑にして戶數二千四百五十一、人口一万二千二百八十三人あり、山口町を距る十一里二十五町、郡役所、警察署、郵便電信局、裁判所等市內に散在し肆店檐を連ねて甚た殷賑なり港內日に數艘の滊船出入して海陸の便地方に冠たり、地は元毛利氏の分封にして北方稍高き丘上に其城址をとゞめり

福川村

山陽國道の一驛にして德山を去る西二里許、黑髮島に對せり戶數千百八十九、人口五千四百十六人、本郡西部の名邑にして一條の商肆櫛比して殊に盛況を呈せり近海を航する滊船日夜數回の寄港ありて交通至便自から殷賑の域に進みつゝあり

鹿野村

郡の北部山間の一都邑にして戶數千四百九十一、人口六千二百十四人を有す德山警察の分署あり、區裁判所の出張所ありて、岩國町より佐波郡の宮市に通する宮市街道の要衝なり人家調密して商買最も盛なり、村の東北に安質母尼の鑛山及仝製錬場あり明治廿三年の創業にして數千の工夫常に斯業に精勵せり山口町を去る事十三里許

下松港

豐井村に屬し熊毛郡界に接近せり港内深からすと雖も交通漕運の便に富み商況盛なるの故を以て近海航路の滊船帆船皆寄港せさるなく物貨の集散甚頻繁なり南北岩國街道の要路に當れり德山を去る一里三十四丁、島田驛に至る二里十町とす

遠石八幡宮

德山村字遠石にあり縣社にして祭神を　應神天皇、神功皇后、三女神を奉祀せり、境内坪數一千四百貳十四坪あり末社四社皆其内にあり

緣起に曰く

傳ヘ云フ　推古天皇ノ三十年春豐前國宇佐ヨリ神馬ニ跨リ玉ヒテ影向シ給フ此地ノ磯邊ニ一ツノ大石アリ忽然トシテ光明赫々タリ諸人驚ヒテ窺見ルニ傍人卒ニ戰慄シテ曰ク吾ハ是レ宇佐八幡ナリ此地ニ跡ヲ垂レテ國民ヲ守ランタメ今玆ニ顯ハル(嗚呼遠シ)ト神託シ給フニ依テ地名ヲ遠石ト呼ブニ至レリト云フ、石上ニ神馬ノ蹄痕アリ今猶存シテ影向石ト稱ス、其後和銅元年二月七日末岡太郎磨新ニ宮殿ヲ鏡山ニ設ケテ鎭祭シ古昔ヨリ本朝四ケ所ノ靈跡(宇佐、石淸水、鎌倉、遠石)ト唱フル名社ニシテ著名ナル七名石(影向石、中岩、屛風岩、鏡岩、烏帽子岩、鉢岩、夫婦岩)等亦現存セリ當時土豪巨買ノ蹤ハ更ナリ諸國ノ武家ノ崇敬頗ル篤ク往古ヨリ德山毛利家ノ產土神トシテ崇敬セラル、今ニ至リテ敷地十三ケ村一島ニ亘リテ四千四百五十余戶ノ氏神タリ

一後鳥羽天皇ノ天曆二年三月源義經當社ニ參詣シテ平家征討ノ祈念ヲナセリ其際此地ニ於テ大挑戰アリ社頭ノ鐘ヲ以テ陣鐘ニ用ヒシト社傳ニイヘリ

一後鳥羽天皇ノ建久元年御家人内藤六盛家亂ヲ都濃郡遠石庄内石淸水別宮領ニ作シ神人友國ヲ傷ケ神祝ヲ拘留シ神領ヲ奪ヒテ之ニ居ルコト二年正月賴朝内藤六盛家ニ命シテ別宮領ヲ退去セシム其年六月石淸水前當院宣ヲ拜戴シテ盛家ノ不法ヲ關東ニ訴ヘシニ由ルナリ

一後嵯峨天皇ノ建長二年周防國岩國今津山ニ影向シ給フヘキ神託アリ神主左京進豐直祝詞ス今ノ岩國白崎八幡宮是ナリ

一後醍醐天皇元應二年十二月十二日鐘ヲ改鑄シ八幡遠石別宮社壇ニ掛ク今ニ存セリ

一例祭四月十五日、秋祭八月十五日ニシテ當日神輿行幸中供奉ノ者一同神詫ノ歌ヲ合ス其歌ニ曰ク

萬代母鏡乃山爾於理居都々麻多來留君乎祈留奈理氣理

寶物の著名なるものは、縁記壹軸、寛文七年八月中旬神主藤原直宣の撰、留記壹軸、永享五年十一月之撰、古文書、楯、額、鏡、劍、鑼等なり、社は山陽國道の北側丘上にあり境内古松老楠鬱蒼として天に參し前面僅かに丁を隔てゝ海に臨み飛閣東西に流趨し梁間の齒㮄古色掬す可きもの多し、右に斷崖數百尺松杉崖に掛りて森羅之を點綴せり、左方説敎場より東南數百歩の間斜に平坦の地を開き高低曲折の神園あり四時の花木を生植して四民間遊の仙境を造れり、丘の最頂に登れば西南皷海を隔てゝ遠く一髪の青螺を認むるもの是れ豐前の峯巒なり碧波迢々として帆影山色に映し干潮の白砂淺水と遠く相連り古來白濱の稱あるは實に宜なりと云ふべきなり東南に太華山横はり西に數個の群嶼羅列し、背後は皆秀嶺を擔へり寔に山海の眺矚に富むの勝地といふべきなり古來鏡山八景と稱するものは、妙音宮、靈湧泉、梅花橋、馬蹄石、驪竜窟、明月庵、太華山、白濱臺、是れなり

漢陽寺

臨濟宗にして鹿野村にあり應安七年の創建にして郡の古刹たり

建咲院

曹洞宗にして富田村にあり曹洞宗の古刹にて文明十四年の創立なり

常禱寺

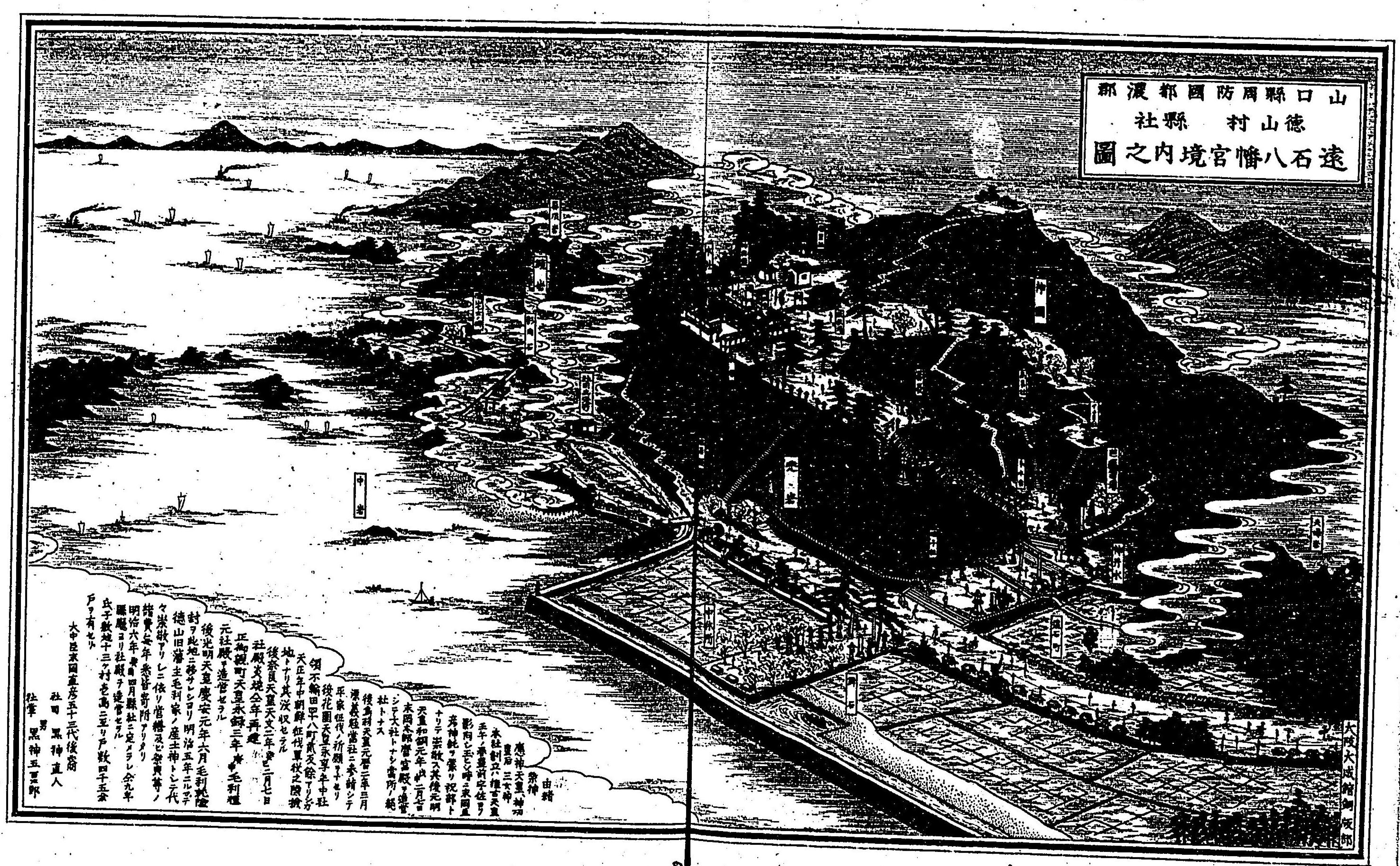
眞言宗の巨刹にして弘仁年間の創建なり德山村にあり

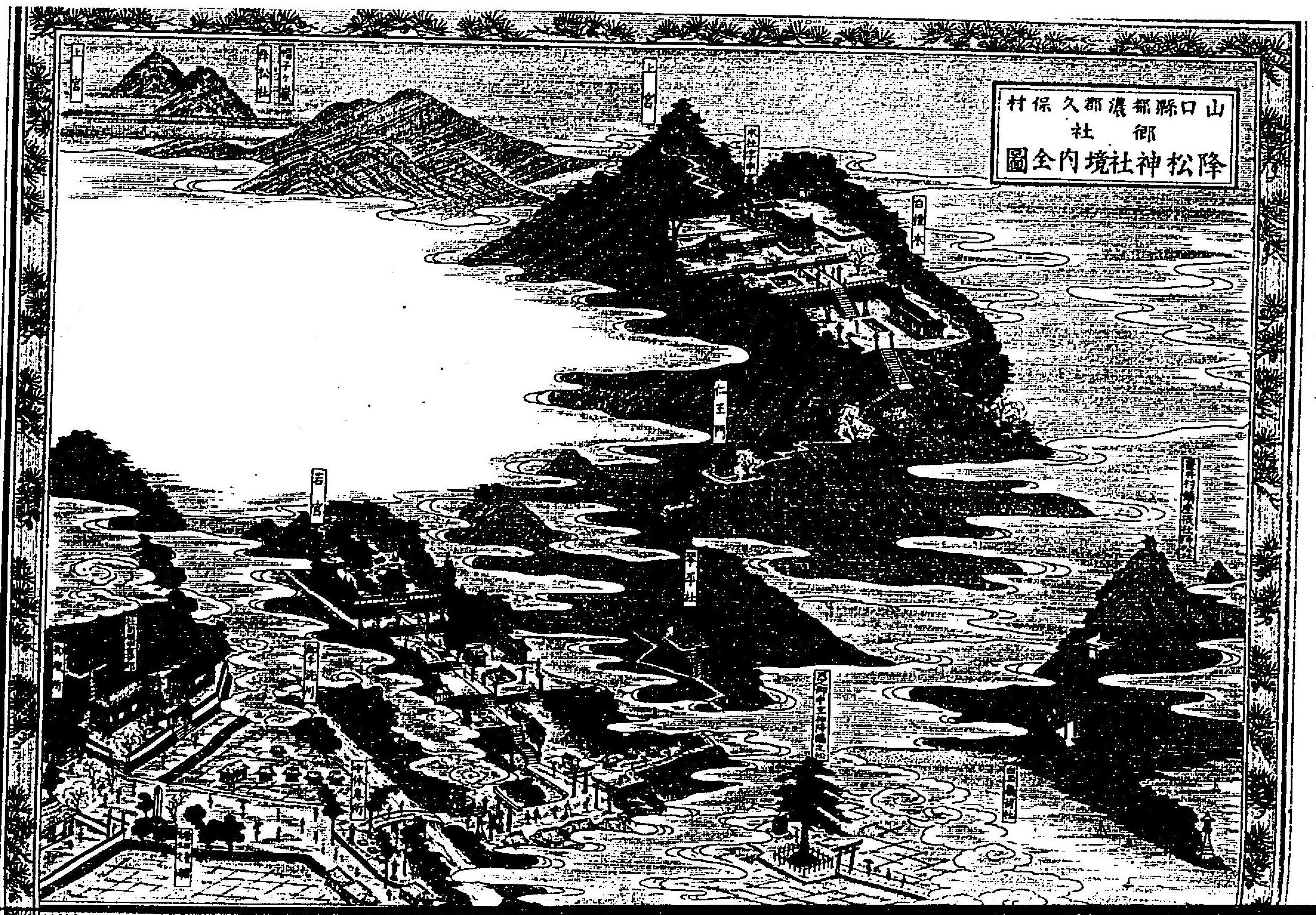
興元寺

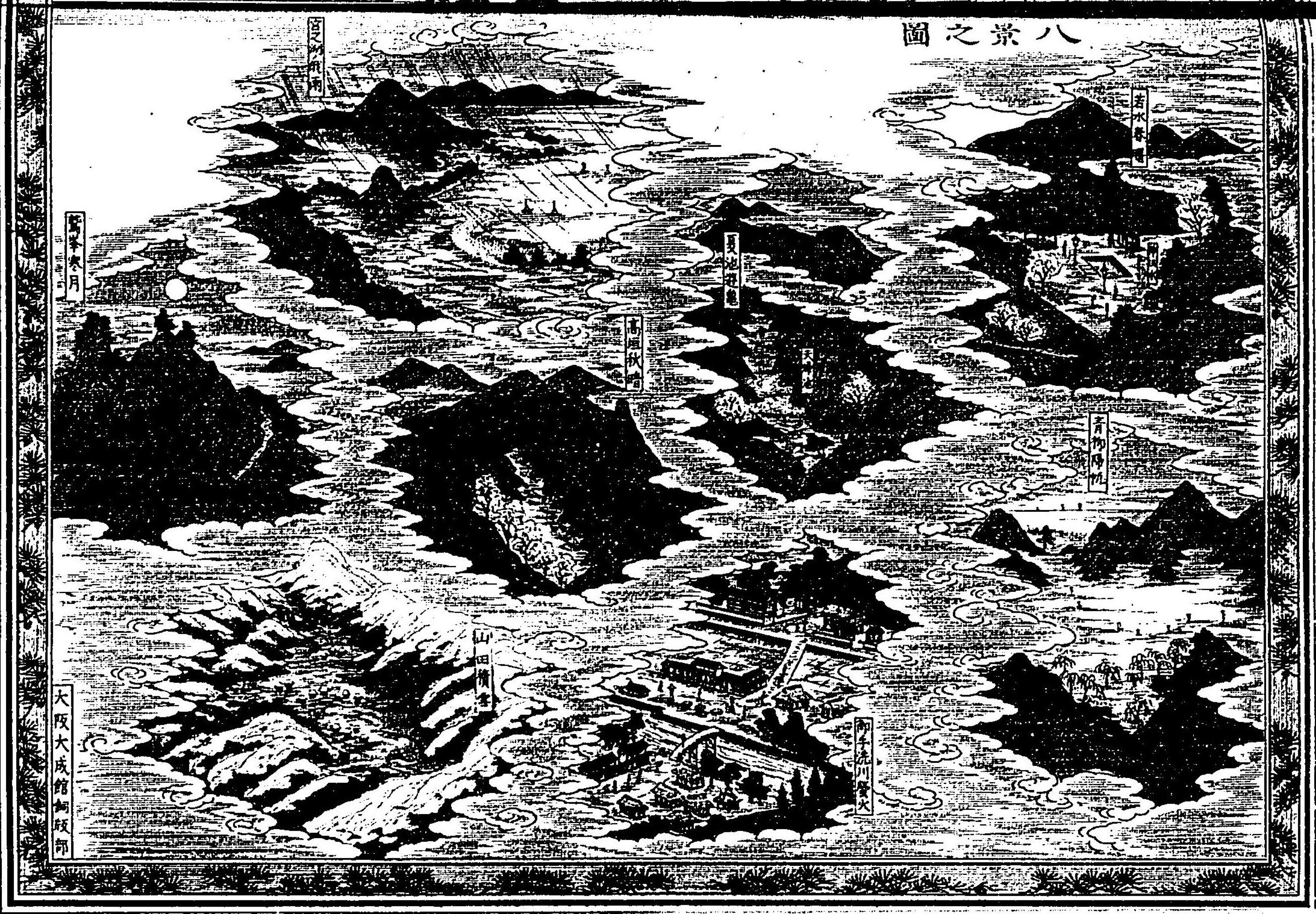
曹洞宗にして郡の巨刹なり元龜七年創建にて德山村にあり

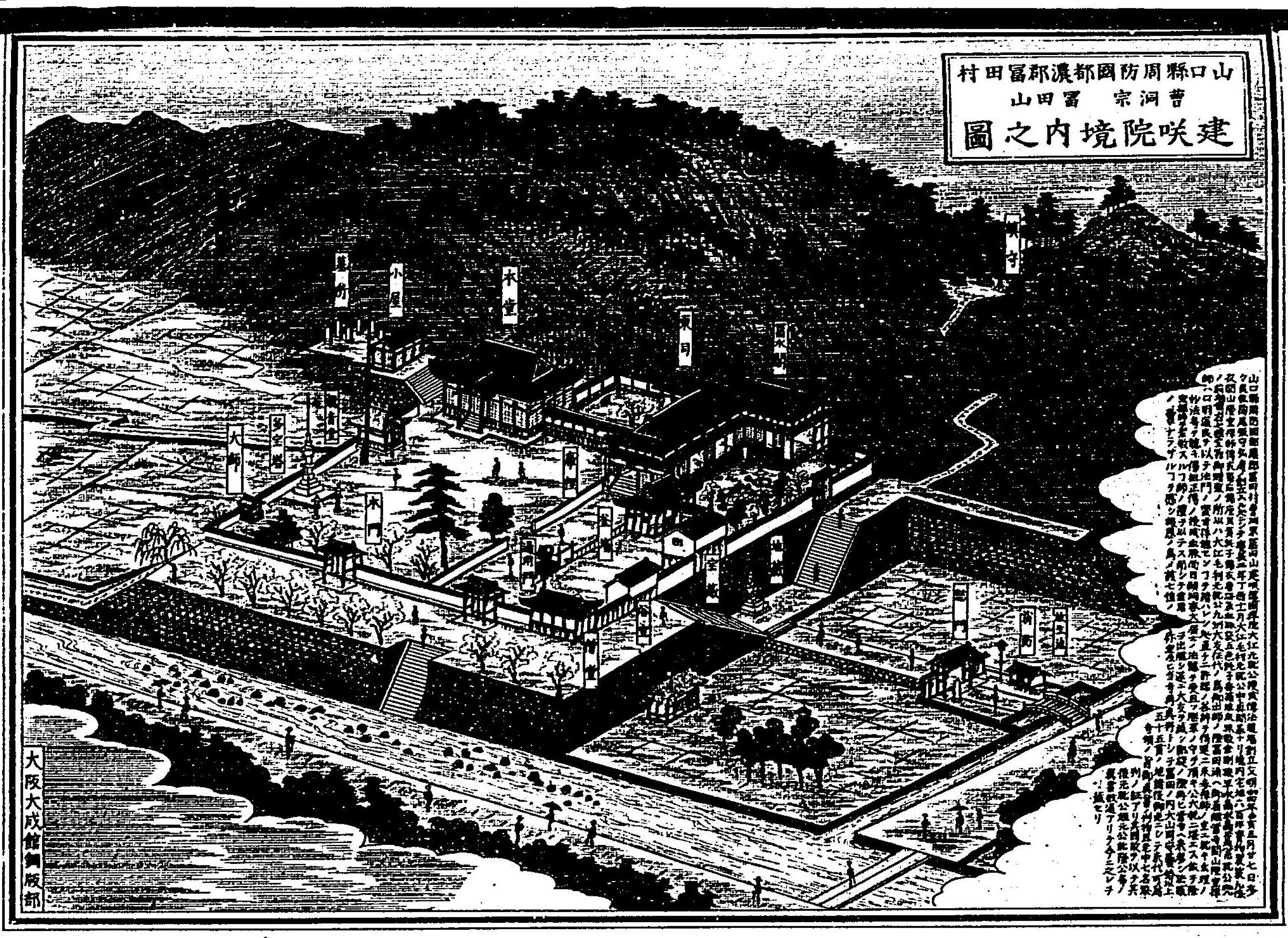
大成寺

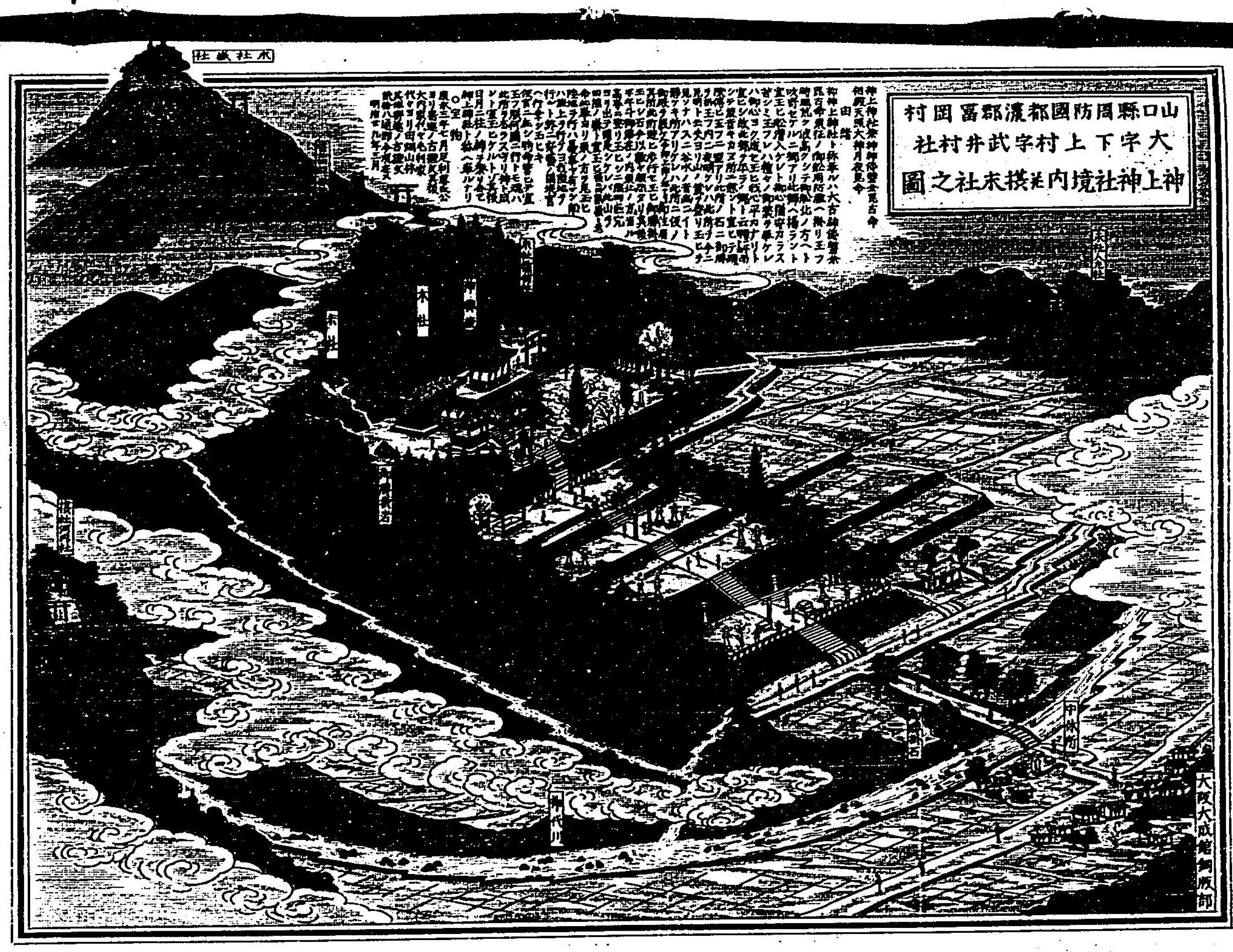
臨濟宗の古刹にして延慶二年の創建なり德山村にあり


山口縣周防國都濃郡
德山村 縣社
遠石八幡宮境内之圖
由緒
祭神
應神天皇 神功
皇后 三女神
本社創立ハ推古天皇
壬午ノ春豐前宇佐ヨリ
影向シ玉ヒシ時ニ末岡直
秀神託ヲ蒙リ祝部ト
ナリテ崇敬ス其後元明
天皇和銅元年戊申二月七日
末岡本郎宮殿ヲ造營
シテ大社トナシ當所ノ總
社トナス
後鳥羽天皇元暦二年三月
源義經當社ニ參詣シテ
平家征伐ノ祈願ヲナセリ
後花園天皇永享年中社
領不輸田甲八町貳反餘アリシガ
天正年中朝鮮征伐軍役之際撿
地トナリ其沒收セラル
後奈良天皇天文二年癸巳二月七日
社殿炎焼仝年再建
正親町天皇永禄三年庚申毛利
元社殿ヲ造營セラル
後光明天皇慶安元年六月毛利就隆
封ヲ此地ニ移サレシヨリ明治五年ニ至ルマテ
徳山旧藩主毛利家ノ産土神トシテ代
々崇敬アリシニ依リ營繕及ヒ祭典等ノ
諸費每年悉皆寄附アリタリ
明治六年癸酉四月縣社ニ定メラレ仝九年
縣廳ヨリ社殿ヲ造營セラル
氏子數地十三ヶ村ヨリ島ニ至リ戸數四千五余
戸ヲ有セリ
大中臣末岡直秀五十三代後裔
社司 黒神直人
男
社掌 黒神五百□郎

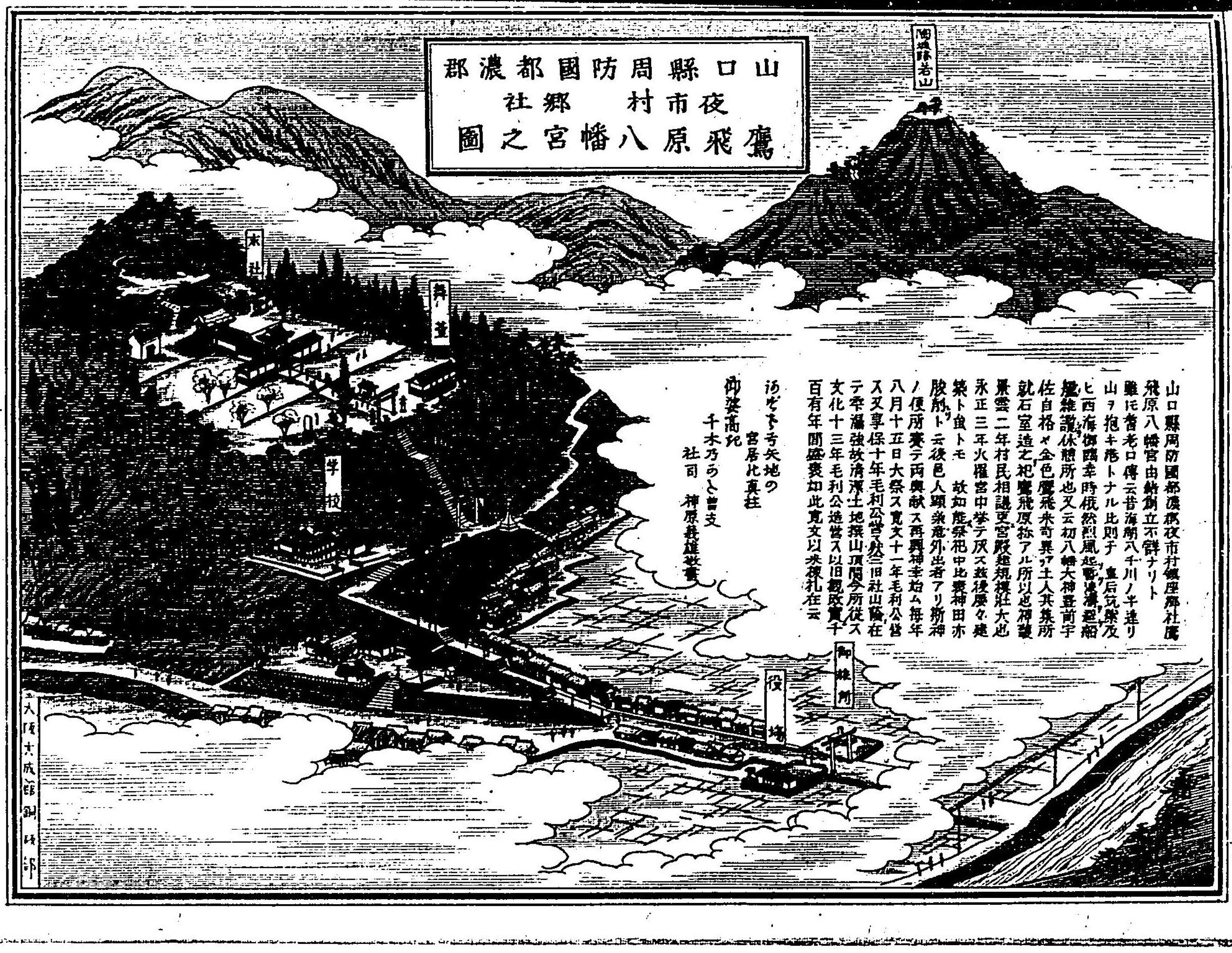

山口縣都濃郡久保村
郷社
降松神社境内全圖


八景之圖
大阪大成館銅版部

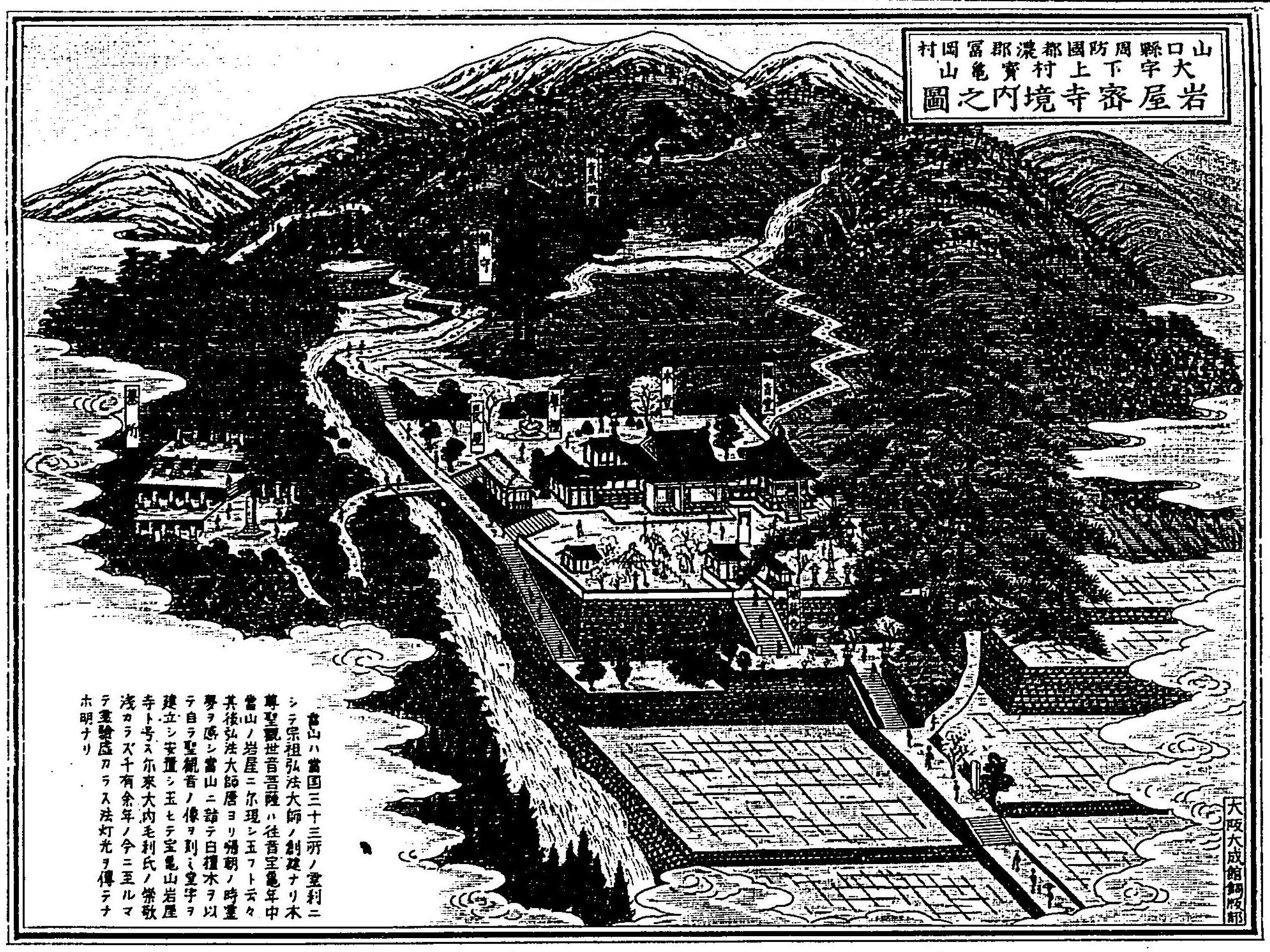

山口縣周防國都濃郡富田村
曹洞宗 富田山
建咲院境内之圖
大阪大成館銅版部


山口縣周防國都濃郡富田村
大字下上村字武井村社
神上神社境内摂末社之圖
末社
本社
末社
大阪大成館銅版部

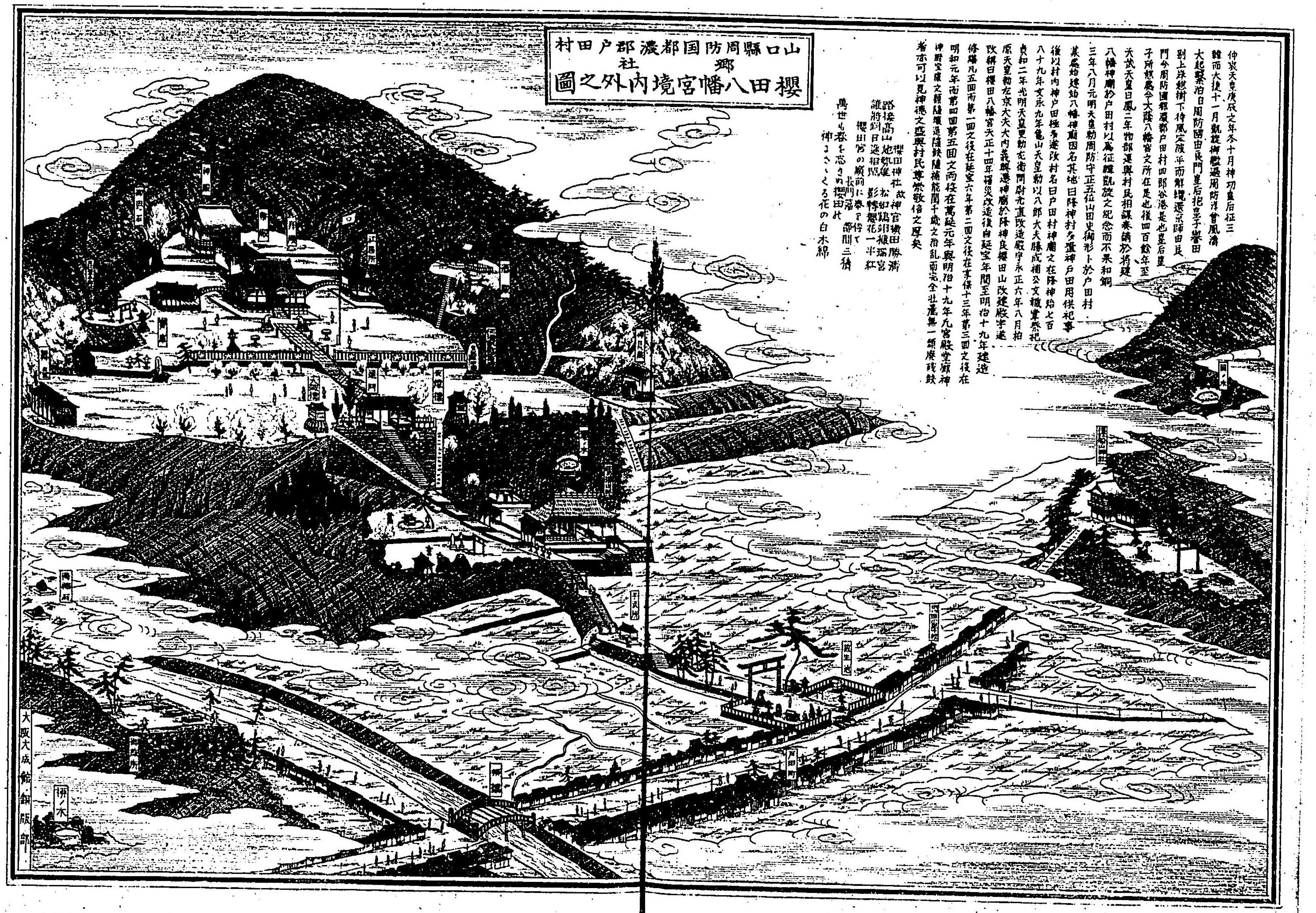
山口縣周防國都濃郡冨田村
郷社
山崎八幡宮境内之圖
末社
女ノ水
村役場
東小島
竹ノ島
中ノ島
西小島
西ノ島
周防國都濃郡冨田村鎮座郷社山崎八幡宮
祭神 應神天皇 三女神 仲哀天皇 配祀
神功皇后 仁徳天皇
和銅二巳酉八月木郡冨田村字河内室山ニ鎮座
宝亀元年庚戌十一月九日社ヲ今ノ山崎ノ地ニ
移ス磧崎ニ有洲呼虎洲又有泉曰文水宝亀某年
勅使来祭有歌曰酌旦知江宮乃麿乃文水清流
乃千代乃行末寛元某年又勅使来祭有歌曰周防
在江宮乃濱乃虎洲尓藻干刈海人乃袖也千良武
大同元年以降度々有盾火依之舊記等不残燒失
而唯石碑ニ存スル而已
社司 佐伯美敬 七十七翁
うつ高き神のみいつそ 見えにける
霞の奥の千木此 あるそ地
大阪大成館銅版部

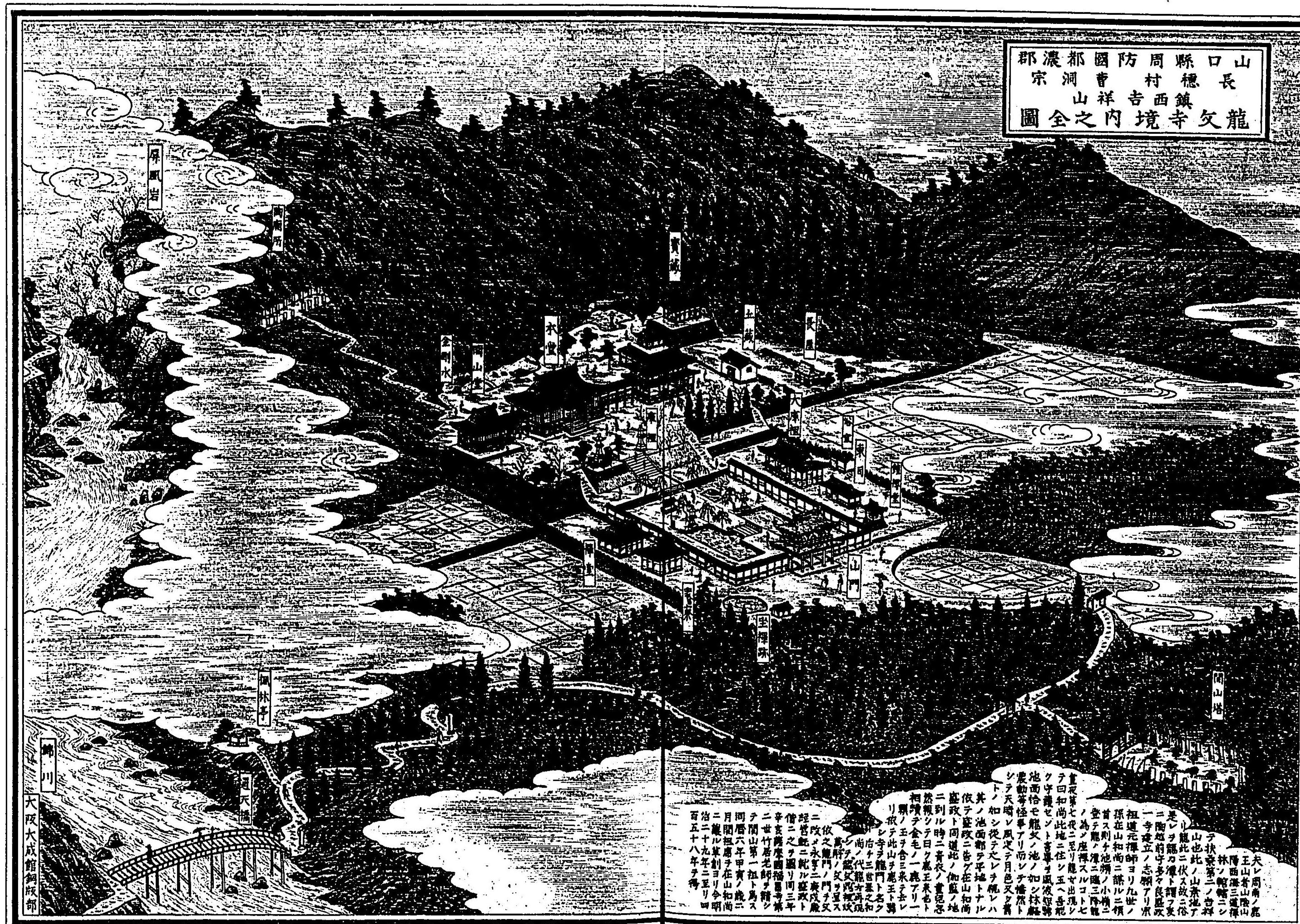

山口縣周防國都濃郡
夜市村郷社
鷹飛原八幡宮之圖
山口縣周防國都濃郡夜市村鎮座郷社鷹飛原八幡宮由緒創立不詳ナリト雖モ古老口傳云昔海潮八千川ノ半迄リ山ヲ抱キ港トナル此則チ皇后筑紫ヨリ及ヒ西海御臨幸ノ時俄然烈風起リ暫ク渚ニ避船纜ヲ維ギ御休憩所也又云初八幡大神豊前宇佐自裕ス金色鷹飛来奇異ア土人其集所就石室造之祀鷹飛原称アル所以也神護景雲二年村民相議更宮殿建規模壮大也永正三年火罹宮中挙テ灰ス兹後屡々建築ト雖トモ故如能祭祀中比要神田亦殷ナリト云後邑人顕楽意外出者アリ祈神ノ便所賽テ両輿献ス再興神幸始ム毎年八月十五日大祭ス寛文十一年毛利公営ス又享保十年毛利公営ス然ニ旧社山嶺ニ在テ登攀強故清浄土地撰山頂間今所徙ス文化十三年毛利公造営ス以旧觀欣賞ス千百有年間盛衰如此寛文以来棟札在云
本社
學校
御旅所
役場

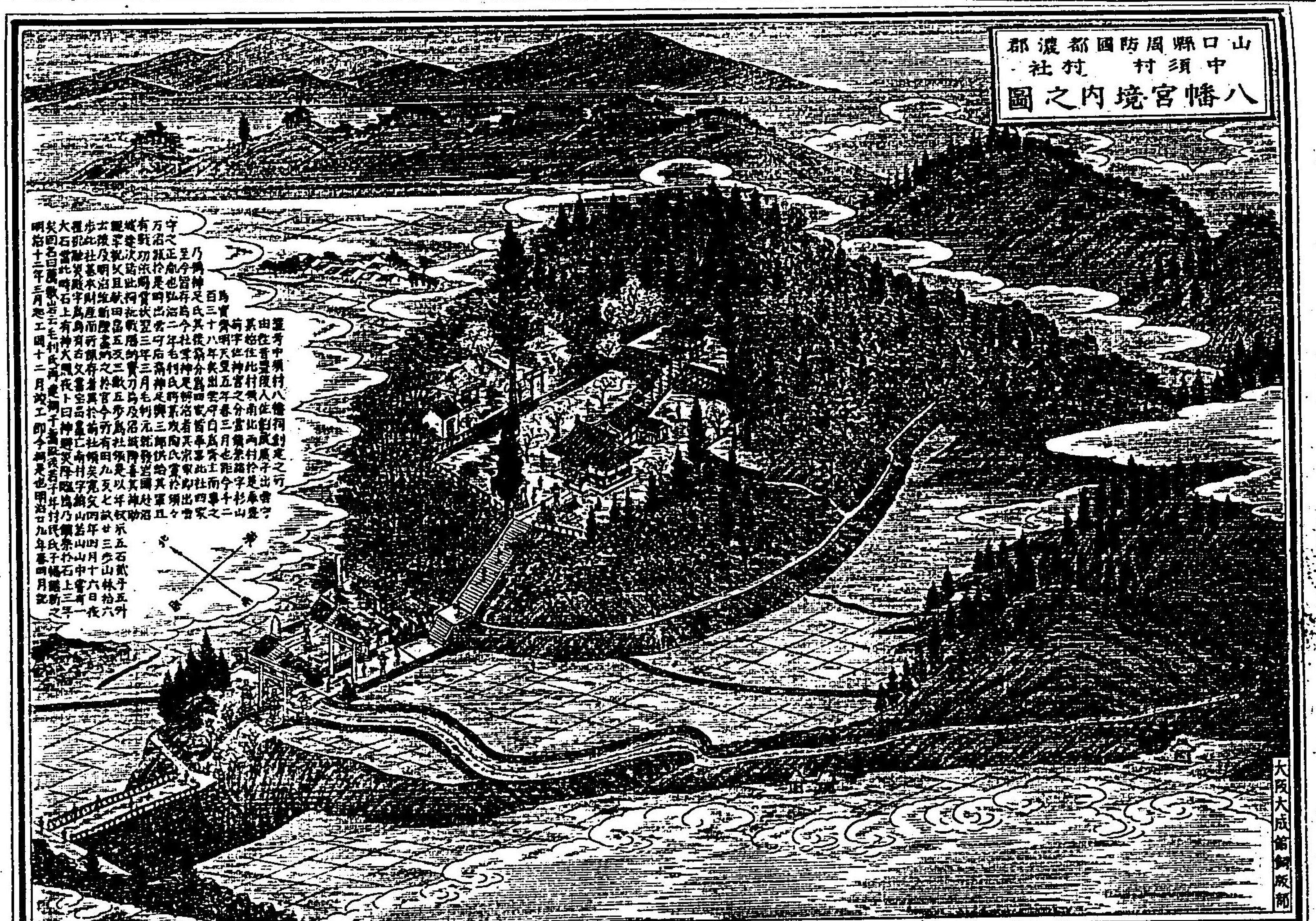
山口縣周防國都濃郡富岡村
大字下上村寶亀山
岩屋寮寺境内之圖

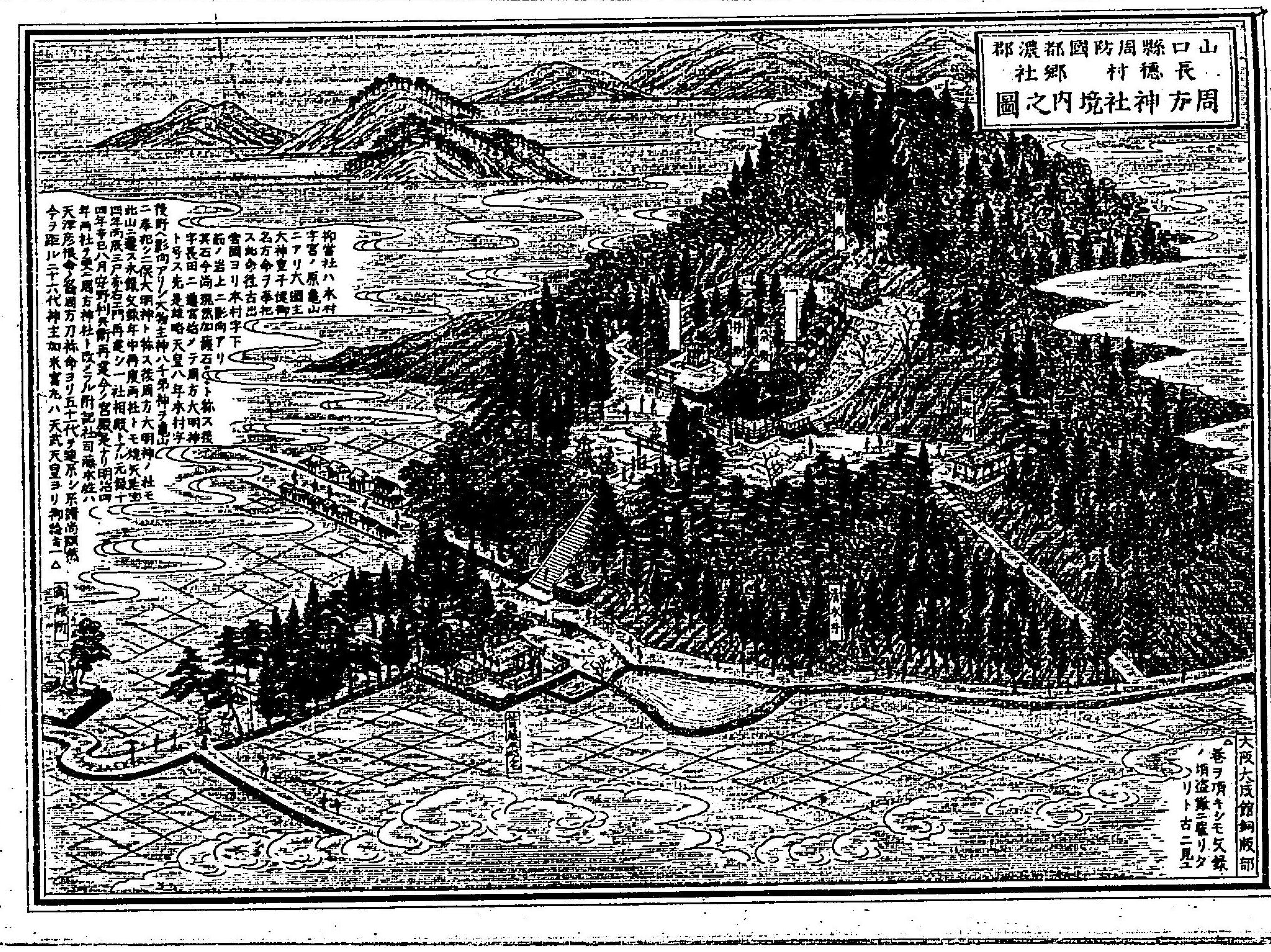


當山ハ當国三十三所ノ霊刹ニシテ宗祖弘法大師ノ創建ナリ本尊聖観世音菩薩ハ往昔宝亀年中當山ノ岩屋ニ示現シ玉フト云々其後弘法大師唐ヨリ帰朝ノ時霊夢ヲ感シ當山ニ詣テ白檀木ヲ以テ自ラ聖観音ノ像ヲ刻ミ堂宇ヲ建立シ安置シ玉ヒテ宝亀山岩屋寺ト号ス爾来大内毛利氏ノ崇敬浅カラズ千有余年ノ今ニ至ルマテ霊験盛カラス法灯光ヲ傳テナホ明ナリ

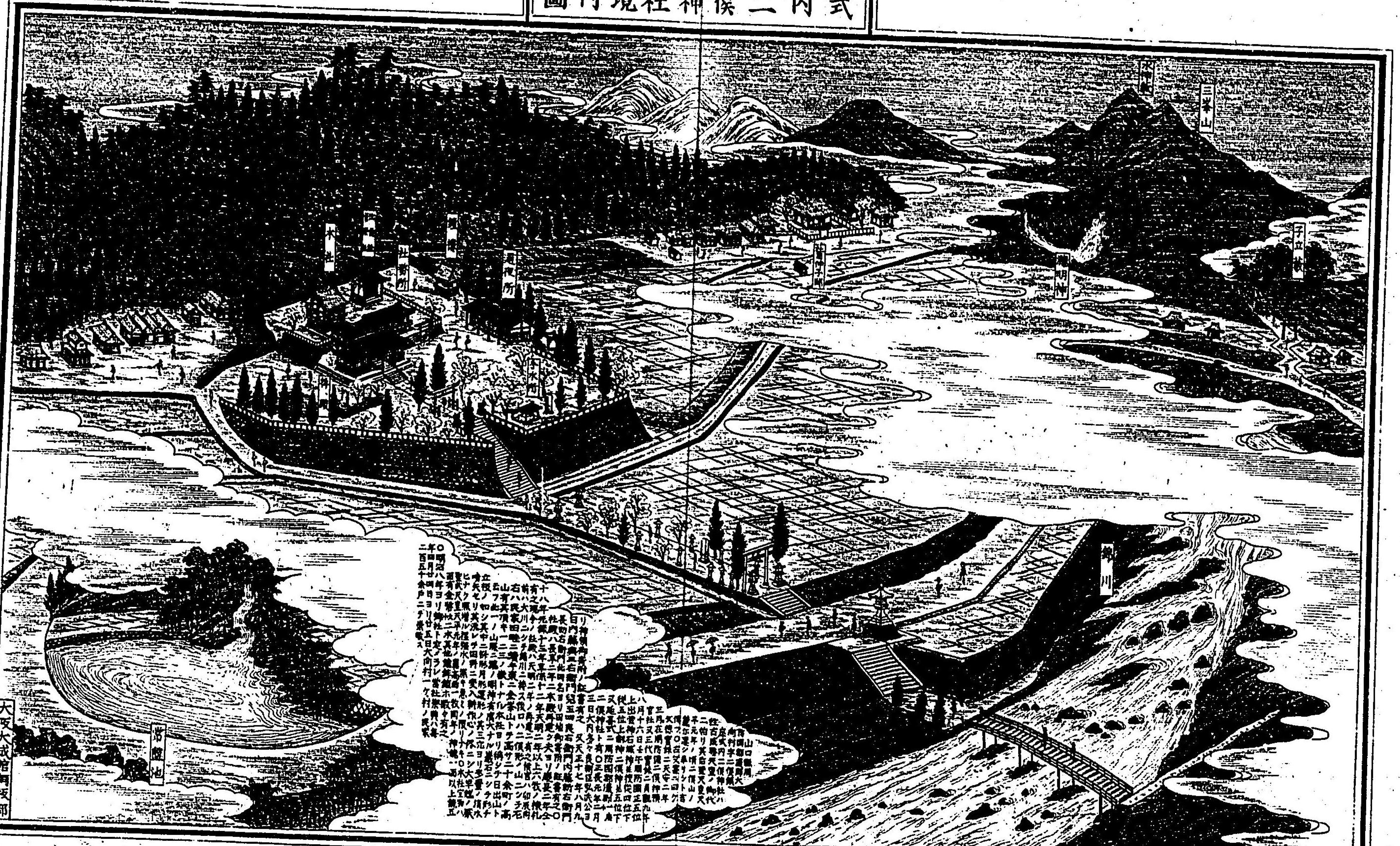

山口縣周防国都濃郡戸田村
鄉社 櫻田八幡宮境内外之圖
仲哀天皇庚辰之年冬十月神功皇后征三
韓而大捷十一月凱旋御艦過周防洋會風濤
大起繋泊日周防國由良門皇后抱皇子譽田
別上岸憩樹下待風定波平而解纜還京師由良
門今周防國都濃郡戸田村四郎谷港是也皇后皇
子所憩處今大薩八幡宮之所在是也後四百餘年至
天武天皇白鳳二年物部連與村民相謀奏請於將建
八幡神廟於戸田村以爲征韓凱旋之紀念而不果和銅
三年八月元明天皇勅周防守正五位山田史御形卜於戸田村
某處始建八幡神廟因名其地曰降神村多置神戸田用供祀事
後以村内神戸田極多遂改村名曰戸田村神廟之在降神殆七百
八十九年文永九年龜山天皇勅以八郎大夫勝成補公文職掌祭祀
貞和二年光明天皇更勅右衛門尉光直改造殿宇永正六年八月柏
原天皇勅左京大夫大内義興遷神廟於降神良櫻田山改建殿宇遂
改稱曰櫻田八幡宮天正十四年罹災改造後自延宝年間至明治十九年建造
修繕凡五回而第一回之役在延宝六年第二回之役在享保十三年第三回之役在
明和元年而第四回第五回之兩役在萬延元年與明治十九年凡宮殿堂祠神
廚寶庫之類隨壞隨造隨缺隨補輪奐閣千歳之稍乱而完全壯麗無一頹廢残缺
者亦可以見神德之盛與村民尊崇敬信之厚矣
櫻田神社 故神官櫻田勝浦
路接高山地勢雄 松如鶴羽擁瑞宮
誰將斜日遥相照 影轉櫻花一半紅
櫻田宮の廟前に參りて 長門 落部間三猜
萬世も春を忘れぬ櫻田の
神さゝくる花の白木綿
大阪大成館銅版部

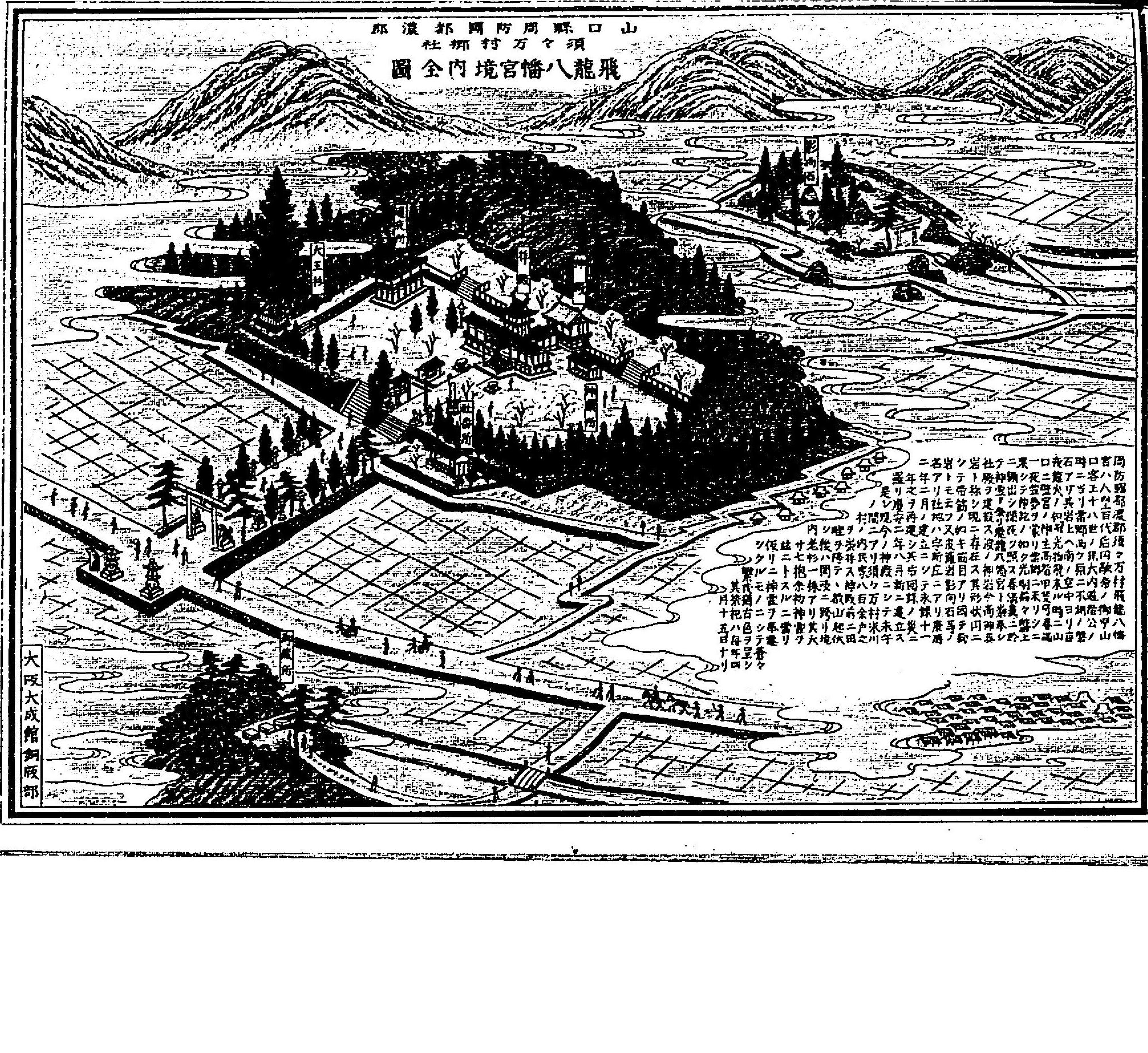

山口縣周防國都濃郡
長穗村曹洞宗
鎮西吉祥山
龍文寺境内之全圖
屏風岩
金剛水
本堂
山門
楓林亭
大阪大成館銅版部

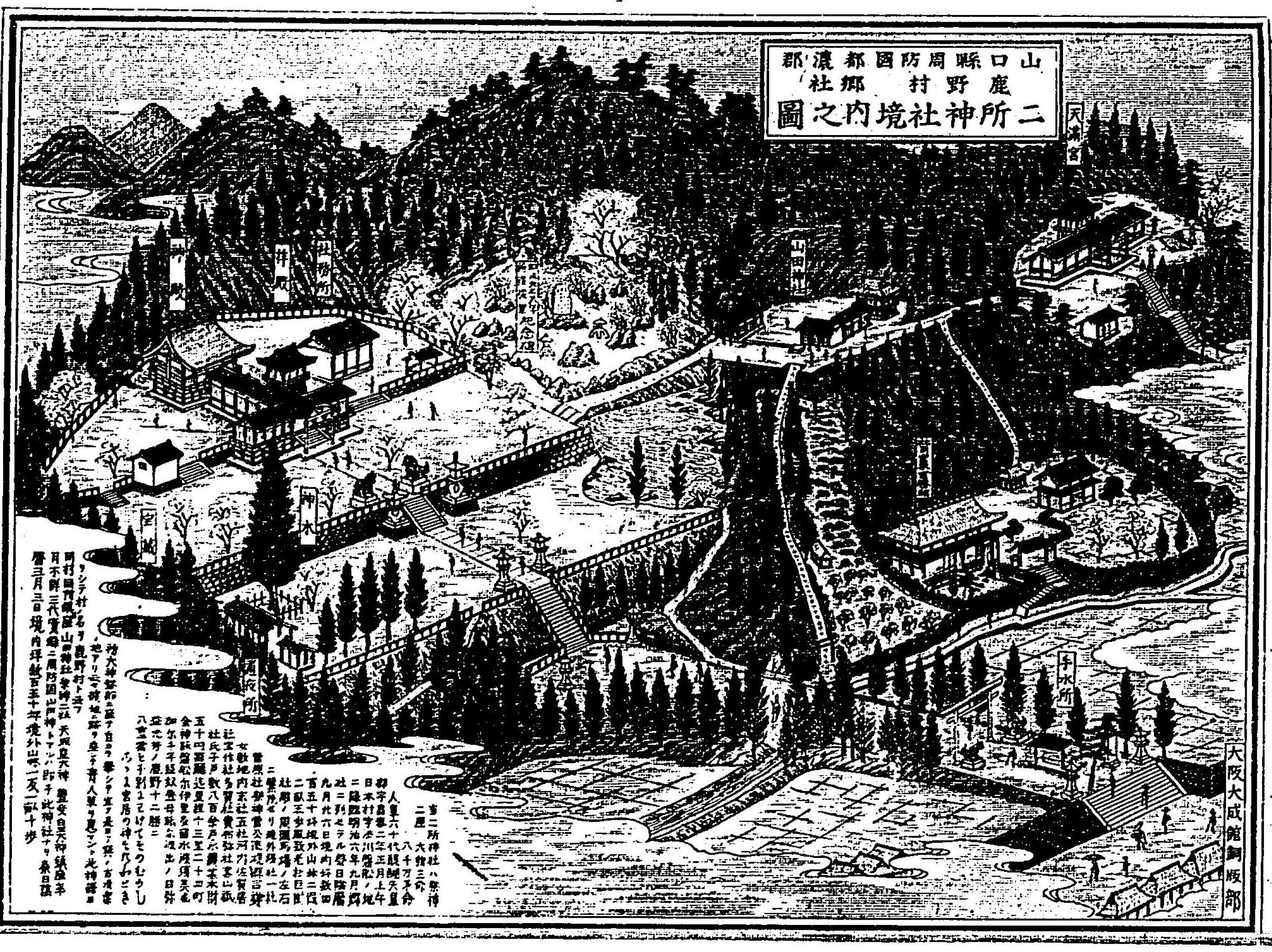

山口縣周防國都濃郡
中須村
村社
八幡宮境内之圖
大阪大成舘銅版部


山口縣周防國都濃郡
長穗村 郷社
周方神社境内之圖
抑當社ハ本村字宮ノ原亀山ニアリ大國主大神皇子健御名方命ヲ奉祀ス此命往古出雲國ヨリ本村字下祈ノ岩上ニ影向アリ其石今尚現存加賀石ト称ス後字長田ニ遷宮治メテ周方大明神ト号ス先是雄略天皇八年本村字後野ヘ影向アリシ大物主神八千矛神ヲ亀山ニ奉祀シ二俣大明神ト称ス後周方大明神ノ社モ此山ニ遷ス永録文録年中再度両社トモ焼失天正四年丙辰三戸赤右エ門再建シ一社相殿トナル元録十四年辛巳八月安野利兵衛再建今ノ宮殿是ナリ明治四年両社ヲ更ニ周方神社ト改メラル附記社司藤本姓ハ天津彦根命ノ裔周方刀袮命ヨリ五十代ヲ連系シ系譜尚厳然今ヲ距ル二十六代神主加米富丸ハ天武天皇ヨリ御綸旨一△巻ヲ項キシモ文録ノ頃盗難ニ罹リタリト古ニ見ユ
大成館
大阪大成館銅版部

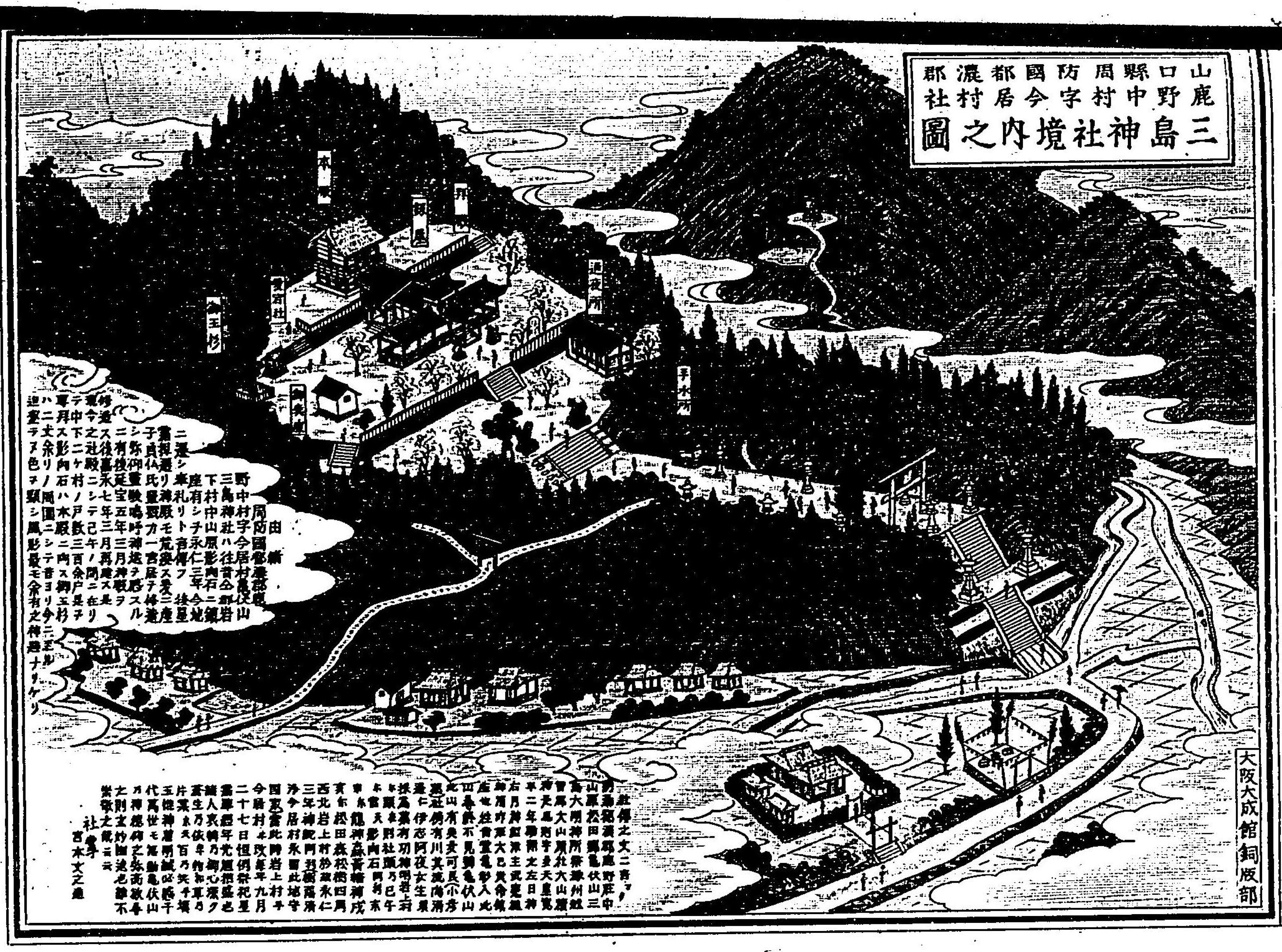
山口縣周防國都濃郡向道村大字
大向村　鄉社
式内二俣神社境内圖



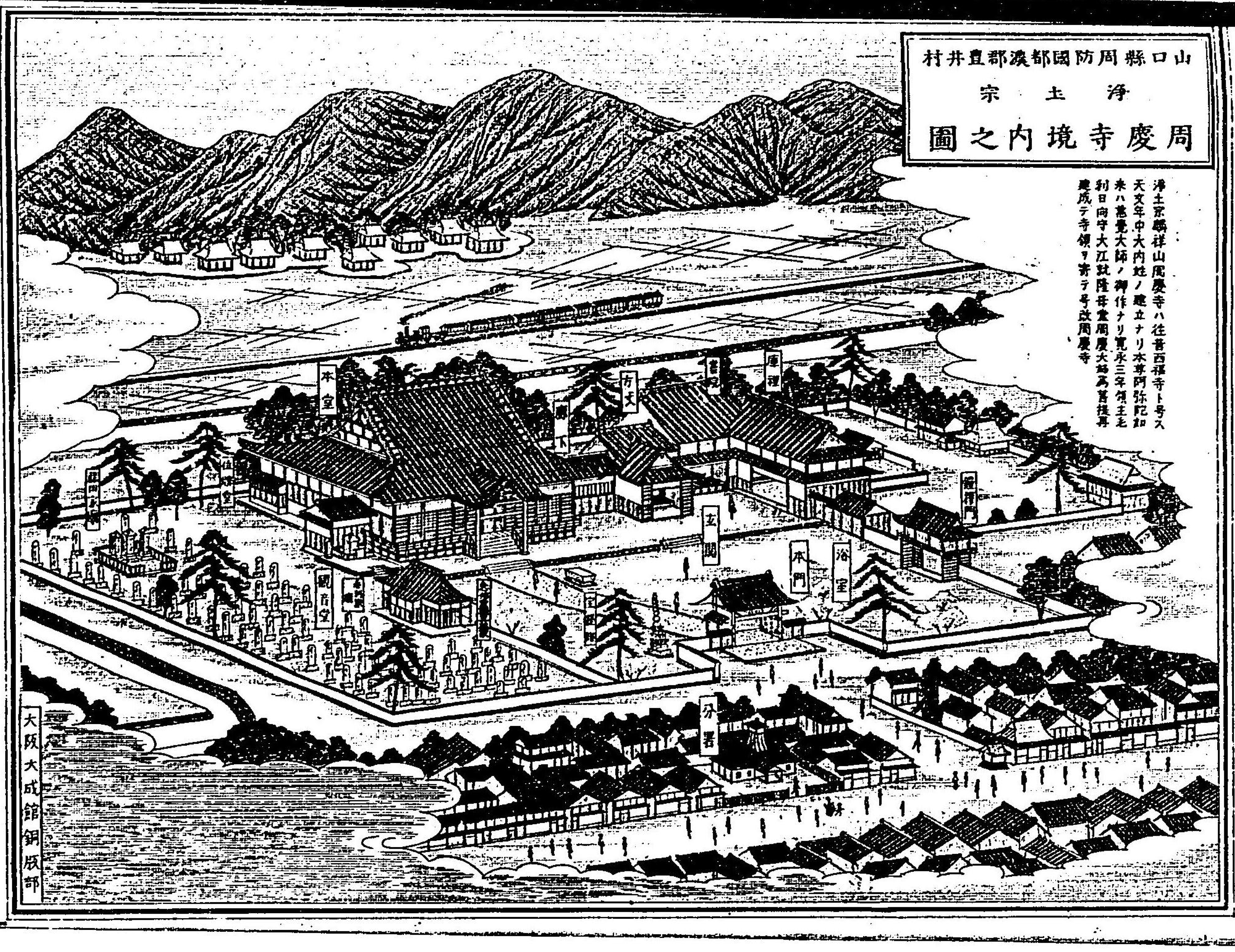

山口縣周防國都濃郡
須々万村郷社
飛龍八幡宮境内全圖
大阪大成館銅版部

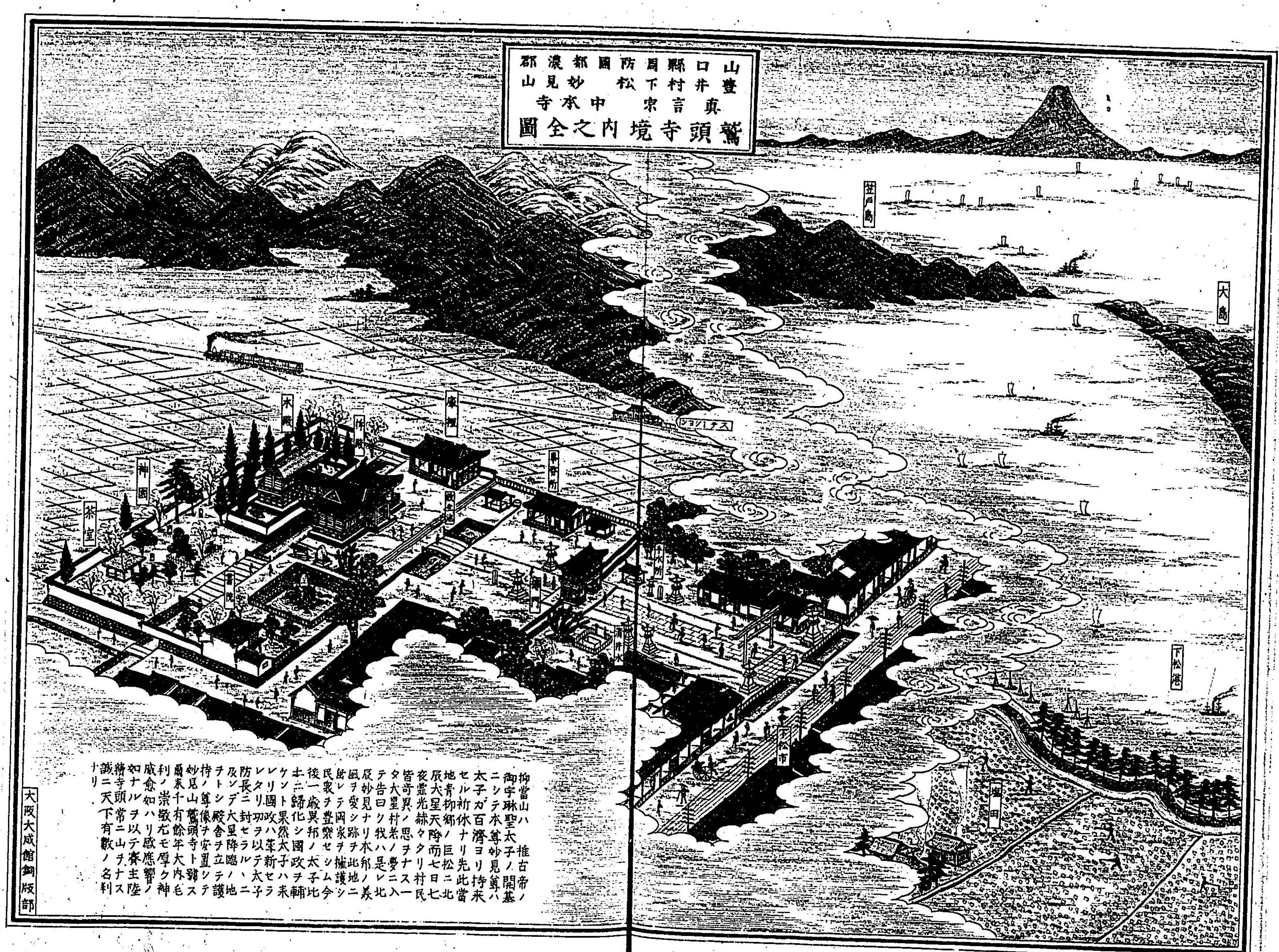

山口縣周防國都濃郡
鹿野村郷社
二所神社境内之圖
天滿宮
手水所
神木
大阪大成館銅版部

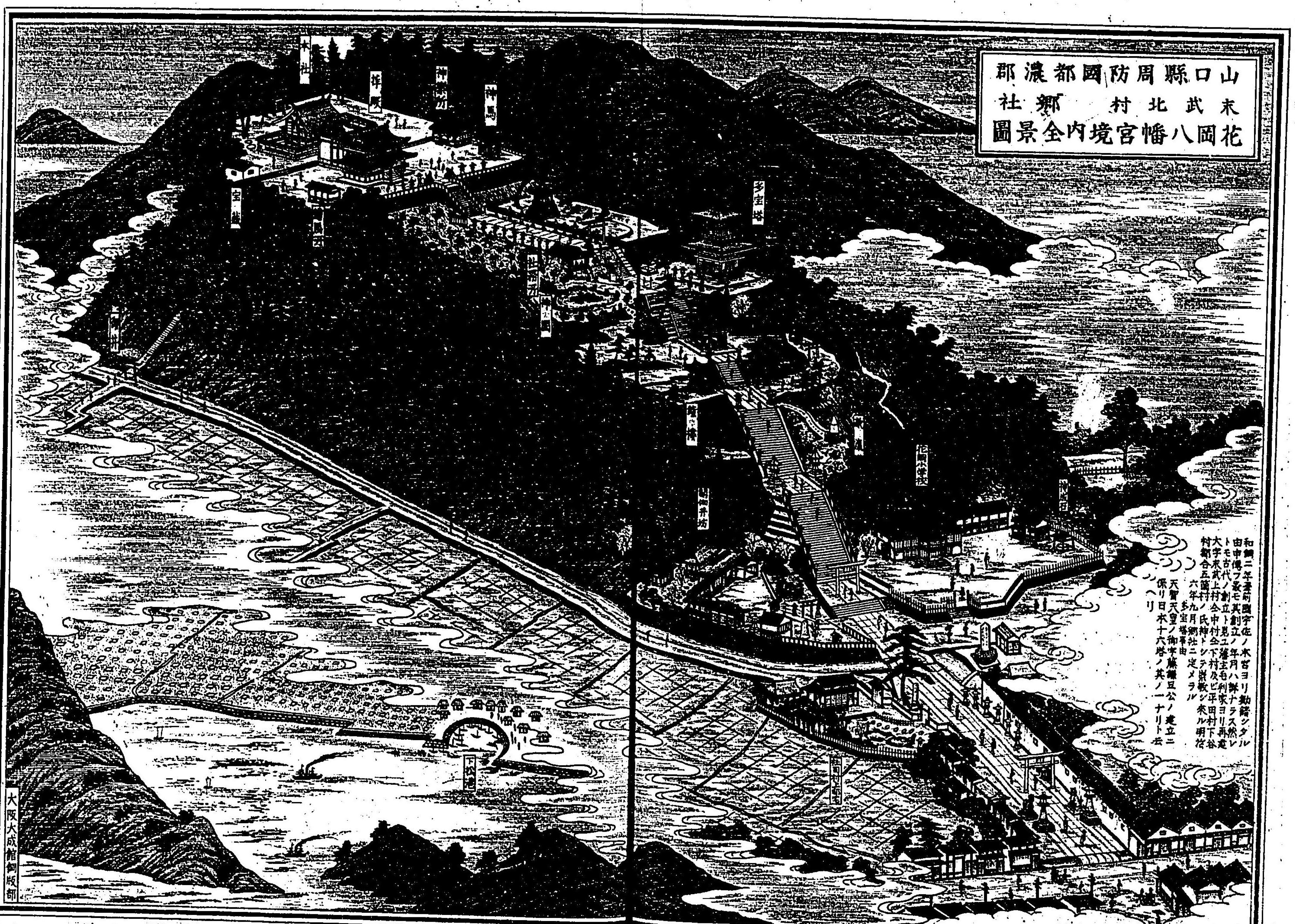
山口縣周防國都濃郡鹿野村
岩崎伴蔵邸内
歳寒松之圖
恒光卿御歌
源朝臣重忠御詠
大阪大成館銅版部

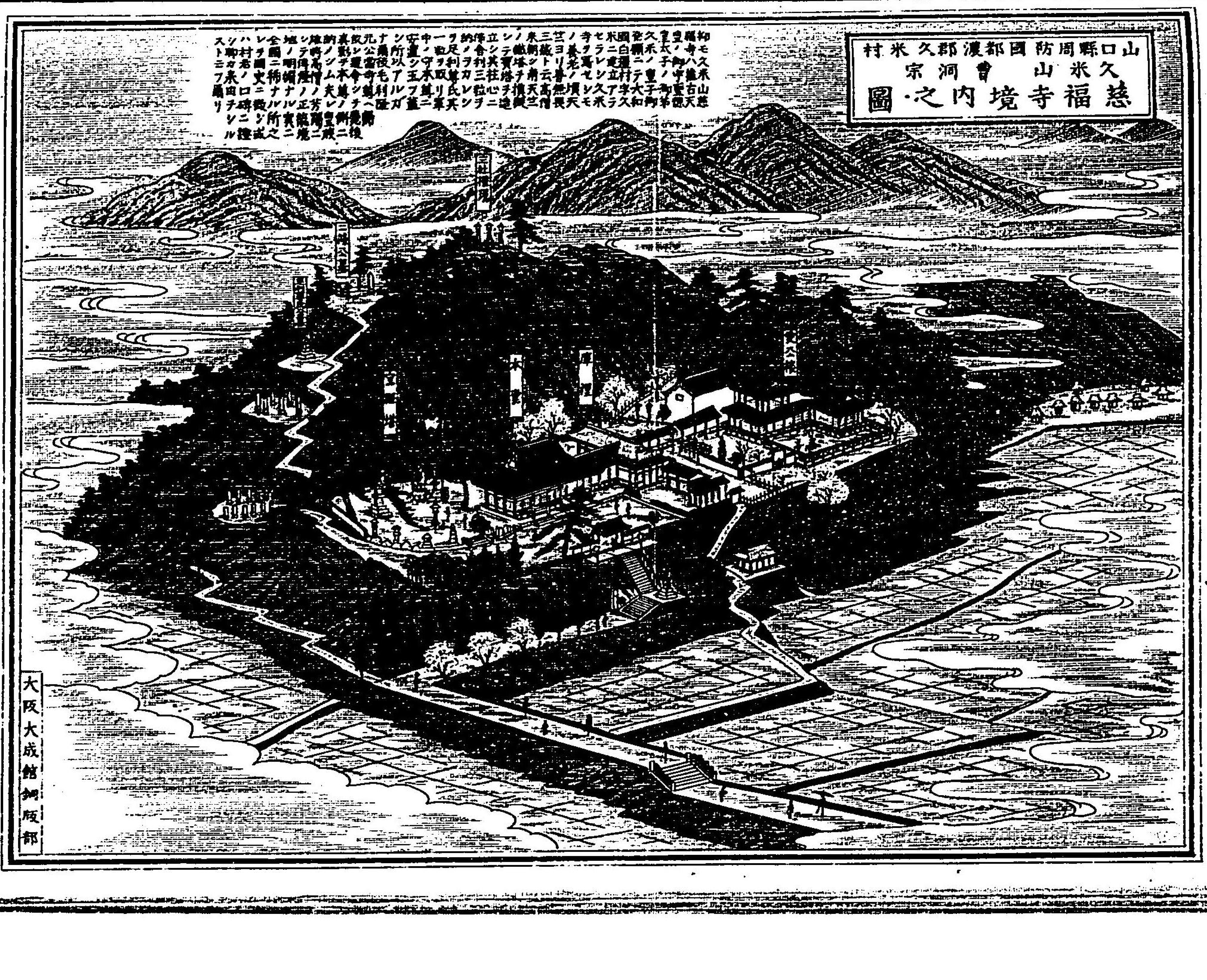

山口縣周防國都濃郡
鹿野中村字今居村社
三島神社境内之圖
大阪大成館銅版部

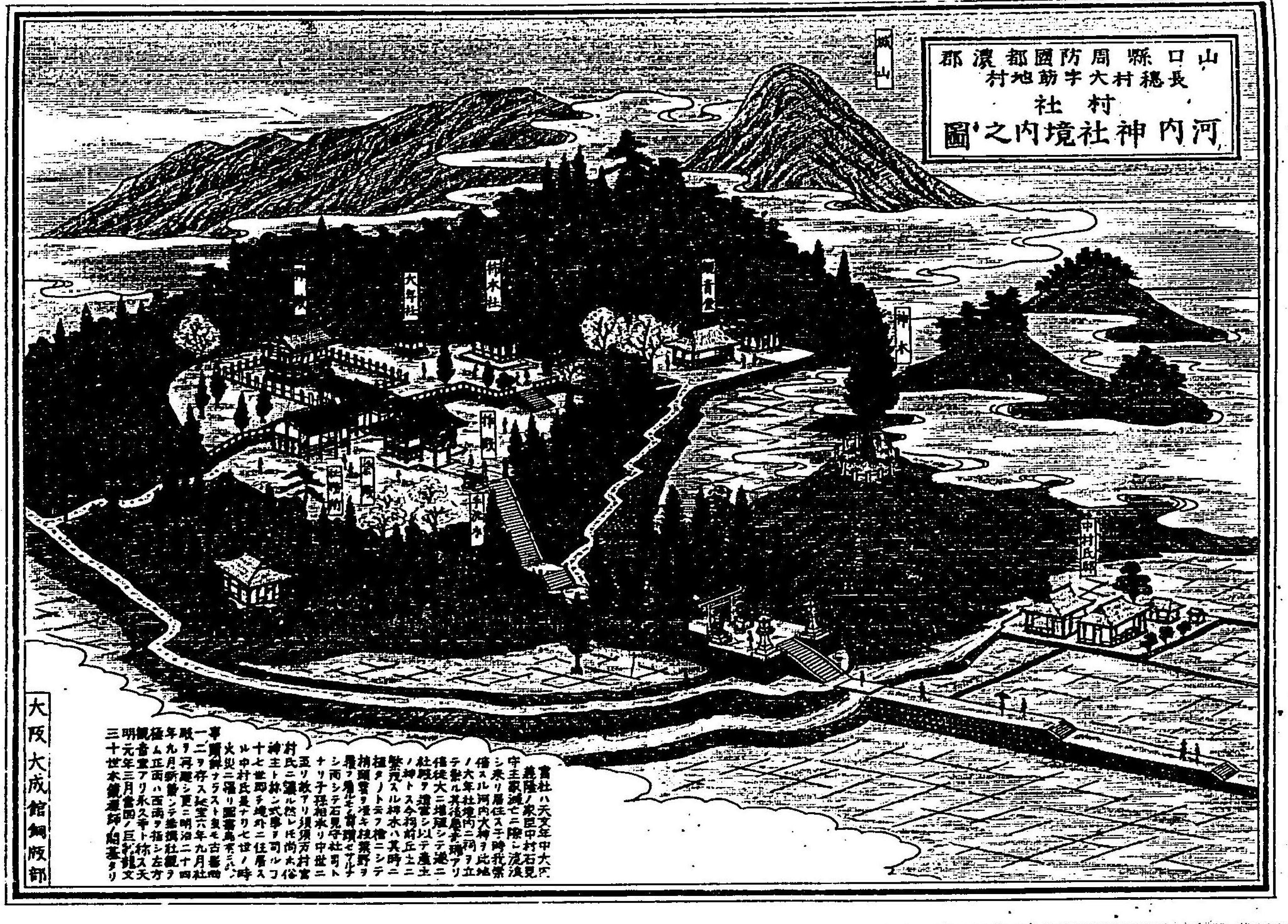
山口縣周防國都濃郡徳山港
大阪商船會社及
内國通運會社代理店
樫部孫一本店及支店之圖
徳山港
大阪大成館銅版部

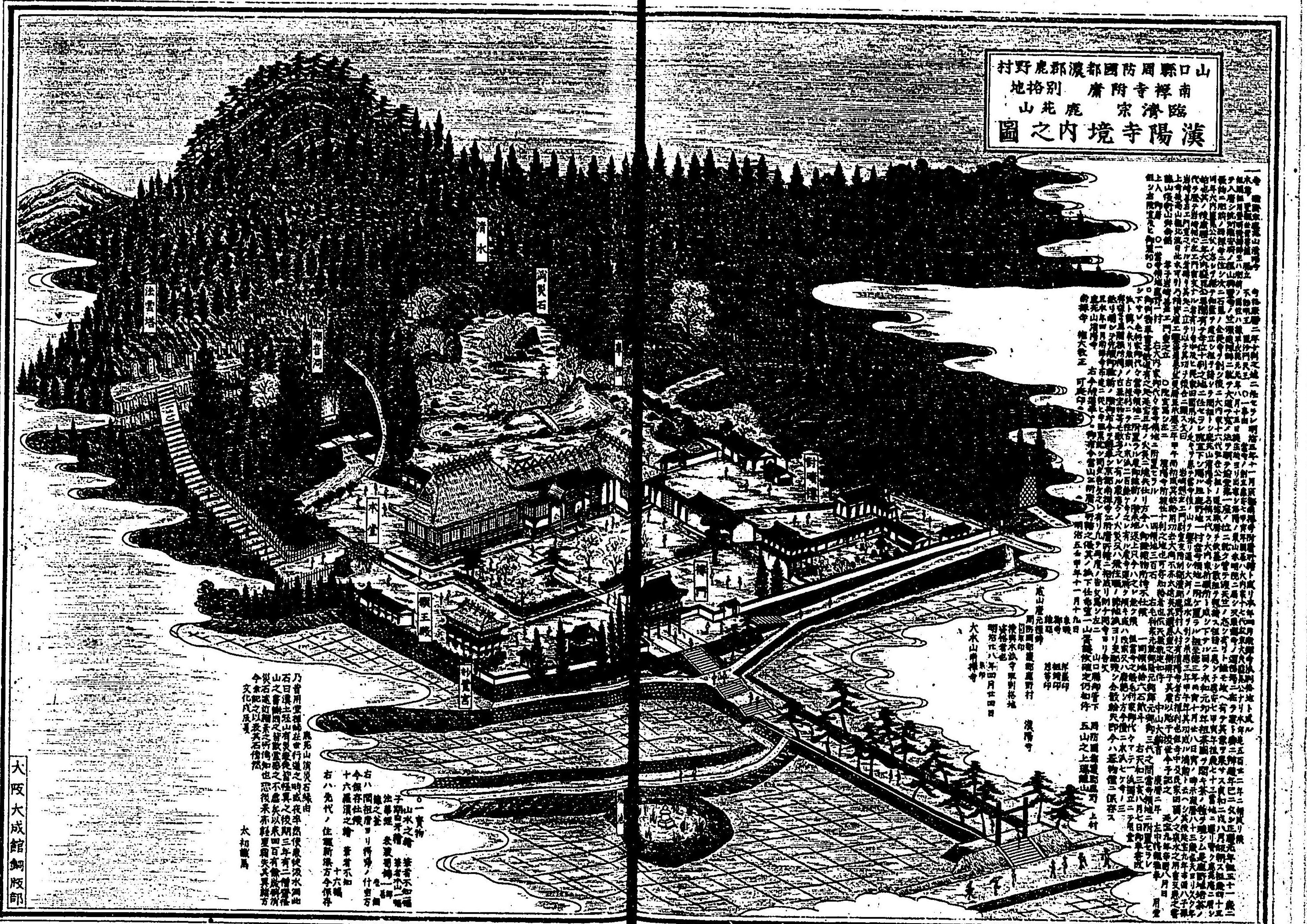

山口縣周防國都濃郡豊井村
浄土宗
周慶寺境内之圖
浄土宗鳳祥山周慶寺ハ往昔西福寺ト号ス
天文年中大内姓ノ建立ナリ本尊阿弥陀如
来ハ慈覚大師ノ御作ナリ寛永三年領主毛
利日向守大江就隆母堂周慶大姉為菩提再
建成テ寺領ヲ寄テ号改周慶寺
本堂
方丈
庫裡
玄関
本門
浴室
分署
大阪大成館銅版部

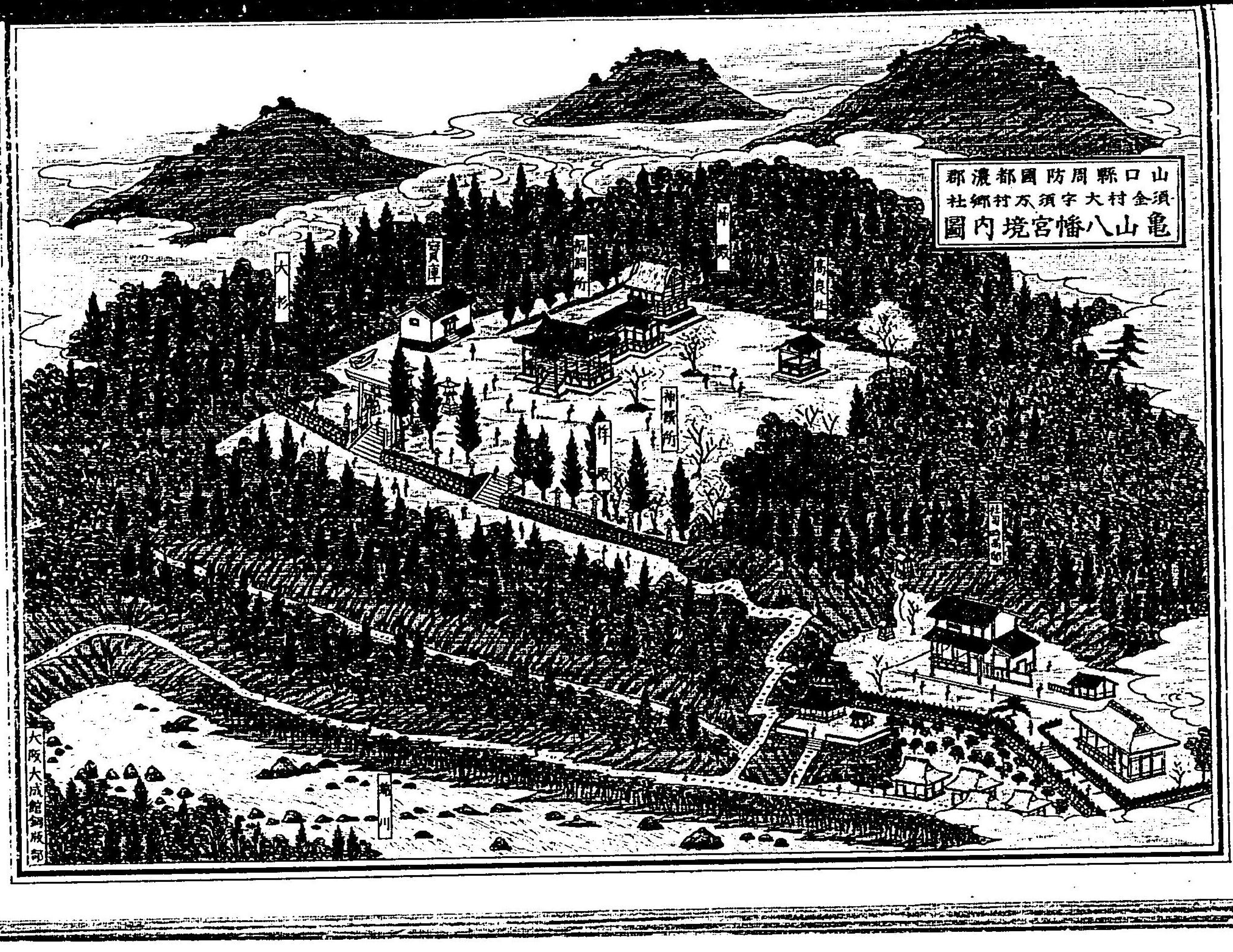

山口縣周防國都濃郡
豊井村下松妙見山
真言宗中本寺
鷲頭寺境内之全圖
抑當山ハ　推古帝ノ御宇琳聖太子ノ開基ニシテ本尊妙見尊ハ太子ガ百濟ヨリ持來セル祈休ナリ先此當地青柳鄉ノ巨松ニ北辰大星天降而七日七夜靈光赫々タリ村民皆奇異ノ思ヲナス一タ大星村老ノ夢ニ入テ告曰ク我ハ是レ北辰妙見ナリ本邦ノ義風ヲ愛シ跡ヲ此地ニ垂レテ國家ヲ擁護シ民衆ヲ豊饒セシム今後一歳異邦ノ太子比土ニ歸化シ國政ヲ輔ケント果然太子ハ未レリ國政ハ革新セラレタリ功ヲ以テ太子防長ニ封セラル、ニ及ンデ大里降臨ノ地ヲトシ殿舍ヲ立テ護持ノ尊像ヲ安置シテ妙見山鷲頭寺ト鎮ス爾來千有餘年大内毛利ノ崇敬尤モ厚ク神威愈如ハリ感應響ノ如ナルヲ以テ賽主陸精寺頭常ニ山ヲナス誠ニ天下有數ノ名利ナリ、
笠戸島
大島
下松港
大阪大成館銅版部


山口縣周防國都濃郡
末武北村　郷社
花岡八幡宮境内全景圖
和銅二年豊前國宇佐ノ本宮ヨリ勧請シタル
由申傳フ歟モ其創立ノ年月ハ詳ナラス然レ
トモ古代ノ創立ト見ユ藩主毛利家ヨリ再建
大字末武上村仝中村仝下村及ビ平田村下谷
村都合五箇村ノ氏神トシテ崇敬シ來ル明治
六年九月郷社ニ定メラル
多宝塔事由
天智天皇ノ御宇藤原鎌足公ノ建立ニ
係リ日本十六塔ノ其ノ一ナリト云
ヘリ
本社
拝殿
神馬
多宝塔
大阪大成館銅版部

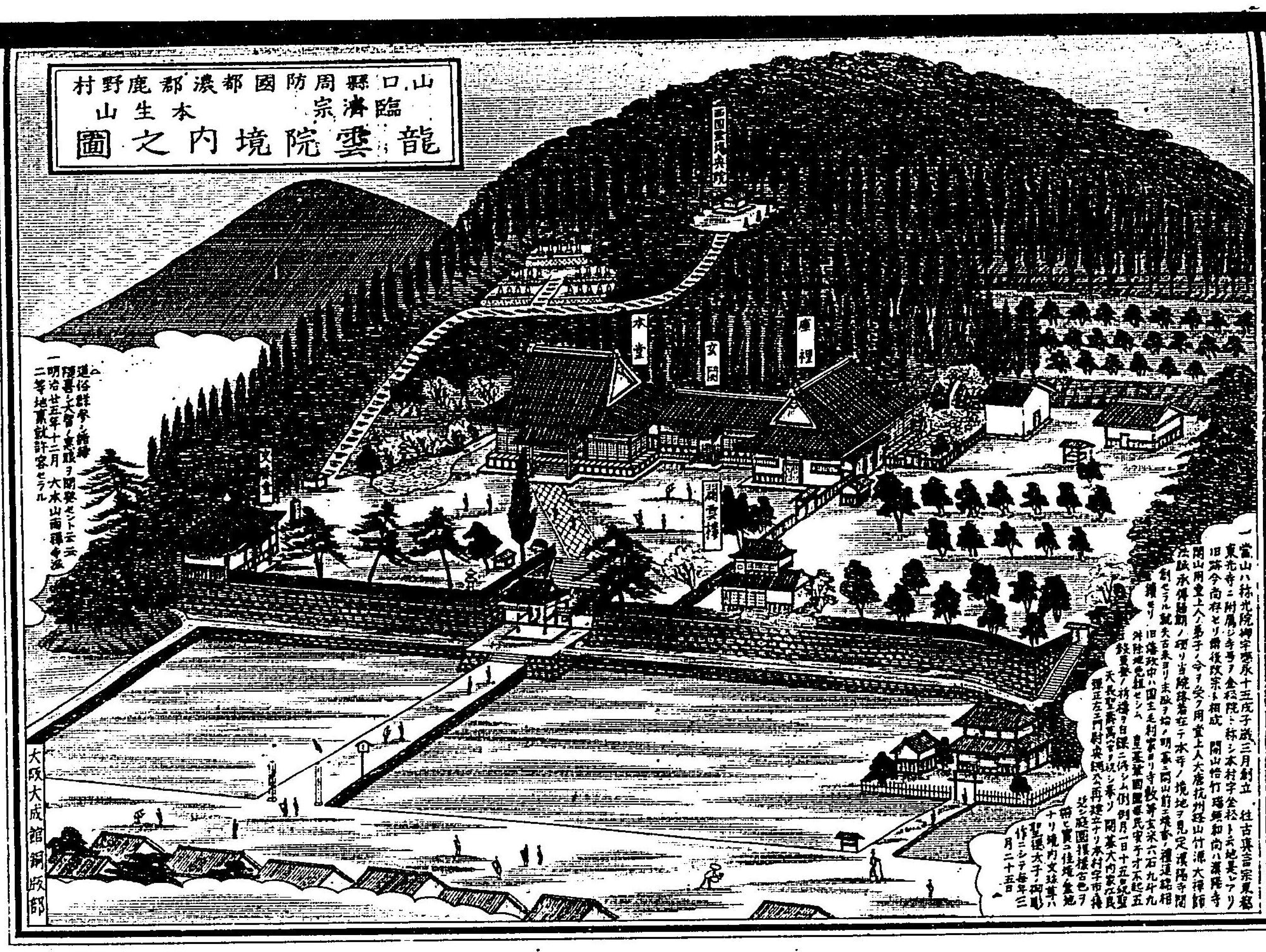

山口縣周防國都濃郡久米村
曹洞宗 久米山
慈福寺境内之圖
大阪大成館銅版部

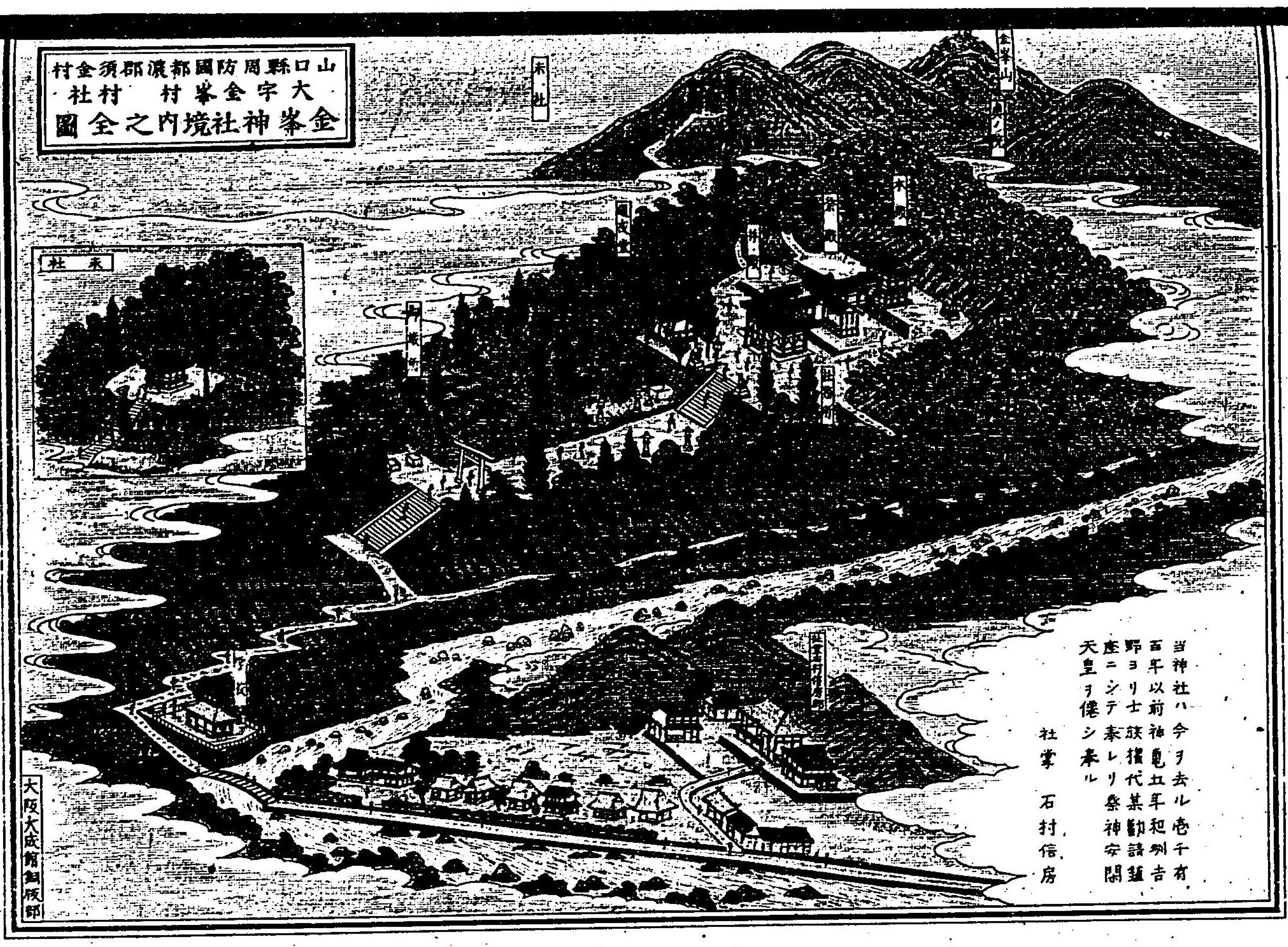

山口縣周防國都濃郡
長穗村大字筋地村
村社
河内神社境内之圖
大阪大成館銅版部

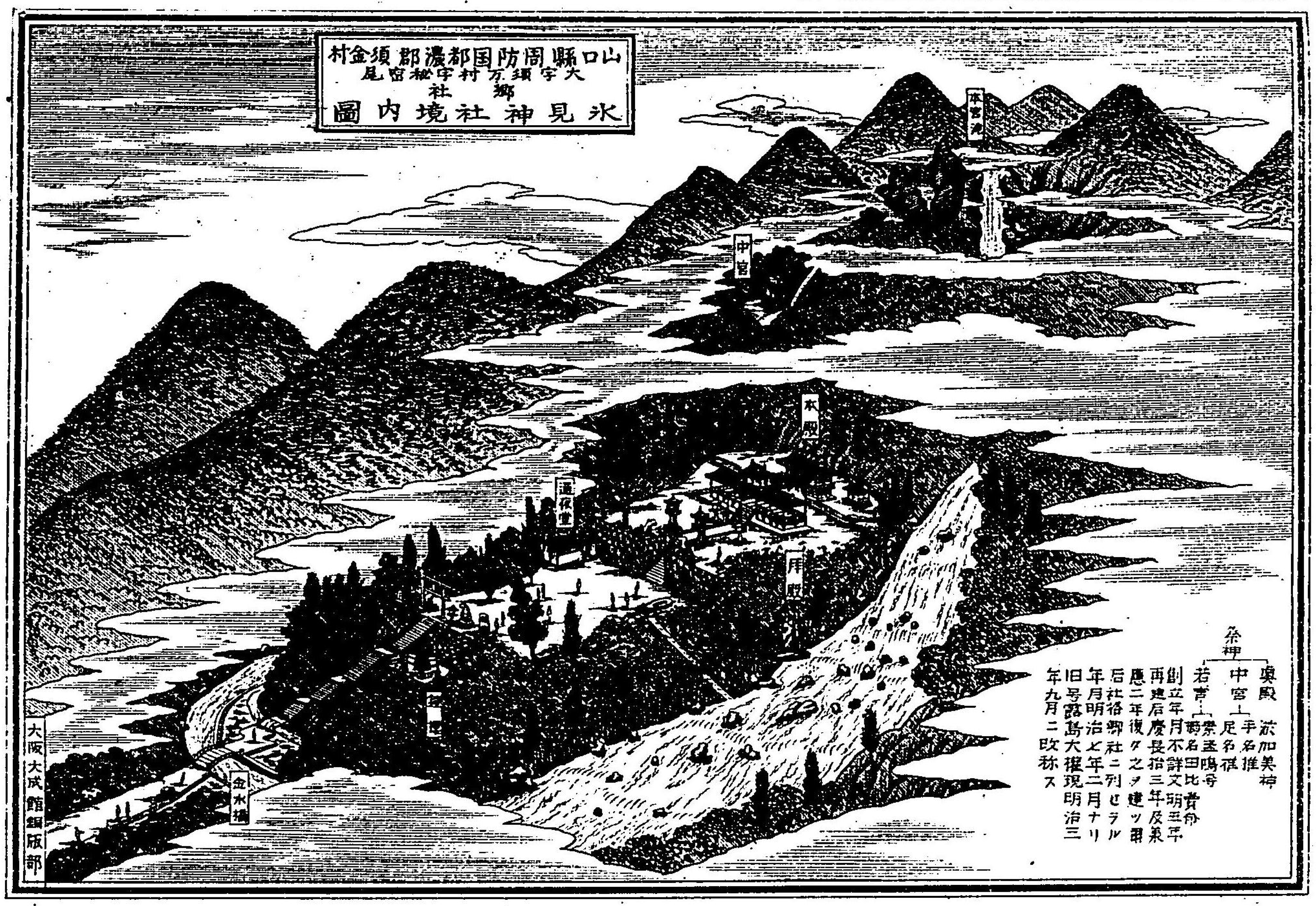

山口縣周防國都濃郡鹿野村
南禪寺附庸 別格地
臨濟宗 鹿苑山
漢陽寺境内之圖
大阪大成館銅版部



山口縣周防國都濃郡
須金村大字須万村鄉社
亀山八幡宮境内圖


山口縣周防國都濃郡鹿野村
臨濟宗 本生山
龍雲院境内之圖
大阪大成舘銅版部


山口縣周防國都濃郡須金村
大字金峯村　村社
金峯神社境内之全圖
末社
当神社ハ今ヲ去ル壱千有
百年以前神亀五年紀州吉
野ヨリ士族擢代某勧請鎮
座ニシテ奉レリ祭神安閑
天皇ヲ僊シ奉ル
社掌　石村信房
大阪大成館銅版部


山口縣周防国都濃郡須金村
大字須万村字秘密尾
郷社
氷見神社境内圖
奥殿　菸加美神
中宮　手名椎　足名椎
若宮　素盞嗚尊　奇稲田比賣命
創立年月不詳文明三年
再建后慶長三年及寛永
二年復タ之ヲ建ツ
后社格郷社ニ列セラル
年月明治七年二月ナリ
旧号露島大権現明治三
年九月ニ改称ス
中宮
本殿
金水橋
大阪大成館銅版部

熊毛郡

國の東南に位し西北東の三面は玖珂、都濃の両郡に連なり東南に長く斜にして南海に面せり東端の一部南に突出して室津半島となりて長島を指し東方海を經てゝ大島郡に對せり面積二十一方里弐分一厘、東西六里三町、南北十一里二十町あり、周圍三十二里二十一町、戸數一万七千百三十九、人口九万千六百七十五を有し廿六ヶ村に分てり

山岳

烏帽子嶽　山陽國道の北方に峙立する秀峯にして勝間村の内にあり高サ二千三百八十五尺、登り一里あり連脈東西に延ひて西都濃の郡界に至り東玖珂郡の米川村に亘る郡中第一の高嶺なり

大座山　室津村に属する高峯にして高サ一千七百〇六尺登り三十丁あり室津の東北に起立して支脈北に走り室津半島を埋めり

千坊山　室積の東に突起する秀嶺なり高サ一千百二十二尺、登り二十二町あり

石城山　塩田村に属する高嶺にして高サ一千二百五十尺、登り十八町あり

河川

島田川　源を玖珂郡の玖珂村及伊陸村より發し山陽國道の南を西流して本郡三丘村に來り周防、立野の諸村を經て島田村に達し海に注ぐ流程九里許本郡第一の巨川とす

道路

山陽國道　玖珂郡の高森驛より來り本郡今市驛を經て都濃郡の花岡に通す

岩國街道　都濃郡の島田驛より來り本郡室積驛、田布施驛を通して玖珂郡の柳井津に通せり

港灣

上の關港長島村、室積港室積村、水場港平生村、室津港室津村、

島嶼

長島　郡の東南にありて斜に西南に向へり東西二里六町、南北二里六町、周圍八里二十四町あり全島の戶數一千〇七十一、人口五千百八十人を有し上の關、長島、白井田、西代の四ヶ所に分てり上の關海峽を經て室津に達する僅かに數町に出です東に横島、天田島、宇和島等の群嶼星羅して海峽に臨めり

屋島　長島の南東三里にあり南北に細延して南を平根崎といひ北角を洲崎と稱し遙かに平郡島と相對せり古浦、本浦の二字ありて周圍一里二十二町とす

祝島　長島の南端一葦帶水を經てゝ其西方に蟠まれり周圍一里三十四町東西一里四町、南北二十九町あり、祝島以下四個の部落ありて戶數三百八十戶、人口二千百二十九人を有せり陸地への最近距離五里許なり

牛島　祝島と室積灣との中間にありて東長島に擁せらる東西二十五町、南北二十一町、周圍三十丁、戶數百六十七戶、人口一千人を有せり陸地への最近三里許

其他佐鄉島、馬嶋等の小嶼は室津半島の西海に羅列せり

名邑

室積村、田布施村、平生村、室津村、長島村等なり

神社

神社は鄉社十三社、村社三十二社ありて總數四十五社あり

寺院

寺院は各宗總して一百十七ヶ寺にして內眞宗は六十五ヶ寺の多きに及べり

勝區

祝島、竈戸の關長島、室積の浦、熊毛の浦等なり就中室積の浦は殊に著名なりとす

名産

穀類、海產、綿、蘂藍、木綿、鹽、菅笠等なり

室積村

郡內第一の都邑にして岩國街道の要衝なり、郡役所、警察署、區裁判所、電信局等あり市街商肆櫛比して前面室積の良港を控へ港內帆檣林立して碇船頗る便なりとす、東西の諸港に航する滊船日夜寄港するもの數回爲に交通の便に富み商况殊に殷盛なり、山口町を去る二十七里三十町、北島田驛を離るゝ一里二十二丁、玖珂郡の柳井津に至る五里五町とす、峨嵋山は市の西方に聳ゆる翠巒にして象ヶ鼻東南に突出し又堤形をなして東に細長せり名けて小橋立とも云へり丘上招魂社あり明治元年及四境の役に戰死せし名士の靈を祭れり山上の青松常に白波に映し九州の秀峯は遠く水天の間に雲煙たり風景頗る秀絕にして愛賞するに足るべきなり

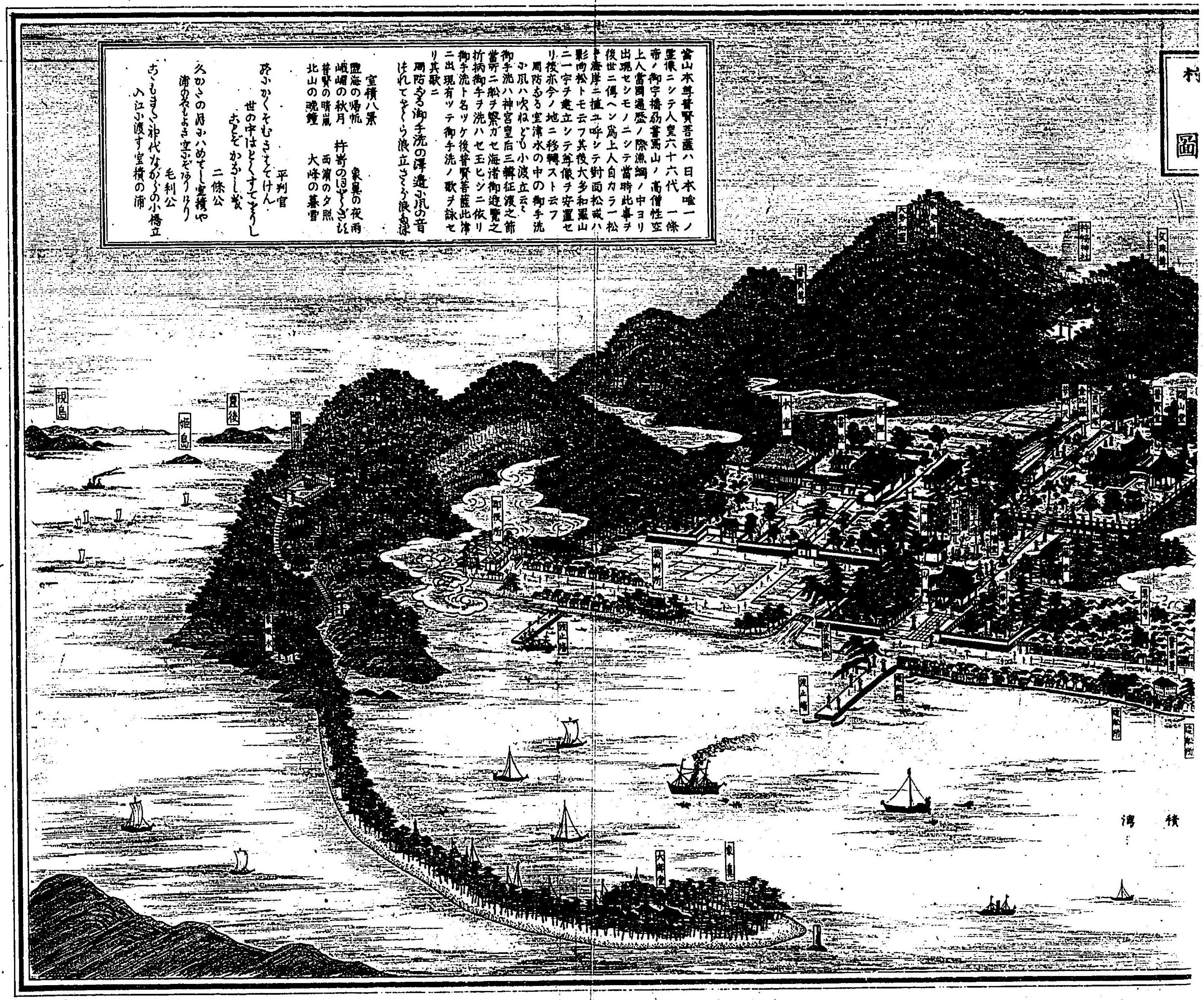
上の關

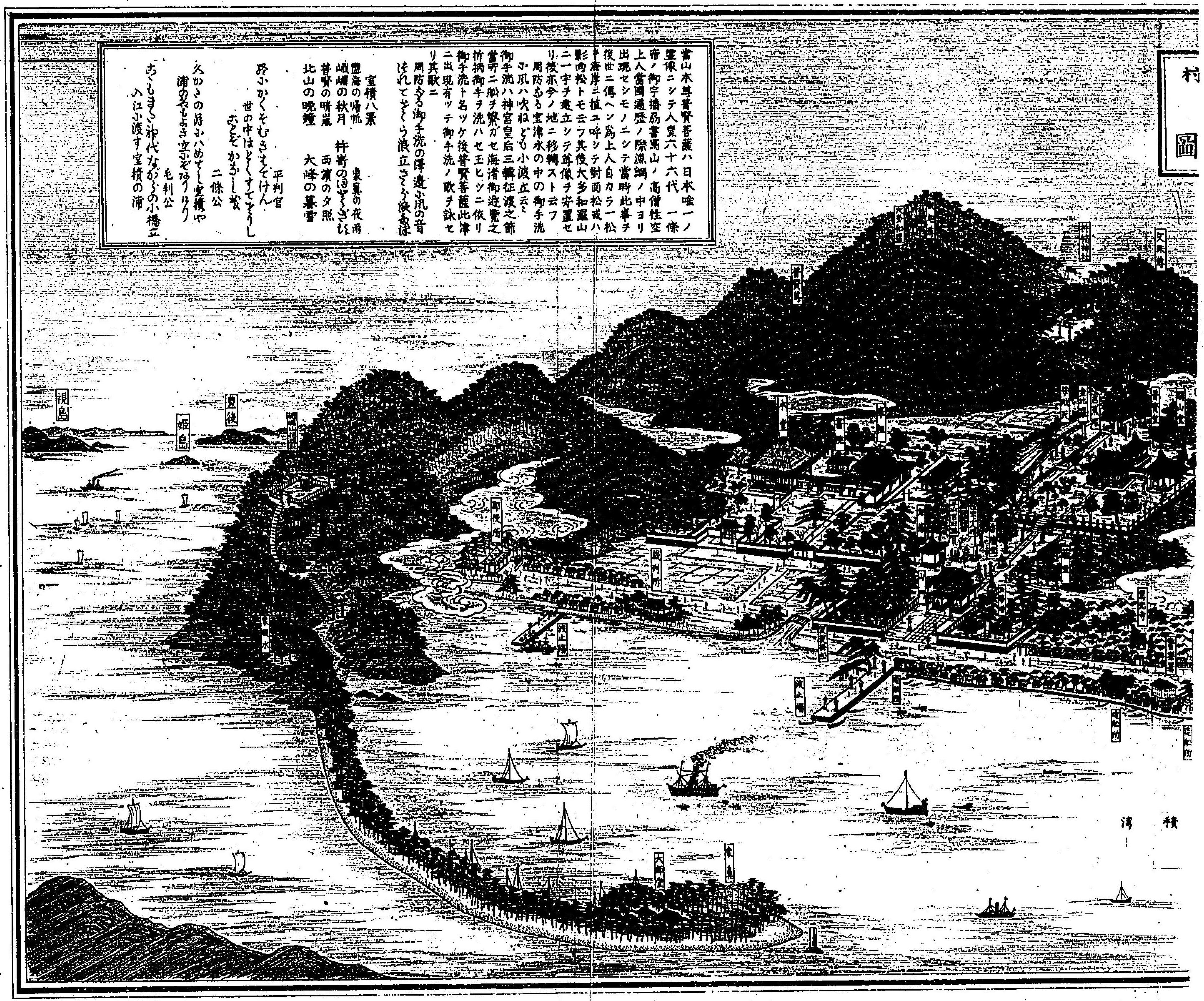
長島村に屬せり室津村と相對する距離僅少にして其間を上の關海峽と稱す潮流急激にして船舶常に岸に倚て潮を候ひ風順に應して衆帆齊しく張り以て峽を過くの有様寔に奇観と云ふ可きなり、昔時は長防三關の一にして船舶の寄港殊に多く随て商賈甚盛なりしが當時大に其様を異にせり

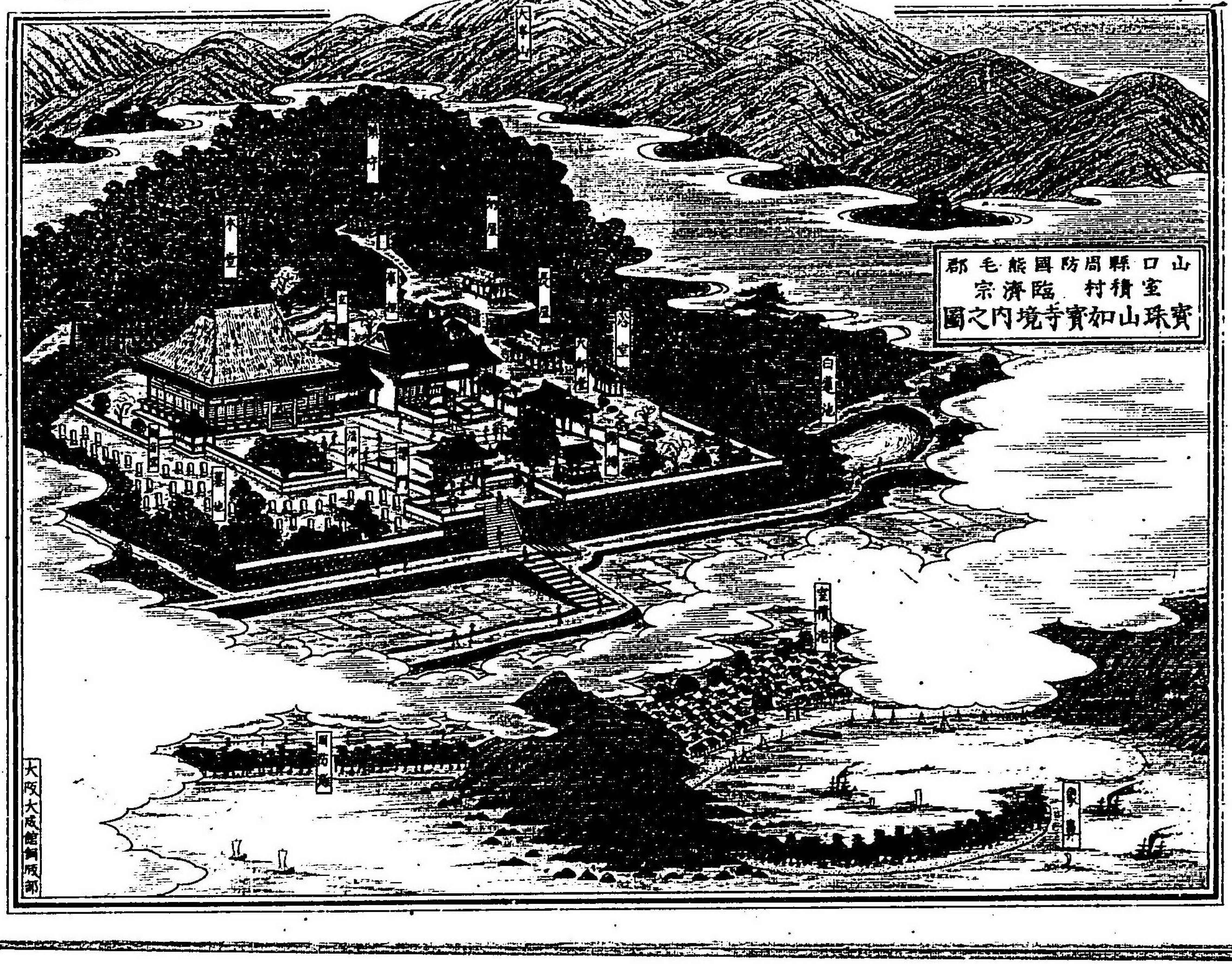
平生村

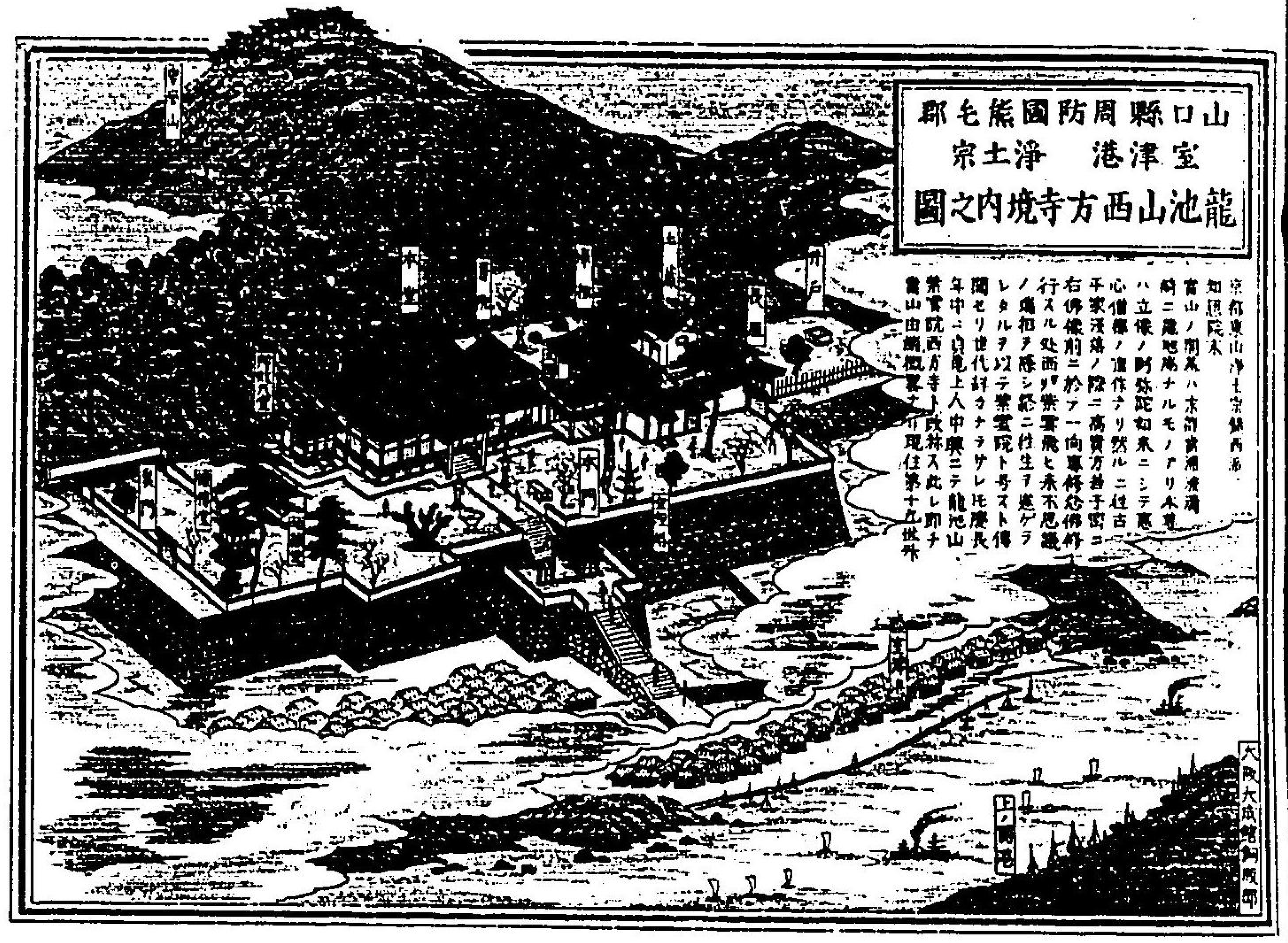
郡の南方岩國街道の要路に衙りて四通八達の便ある市邑なり戶數千四十八、人口五千九百六十人を有す、商肆連檐して甚殷賑なり南方二十町許を經つる水橋港には日々滊船の出入ありて貨物の集散殊に繁忙を來たせりといふ地に警察の分署あり

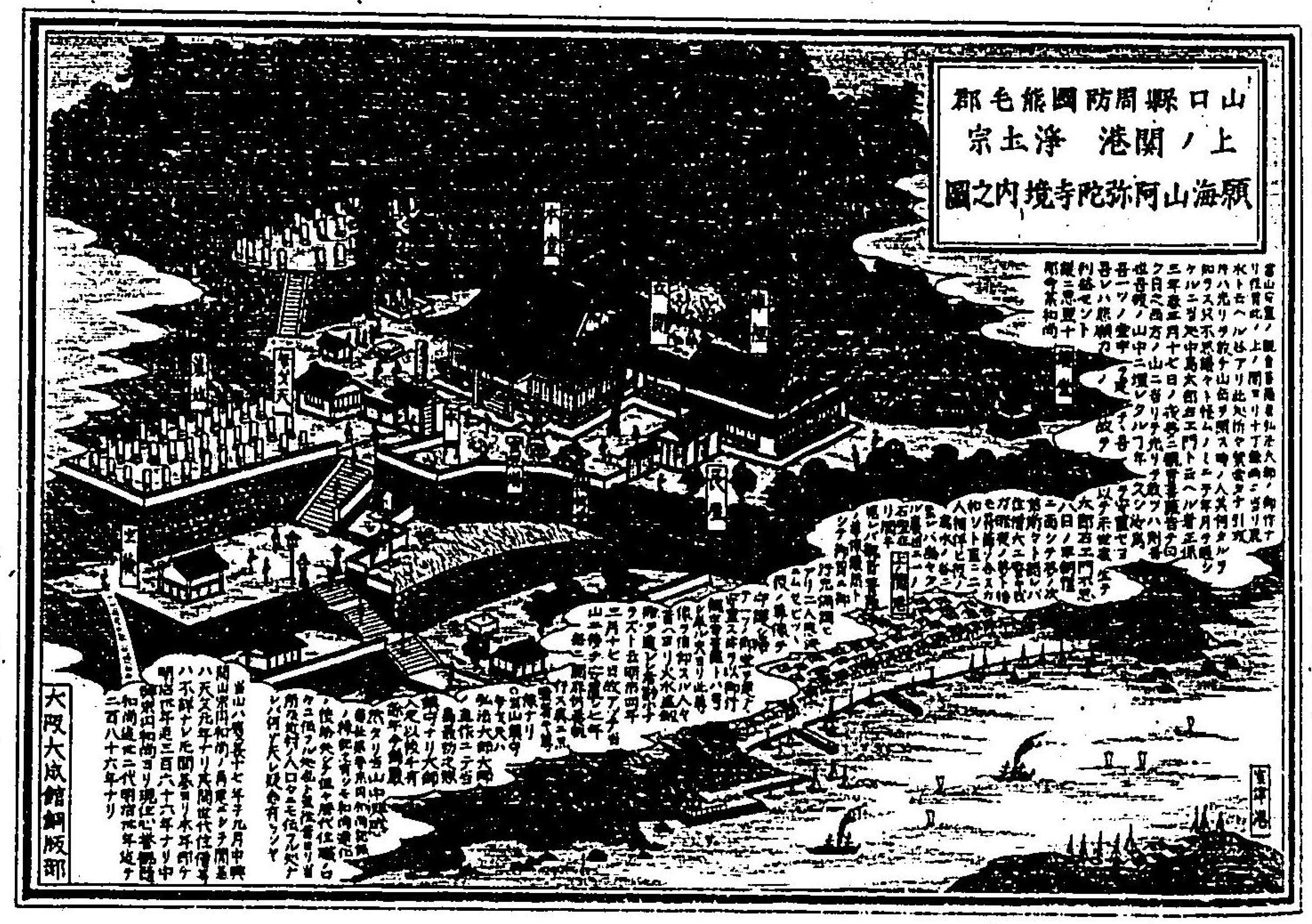
山口縣周防國熊毛郡室積村
臨濟宗　峨嵋山
普賢寺境内及室積全景之圖
室積湾
大阪大成館銅版部


當山本尊普賢菩薩ハ日本唯一ノ
霊像ニシテ人皇六十六代一條
帝ノ御宇播州書寫山ノ高僧性空
上人當國遍歴ノ際漁網ノ中ヨリ
出現セシモノニシテ當時此事ヲ
後世ニ傳ヘン爲上人自カラ一松
ヲ海岸ニ植ユ呼シテ對面松或ハ
影向松トモ云フ其後大多和嶽山
ニ一宇ヲ建立シテ尊像ヲ安置セ
リ後亦今ノ地ニ移轉スト云フ
周防なる室津水の中の御手洗
小凪ハ吹ねども小波立云々
御手洗ハ神宮皇后三韓征渡之節
當所ニ船ヲ繋ガセ海渚御遊覧之
折柄御手ヲ洗ハセ玉ヒシニ依リ
御手洗ト名ツケ後普賢菩薩此津
ニ出現有ツテ御手洗ノ歌ヲ詠セ
リ其歌ニ
周防なる御手洗の澤邊ニ風の音
はれてさゝら浪立さゝら浪
室積八景
鹽海の帰帆 象鼻の夜雨
峨嵋の秋月 杵嵜のほとゝぎす
普賢の晴嵐 西濱の夕照
北山の晩鐘 大峰の暮雪
平判官
あふかくそむきもそけん
世の中はとくすてをりし
おとぞかなしき
二條公
久かたの月ハめでし室積や
浦のなもよき空ぞなりけり
毛利公
さゝもまゝ神代ながらの小橋立
入江ニ渡す室積の浦

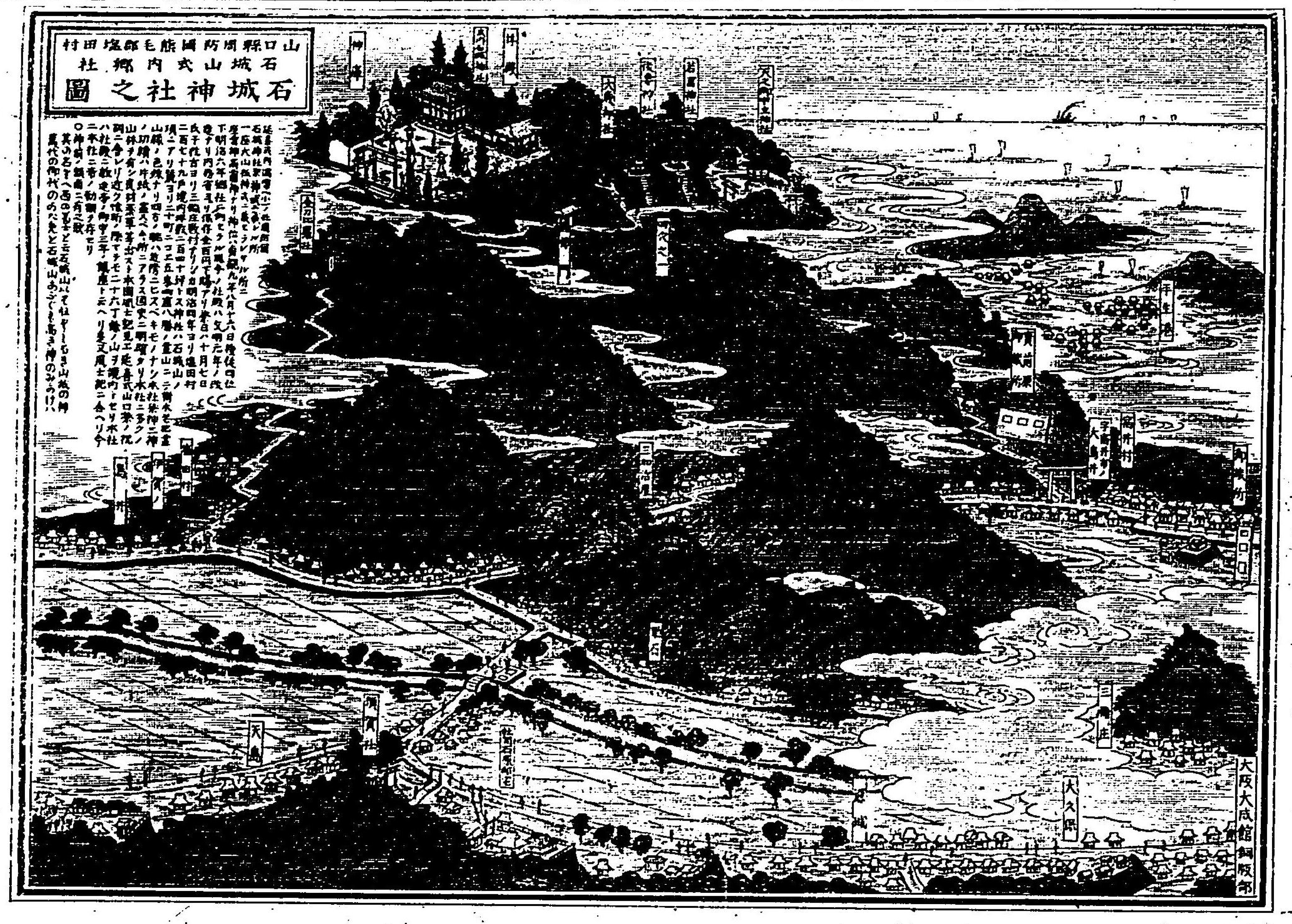

當山本尊普賢菩薩ハ日本唯一ノ
靈像ニシテ人皇六十六代一條
帝ノ御宇播州書寫山ノ高僧性空
上人當國遍歴ノ際漁網ノ中ヨリ
出現セシモノニシテ當時此事ヲ
後世ニ傳ヘン爲上人自カラ一松
ヲ海岸ニ植ユ呼シテ對面松或ハ
影向松トモ云フ其後大多和羅山
ニ一宇ヲ建立シテ尊像ヲ安置セ
リ後亦今ノ地ニ移轉スト云フ
周防なる室津水の中の御手洗
に風ハ吹ねども小波立云々
御手洗ハ神宮皇后三韓征渡之節
當所ニ船ヲ繋ガセ海渚御遊覧之
折柄御手ヲ洗ハセ玉ヒシニ依リ
御手洗ト名ツケ後普賢菩薩此津
ニ出現有ッテ御手洗ノ歌ヲ詠セ
リ其歌ニ
周防なる御手洗の澤邊に風の音
はれてさくら浪立さくら浪哉
室積八景
靈海の帰帆　象鼻の夜雨
峨嵋の秋月　杵嵜の白さぎ
普賢の晴嵐　西浦の夕照
北山の晩鐘　大峰の暮雪
平判官
路ふかくそむきもそけん
世の中はとくすてゝもりし
おとぞかふし哉
二條公
久かたの月ふめてし室積や
浦の名もよき空ふぞありけり
毛利公
さゝもまうし神代ながらの小橋立
入江ふ渡す室積の浦
視島
豊後
姫島


山口縣周防國熊毛郡
室積村 臨濟宗
寶珠山如寶寺境内之圖
大阪大成館銅版部


山口縣周防國熊毛郡
室津港　淨土宗
龍池山西方寺境内之圖
大阪大成館銅版部

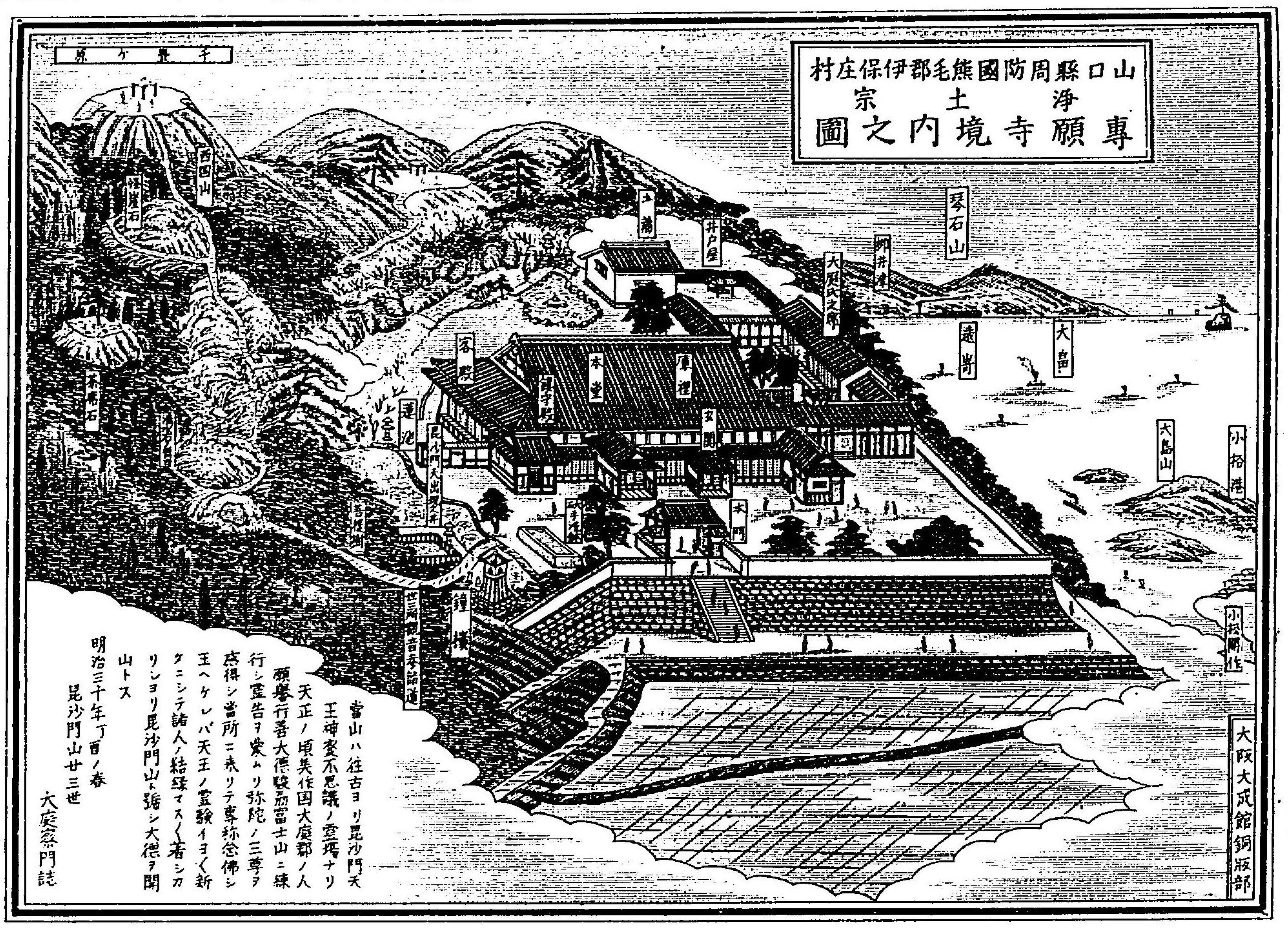

山口縣周防國熊毛郡
上ノ関港　淨土宗
頴海山阿弥陀寺境内之圖
大阪大成館銅版部

山口縣周防國熊毛郡大野村
眞言宗 古義派
石城山神護寺境内之圖
創立人皇四十八代称徳帝天平神護元年
沿革推古天皇御宇百済國主太子琳聖佛教弘通
之志アリ經巻佛像ヲ船ニ載シテ當國多々良濱ニ
着岸ス天皇勅シテ山口ニ聚落ヲ構サセ給フ其
年秋九月九日太子廻國シテ熊毛郡塩田村ニ至
給フ時山容故國石城山ニ相似タリトシテ釈迦三
尊ヲ鎮座シ給フ尓后称徳帝天平神護元年帝當
山ニ行幸シテ神護寺舎那院ト寺号ヲ給ヒ
石城山ノ勅額ヲ下附セラル遂ニ式内石城
神社トシ國家鎮護ノ神トシテ崇メ給フ抑
當寺ハ同社ノ別當トシテ壹千有餘
年ノ霊域ニシテ時々禁裏ノ御祈リ
ヲナシ大國主祈禱所内ノ祈念所
トシテ地方有名ノ勝地ナリシ
德川氏時代ニハ三十石ノ
寺領有セシモ維新
ノ際神仏分轄
之御分
法ニヨ
リ神体
ヲ
○護府シテ現今ノ地ニ
移轉シ松運寺ト合併
シテ同寺本尊ヲモ合
祀ス然レ圧神護寺ノ
由緒如此ナルヲ以テ
今モ尚同寺名ヲ称呼
ス
大阪大成館銅版部

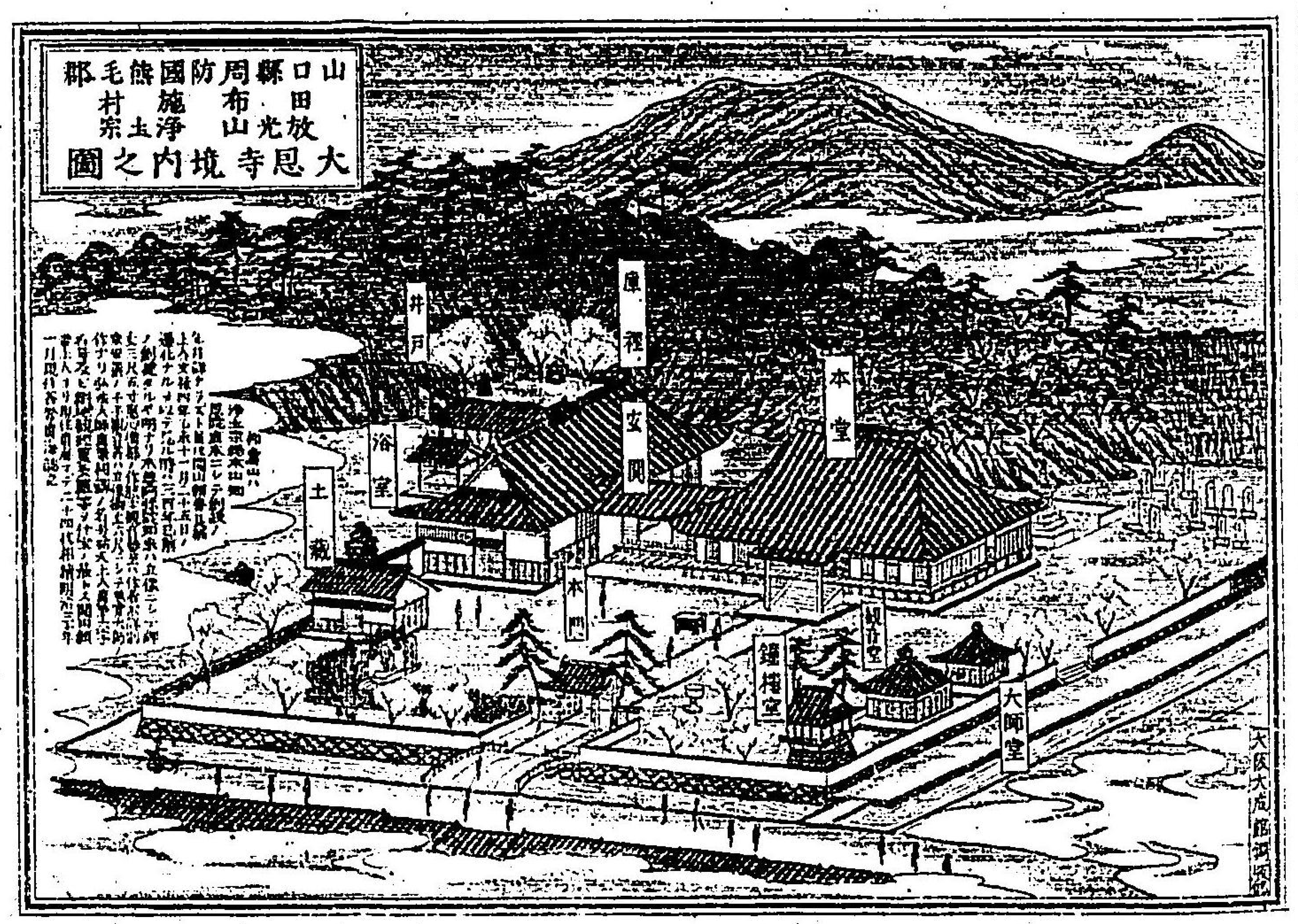


山口縣周防國熊毛郡塩田村
石城山式内郷社
石城神社之圖
大阪大成館銅版部

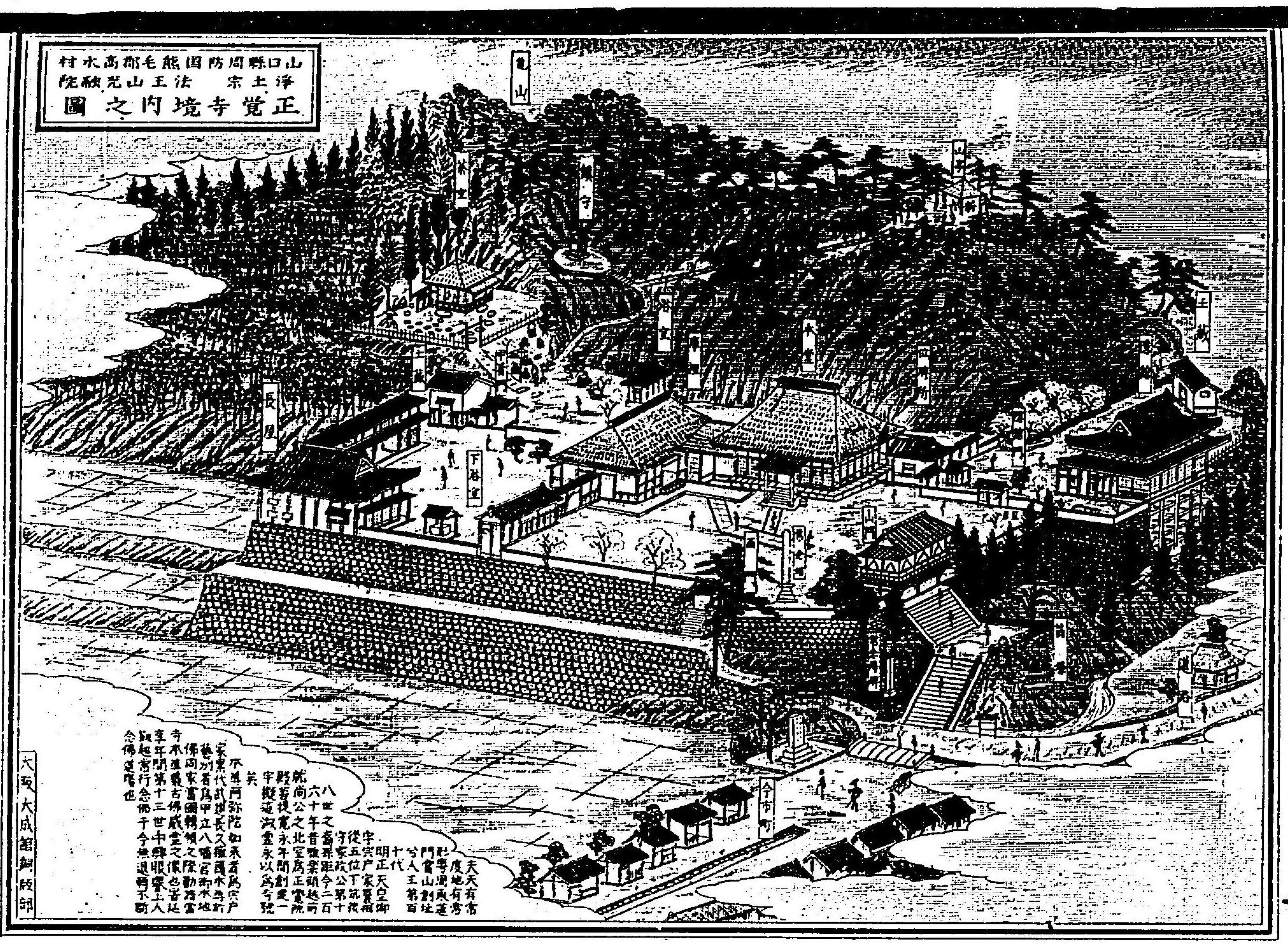
山口縣周防國熊毛郡
光井村　臨済宗
南禅寺派梅昌山
玉泉寺境内之圖
當寺開創應永三丙子年三月十八日開山智覺周大和尚謙篤相州鎌倉建長寺黄衣同二十三丙申年二月十一日示寂開創ノ年ヨリ明治三十年迄五百三年往昔建長寺末派ニシテ寛文七丁未年三月国主ノ命ニ因テ南禅寺派下ニ附属ス
抑當寺本尊十一面観世音菩薩ハ人皇五十代嵯峨天皇之御宇建武二乙戌年七月七日ヨリ十日ニ至ル迄讃州佛生寺山ニ於テ弘法大師二夜三日之間一刀三禮之御作ニシテ彼ノ寺ニ安置アリシ夫レヨリ六百余年ヲ経テ應永五年開山智覺大和尚四国順拜之節彼之善通寺ヨリ勧請致シテ即本尊ト安置被成シヨリ以来五百余年之禅刹也
御詠歌
玉の泉の水かゞみ
うつるてゝろは涼しかるらん
長屋
鐘楼
井戸屋
表門
土蔵
庫裡
玄関
本堂
薬師堂
釈迦堂
八十八番弘法大師
大阪大成館銅版部

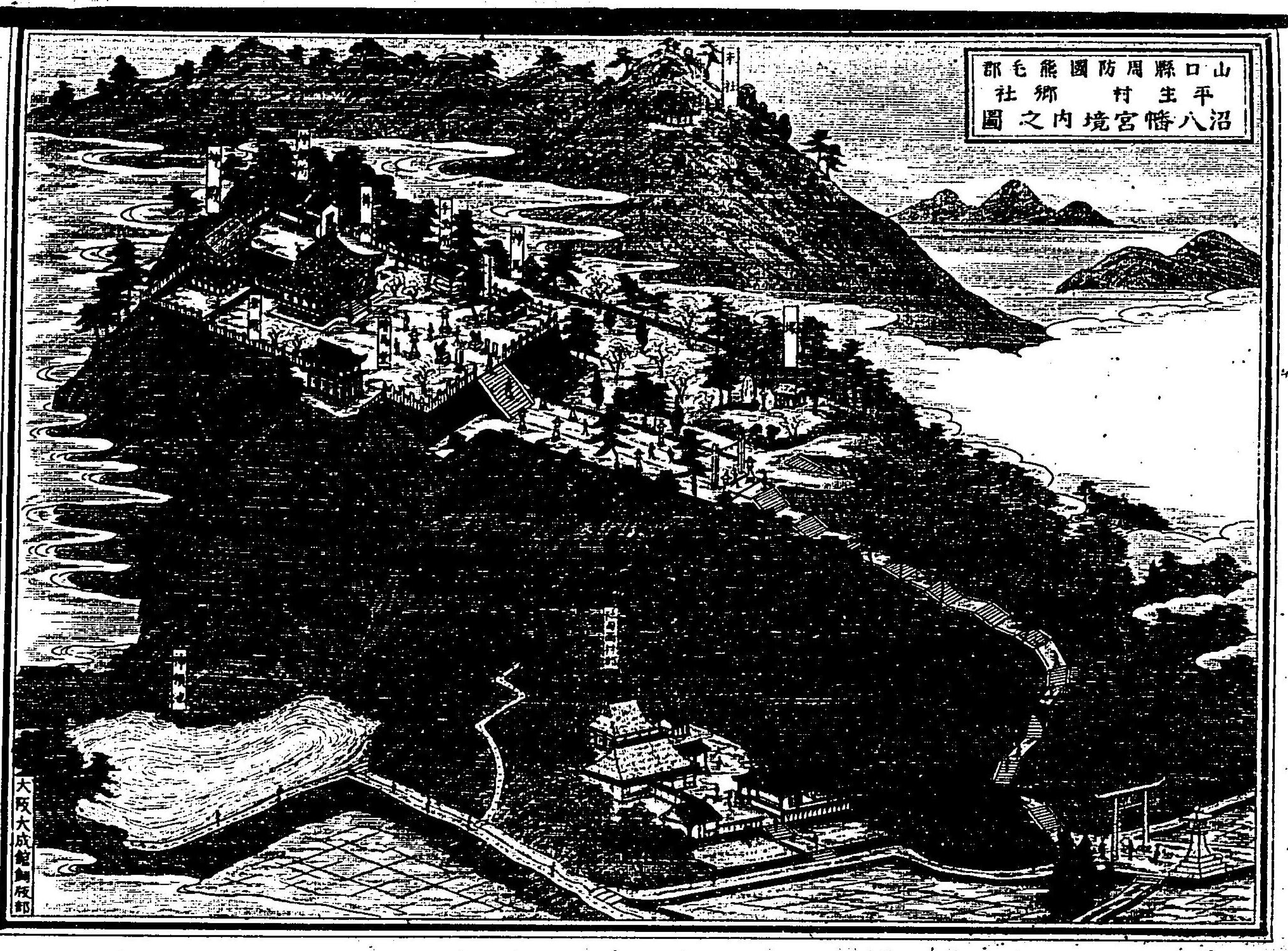

山口縣周防國熊毛郡伊保庄村
浄土宗
專願寺境内之圖
琴石山
大畠
遠崎
大島山
小松港
大阪大成館銅版部
當山ハ往古ヨリ毘沙門天
王神変不思議ノ霊場ナリ
天正ノ頃美作国大庭郡ノ人
願誉行善大徳駿州富士山ニ練
行シ霊告ヲ蒙ムリ弥陀ノ三尊ヲ
感得シ当所ニ来リテ専称念佛シ
王ヘケレバ天王ノ霊験イヨイヨ新
タニシテ諸人ノ結縁マスマス著シカ
リシヨリ毘沙門山ト號シ大徳ヲ開
山トス
明治三十年丁酉ノ春
毘沙門山廿三世
大庭察門誌

山口縣周防國熊毛郡岩田村
眞言宗古義派
大日山冠念寺境内圖
大阪大成館銅版部


山口縣周防國熊毛郡
田布施村
放光山淨土宗
大恩寺境内之圖
本堂
玄關
井戸
浴室

山口縣周防國熊毛郡平生村
眞言宗 神峯山
般若寺境内之圖


山口縣周防國熊毛郡高水村
淨土宗 法王山光融院
正覚寺境内之圖
大阪大成館銅版部


山口縣周防國熊毛郡
平生村　郷社
沼八幡宮境内之圖
大阪大成館銅版部